

ネットワーク普通紙ファクス

技術基準適合認定品

スピークス

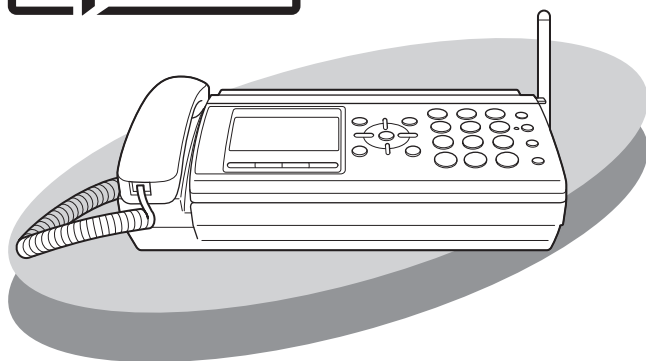
エス ビー エヌ エー エス ビー エヌ エー ダブル

SP-NA540/SP-NA540W

取扱説明書

保証書付

ネットワークスピークス



- ・ 設置／接続方法
- ・ 日付／回線種別の設定

準備

- ・ 基本操作
(電話、ファクス、コピー、留守番電話)

かんたんに使う

- ・ 電話帳登録
- ・ さかのぼり録音
- ・ メモリ代行受信
- ・ ナンバー・ディスプレイ

べんりに使う

- ・ 着信モード
- ・ ベル音の調整
- ・ リストのプリント

さらに使いやすくする

- ・ ネットワーク機能の設定と操作

※パソコンとの連携機能については、添付CD-ROM内の「ネットワークガイド」もあわせてご覧ください。

ネットワーク機能を使う

- ・ 困ったときは (Q&A)
- ・ お手入れのしかた
- ・ 消耗品／オプション品のご案内

こんなときは

- ・ 主な仕様
- ・ 操作早わかりガイド
- ・ 機能設定／登録早見表

付録

■ インクフィルムSP-FA530／SP-FA524S

■ 増設子機SP-ZD51



ナンバー・ディスプレイ (→ P.66)
ネーム・ディスプレイ (→ P.67)
キャッチホン・ディスプレイ (→ P.75)



キャッチホン (→ P.75)
モデムダイヤルイン (→ P.77)

ナンバー・ディスプレイ
のお問い合わせは
局番なしの

116番へ

注意

- 本機をご使用前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- 保証書は裏表紙にあります。

はじめに

このたびは、ネットワーク普通紙ファクス「スピークスSP-NA540/NA540W」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

型名	機器構成	増設できる子機の台数
SP-NA540	親機（本機）と子機 1 台	最大 2 台
SP-NA540W	親機（本機）と子機 2 台	最大 1 台

本書ではSP-NA540に子機を増設した場合を中心に説明しています。SP-NA540Wで異なる項目については、「※SP-NA540Wでは・・・」と記載しています。

本書の見かた

本書の構成	ページ	記述内容
準備	P.14～27	本機を使うための準備（組み立てや接続）、覚えておきたい操作の基本などを説明しています。本機をお使いになる前に一通り目を通しておいください。
かんたんに使う	P.28～37	電話、ファクス、コピー、留守番電話をできるだけ簡単に使う方法を説明しています。本機をすぐにお使いになりたいときに、お読みください。
べんりに使う	P.38～79	電話、ファクス、留守番電話の便利な機能を説明しています。さまざまな機能を使ってより便利にお使いになりたいときに、お読みください。
さらに使いやすくする	P.80～86	画面表示の調整やベル音の調整など、お好みに応じて本機をさらに使いやすくする方法を説明しています。
ネットワーク機能を使う	P.87～106	本機をネットワークに接続したときの使いかたや設定を説明しています。
こんなときは	P.107～123	困ったときの対処方法、本機のお手入れの方法、修理のご依頼や増設について説明しています。
付録	P.124～136	主な仕様、操作早わかりガイド、機能設定／登録早見表を記載しています。

■本書の表記

待受中	電話やファクスの着信を待っている状態（通話も送信／受信もしていない状態）です。本書で説明している操作はほとんどの場合「待受中」に行います。 特に断りのない場合は待受中に操作してください。 通話中に行う操作は見出しに次のイラストで示しています。
通話中  通話中	電話をかけたり受けたりして、相手と通話をしている状態です。
親機  子機 	親機と子機の操作が異なる場合は、左のマークで示しています。
ボタン名称	本機の本体にボタン名が印字されているボタンは、そのボタン名を示しています。詳細は「ボタンの名称と機能概要」（  P.10、12）をご覧ください。
その他のマーク 	説明している操作に関する注意や補足説明などを、次のマークで示しています。 本商品の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く場合や、取り扱ううえでの注意事項、条件の説明を示しています。
	説明している手順に関する補足の操作を示しています。
	知っておくと便利な機能や補足説明を示しています。

■ご使用にあたってのお願い

- 本機のご使用にあたって、NTT 東日本または NTT 西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT 東日本または NTT 西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は不要となります。詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。
- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、停電、あるいは天災等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機を廃棄・譲渡するときは、お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去してください。 「本機の登録／設定を出荷時に戻したいとき」（P.121）
- 子機には防水機能がありませんので、ぬれた手で子機を操作したり、水をかけたりしないでください。水ぬれによる故障は保証対象外です。修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■商標について

- Windows®、Internet Explorer®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために ～必ずお読みください～

本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。

- 危険** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
- 警告** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



(高温注意)

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



(分解禁止)

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



(電源プラグをコンセントから抜け)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

危険



禁止

充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。



禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。



禁止

電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。

危険



分解禁止

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。



電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

警告



電源プラグをコンセントから抜け

次のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- ・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態があるとき
- ・本機を落としたり、破損したとき
- ・内部に水が入ったとき

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。



禁止

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



必ずアース線
を接続せよ

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線は、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。アース線を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
 - ・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
 - ・接地工事（第D種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ・ガス管・電話専用アース線・避雷針
 - ・水道管や蛇口



禁止

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。



電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



禁止

電源プラグおよび充電器のプラグは、容易に抜き差し可能なコンセントから給電してください。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

警告



電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

- ・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- ・使用を制限された場所では使用しないでください。

例：医療用電子機器の近くなど



禁止

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因になります。



禁止

子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなど、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。



分解禁止

充電器の内部には、高電圧がかかっているため、分解しないでください。感電の原因となることがあります。

修理は販売店にご相談ください。



禁止

子機をねじったり、重いものを載せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



禁止

ペットの糞尿がかからないようにしてください。発煙や発火の原因となることがあります。

注意



禁止

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセント
から抜け

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線ケーブルなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠️ 注意



調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



インクフィルム交換などで操作パネルを開けるときは金属部品の角や歯車部品には、触らないように注意してください。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。



本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。



指をはさまないよう注意

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開け閉めするときは、指はさみ、指のけがにご注意ください。



漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。



本機の底面は温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。



本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。



子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。



充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。



本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本機の上に重いものを載せないでください。本機の破損、故障の原因となります。



通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となります。



ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。本機の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。



記録紙は、青焼紙と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をおすすめします。



インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。



インクフィルムは、開封した状態で放置しないでください。



ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

⚠️ 注意



自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。



製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、写らない部分が発生する原因となります。



極端に暑い場所 (35℃以上) や寒い場所 (5℃以下) では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。



以下のようなところには置かないでください。
・クーラー、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
・ほこりや振動が多い場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所



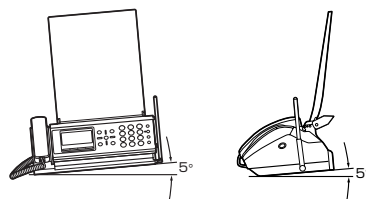
本機の設置場所によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われる場合は、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える



本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水滴がついた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
・受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
・子機に水滴がついたまま、充電器に戻さないでください。



本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。



受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

目次

はじめに	2
本書の見かた	2
安全にお使いいただくために	3
目次	6
各部の名称とはたらき	9
親機	9
ボタンの名称と機能概要	10
メニューの使いかた	11
子機	12
ボタンの名称と機能概要	12
ディスプレイの見かた	13

準備

本体と付属品の確認	14
設置する場所の確認	15
親機と子機の電波の届く範囲	15
子機の準備	16
子機の使用上のご注意	16
電池パックを安全にお使いいただくための ご注意	17
子機を組み立てる	17
子機を充電する	18
子機の日時を設定する	18
親機を接続する	19
電話コンセントの確認	19
ブランチ接続していないかどうかの確認	19
親機の接続	19
回線種別や時刻を設定する	21
回線種別を設定し直すには	21
時刻を設定し直すには	22
記録紙のセット	22
おすすめする記録紙	22
えらべる受信スタイル	22
記録紙のセットのしかた	23
組み立てと接続が正しくできたか確認する	24
電話をかけてみる	24
コピーをとってみる	25
回線付加サービスを利用するには (ナンバー・ディスプレイなど)	25
いろいろな接続	26
光回線に接続する	26
ADSL回線に接続する	26
IP電話機能付きの機器に接続する	27
IP電話機能付きADSLモデムに接続したときの 注意	27
INSネット64に接続する	27
ナンバー・ディスプレイ／ダイヤルインを 利用するときの注意	27

かんたんに使う

電話をかける	28
ダイヤルボタンを押してかける	28
子機のとりかた／クイック通話	29
クイック通話をONにする／OFFにする	29
ファクスを送る／コピーをとる	30
原稿のサイズ／読み取れる範囲	30
原稿セットのしかた	30

ファクスを送る (自動送信)	31
コピーをとる	31
留守番電話を使う	32
留守設定をする	32
留守設定を解除する	33
録音された用件を聞く／消去する	34
再生中の操作	35
電話やファクスを受ける	36
ベルが鳴ったら	36
着信の種類を判断する (電話かファクスか)	37

べんりに使う

電話	38
同じ相手先にもう一度かける (リダイヤル)	38
受話器や子機を持たずに電話をかける (オンフックダイヤル)	38
電話帳に相手先を登録する (親機)	39
相手先の名前と電話番号を登録する	39
登録した名前や電話番号を変更する	40
登録した名前と電話番号を消去する	40
親機の電話帳から子機に転送する	41
電話帳に相手先を登録する (子機)	42
相手先の名前と電話番号を登録する	42
登録した名前や電話番号を変更する	42
登録した名前と電話番号を消去する	43
電話帳でかける	43
通話中の相手に待ってもらう (保留)	44
受けた電話を転送する (外線転送)	44
親機から子機に転送する	44
子機から親機に転送する	45
子機から子機に転送する	45
親機と子機／子機と子機で通話する (内線通話)	45
親機から子機にかける	45
子機から親機にかける	46
子機から子機にかける	46
通話の内容を録音する (さかのぼり録音)	46
さかのぼり録音を設定する	46
通話中にさかのぼり録音をする	47
電話を切ったあとにさかのぼり録音をする	48
電話を切ったあとに直前の通話の録音を 消去する	48
保存した通話を聞く／消去する	48
通話中に留守番電話の用件を再生する	49
お断りメッセージで応答する (迷惑電話お断り)	49
携帯電話への通話サービスを簡単に使う (ケータイお得ダイヤル)	49
ケータイお得ダイヤルを一時的に解除する	50
ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整	51
ベル音	51
受話音	51
スピーカ (モニタ音／再生音)	52
ダイヤル回線でトーン信号を送る	52
ファクス	53
電話をかけて通話中に送る (手動送信)	53
ボタンを押して受ける (手動受信)	53
原稿の画質や読み取り濃度を変える	54

自分の名前や電話番号をつけて送る.....	55
相手先の受信記録に電話番号を表示する.....	55
相手先の記録紙に印字する発信元を登録する.....	55
相手先の記録紙に発信元を印字する.....	56
ダイヤルトーンを待って発信する.....	56
海外へ送るとき.....	56
送れなかったファクスを確認する（不達レポート）.....	57
電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する （ファクスかんたん受信）.....	57
ファクスをプリントできないときいったんメモリに 蓄積する（メモリ代行受信）.....	58
メモリ代行受信したファクス受信文書を プリントする.....	58
メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する.....	58
受信したファクスを縮小する／分割する.....	59
縮小率を設定する.....	59
分割してプリントする.....	59
留守番電話.....	60
録音された用件を全て消去する.....	60
自作の応答メッセージを使う.....	60
応答メッセージを録音する.....	60
録音した応答メッセージを消去する.....	61
応答メッセージを選ぶ.....	61
外出先から操作する（外線リモート）.....	61
リモート操作を設定する.....	61
外出先から留守設定をする.....	62
外出先から用件の再生／留守設定／ 留守電ケータイ転送設定を操作する.....	62
録音された用件があるか外出先から確認する （トールセイバ）.....	63
録音した用件を外出先に転送する （留守電ケータイ転送）.....	63
留守電ケータイ転送を設定する.....	63
転送先で用件を聞く.....	64
着信ベルや動作音を鳴らなくする （おやすみモード）.....	64
おやすみモードを設定する／解除する.....	65
開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える.....	65
ナンバー・ディスプレイ.....	66
ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する.....	66
ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示.....	67
ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示.....	67
自分の電話番号を通知する／非通知にする.....	68
自作のメッセージで応答する相手先を選択する.....	68
受けた電話の相手先によってベル音を変える （着信鳴り分け／プライベートコール）.....	68
あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす （とくていコール）.....	69
番号通知をお願いするメッセージで応答する （番号リクエスト）.....	70
受けたくない相手先からの着信を拒否する （着信拒否）.....	71
着信拒否リストに登録する.....	71
登録した相手先を確認する／消去する.....	71
着信拒否を設定する／解除する.....	71
着信データを見る／消去する.....	72
着信データを使って電話をかける（コールバック）.....	73
着信データを電話帳に登録する（かんたん登録）.....	73
留守中に受けた電話を確認する.....	74

キャッチホン.....	75
通話中に別の電話を受ける（キャッチホン）.....	75
キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する.....	75
キャッチホン・ディスプレイの表示.....	76
モデムダイヤルイン.....	77
ダイヤルインを設定する／解除する.....	77
ダイヤルインの動作.....	78
ダイヤルインの利用例.....	79

さらに使いやすくする

電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ （着信モード）.....	80
WIFI BAND（ワイファイ バンド）を変更する.....	80
ディスプレイの表示濃度を変える.....	81
ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない （キータッチトーン）.....	81
ボタン操作を受け付けなくする／解除する （チャイルドロック）.....	82
チャイルドロックを一時的に解除する.....	82
ベルの音色を変える／メロディにする.....	83
ベルが鳴る回数を変える.....	83
着信ベルの回数を変える.....	83
呼出ベルの回数を変える.....	84
保留のメロディを変える.....	84
リストをプリントする.....	85
エラーコード表.....	86
ダブルアクセスを設定する.....	86

ネットワーク機能を使う

ネットワーク機能をご利用になるには.....	87
ご利用になれる機能は.....	87
ネットワークの設定をする.....	88
IPアドレスを設定する.....	88
メールの設定をする.....	90
メールの基本設定をする.....	90
送信元メールアドレスを設定する.....	90
SMTPアドレスを設定する.....	90
POP3を設定する.....	90
メール受信をべんりに行う設定.....	91
自動到着確認、自動プリントを設定する.....	91
メールフィルタリストに登録する.....	92
その他のメール設定.....	92
メール送信設定をする.....	92
メール受信設定をする.....	94
ユーティリティソフト（アプリケーション）	
のインストールをする.....	95
ネットワークガイドの開きかた.....	97
ネットワークガイド 目次.....	97
各機能の説明.....	98
スキャンした画像をメール送信する （スキャンtoメール）.....	98
画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法.....	99
受信したメールをプリントする （メールtoプリント）.....	100
自動プリント.....	100
手動プリント.....	101
ファクス受信文書をメール送信する （ファクスtoメール転送）.....	102
転送先のメールアドレスに登録する.....	102

スキャンした画像をパソコンに保存する (スキャンtoパソコン)	103
画質、原稿サイズ、ファイル形式、 濃度の選択方法	104
ファクス受信文書をパソコンに保存する (ファクスtoパソコン)	105
転送先にするパソコンを設定する	105
パソコンで設定や閲覧をする (機能設定メニュー) ..	106

こんなときは

困ったときは	107
紙づまりのとき	107
つまった紙を取り除く	107
ファクスが正常に送れない／受けられないとき	108
停電したとき	109
操作ができなくなったとき	109
困ったときは (Q&A)	109
お手入れのしかた	117
インクフィルムを交換する	117
子機の電池パックを交換する	119
日ごろのお手入れ	120
親機／子機の外装のお掃除	120
親機内部のお掃除 (原稿送り用ローラ／ 記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／ 原稿読み取り部)	120
インクフィルム／記録紙の保管	121
修理・保守／増設／廃棄	122
お客様ご相談窓口のご案内	122
ご不明な点・故障と思われるときのご相談	122
修理・保守のご相談	122
消耗品・オプション品のご案内	122
子機を増設するとき	123
本機の登録／設定を出荷時に戻したいとき	123

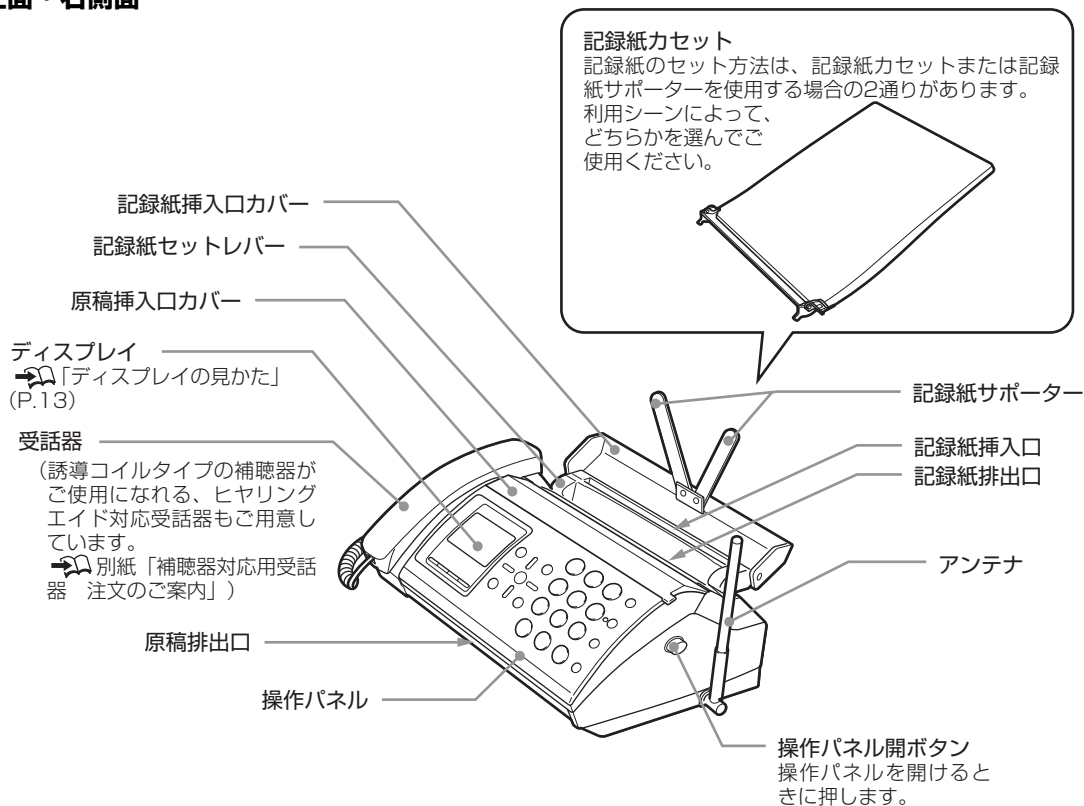
付 録

主な仕様	124
ファクス	124
コードレス電話	124
留守番電話	124
ネットワーク	124
操作早わかりガイド	125
機能設定／登録早見表	128
索引	131
文字入力について	134
パソコンでPPPoE 接続をしているときのご注意	137

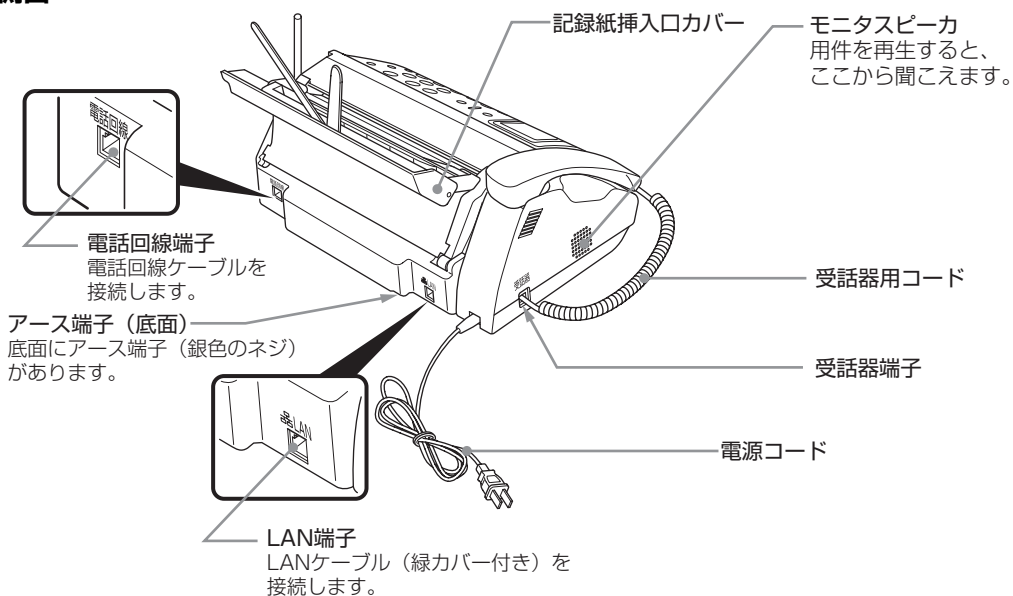
各部の名称とはたらき

親機

■正面・右側面



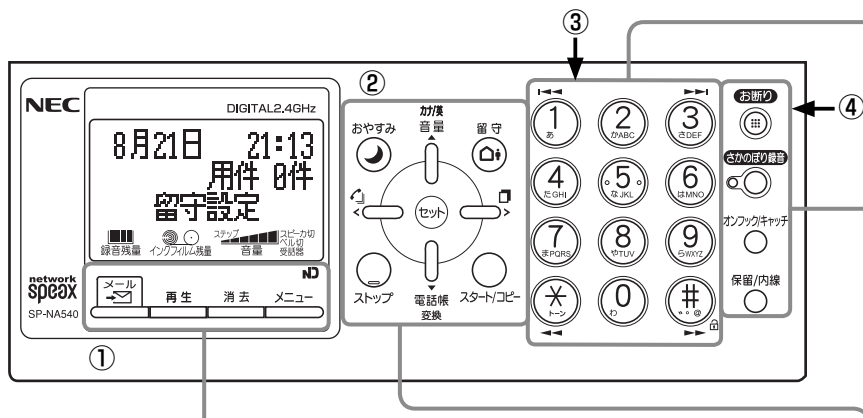
■背面・左側面



※ 本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

ボタンの名称と機能概要

本書では操作パネルのボタンの名称を次のように表記しています。本機にボタン名が印字されているものはそのボタン名がわかるようにしています。なお、「かんたんに使う」編ではボタン名とともにボタンの形状も記しています。



①

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
		[メール]	新着メールの確認と手動プリントや削除の操作 (→P.100)
		[再生]	録音された用件の再生 (→P.34)
		[消去]	用件の消去、入力文字の消去 (→P.34、133)
		[メニュー]	メニューの選択 (→P.11)

②

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
おやすみ 	[おやすみ]	[おやすみ]	おやすみモードの設定／解除 (→P.65)
留守 	[留守]	[留守]	留守設定／解除 (→P.32、33)
ストップ 	[ストップ]	[ストップ]	ファクスの送信やコピーをやめる (→P.31) 登録や設定を途中でやめる (→P.11)
スタート/コピー 	[スタート/コピー]	[スタート/コピー]	ファクスの送信／コピーの開始 (→P.31) ファクスの手動送信／受信 (→P.53) スキャンtoパソコンの開始 (→P.103)
 同一ボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。	セット 	[セット]	入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
		[▲] / [▼] / [◀] / [▶]	電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動
	加減音量 	[カナ/英] [音量]	入力モードを切り替える (→P.134) ベル音/受話音/スピーカ音の調整 (→P.51)
	電話帳変換 	[電話帳] [変換]	電話帳を表示させる (→P.43) 入力した文字を変換する (→P.135)
		[<] (着信データ)	着信データを表示させる (→P.72)
		[>] (リダイヤル)	リダイヤルデータを表示させる (→P.38)

③

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
	①～⑨、⑩、 ①#	[1]～[9]、[0]、 [#]	番号の指定、項目の選択
	ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」		電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
		[*]	再生位置の操作（約15秒前にスキップ）（→P.35） トーン信号を送る（→P.52）
		[#]	再生位置の操作（約30秒先にスキップ）（→P.35） チャイルドロックの一時解除（→P.82）
		[1]	再生位置の操作（先頭、前の用件）（→P.35）
		[3]	再生位置の操作（次の用件）（→P.35）

④

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
	[お断り]	[お断り]	お断りメッセージで応答する（→P.49）
	[さかのぼり録音]	[さかのぼり録音]	通話録音を保存する（→P.46～48） 電話番号にポーズ（—）を入れる
	[オンフック/キャッチ]	[オンフック/キャッチ]	受話器を持たずに電話をかける（→P.38） キャッチホンを受ける（→P.75）
	[保留/内線]	[保留/内線]	通話を保留にする（→P.44） 内線電話をかける（→P.45）

メニューの使いかた

あらかじめ設定しておく必要のある本機の動作モードや詳細な機能の調整などは、メニューを使って操作します。

- ・メニューを使うときは、待受中（ファクスの送信／受信をしていないとき）や受話器による通話中に を押します。
- ・10種類のメインメニューがあり、ダイヤルボタンの①～⑨、または⑩で選べます。→「機能設定／登録早見表」（P.128）
- ・メインメニューの下位にはいくつかの機能メニューがあり、 を押したあと、[▲] または [▼] を押して選びます。
- ・操作を終了するときは、 [ストップ] を押します。

❗ 操作の途中で90秒以上何もしないとメニューを終了して待受中に戻ります。

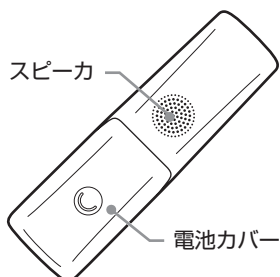
▶ 操作の途中でやめるには： [ストップ] を押す。

子機

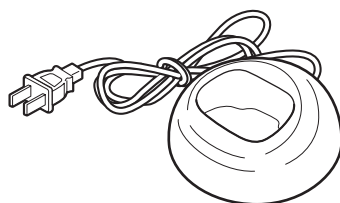
■正面



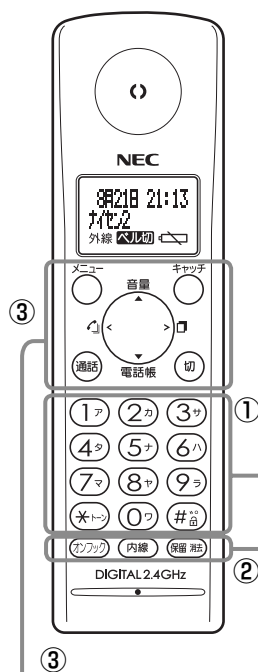
■背面



■充電器



ボタンの名称と機能概要



ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
① 1ア 2カ 3サ 4シ 5ナ 6ハ 7マ 8ヤ 9ラ *ト 0ツ #ホ	① 1ア ~ 9ラ、 0ツ #ホ	[1] ~ [9]、[0] [#]	番号の指定、項目の選択 電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
(*) トン	(*) トン	[*]	トーン信号を送る (→P.52)
(#) ホ	(#) ホ	[#]	チャイルドロックの一時解除 (→P.82)
② メニュー 音量 通話 電話帳 切	② オンフック 内線 保留 消去	[オンフック] [内線] [保留 消去]	子機を持たずに電話をかける (→P.38) 内線電話をかける (→P.45) 通話を保留にする (→P.44) 入力文字の消去 (→P.134)

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
メニュー ○	○ [メニュー]	[メニュー]	メニューの選択 入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
<、> (着信データ) 音量 ▲、音量 ▼、電話帳 >、< (リダイヤル) 同機能ボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。	[▲] / [▼] / [<] / [>] 音量 [音量] 電話帳 [電話帳] [<] (着信データ) [>] (リダイヤル)	[電話帳] [着信データ] [リダイヤル]	電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動 ベル音／受話音／スピーカ音の調整 (→P.51) 電話帳を表示させる (→P.43) 着信データを表示させる (→P.73) リダイヤルデータを表示させる (→P.38)
キャッチ ○	○ [キャッチ]	[キャッチ]	キャッチホンを受ける (→P.75) 電話番号にポーズ (ー) を入れる
通話 ○	○ [通話]	[通話]	電話をかける (→P.28) 電話を受ける (→P.36)
切 ○	○ [切]	[切]	電話を切る (→P.28) 登録や設定を途中でやめる

ディスプレイの見かた

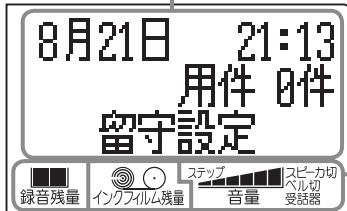
親機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、登録・設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。

16桁（全角8文字）×3行

操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示される

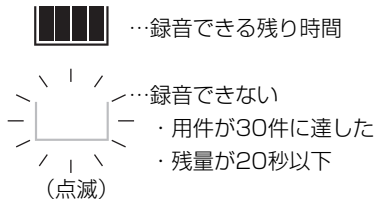


●音量表示 (P.51)



- ベル … ベル音量を示す
- スピーカ … モニタスピーカの音量を示す
- 受話器 … 受話音量を示す
- ベル切 … ベルを鳴らないようにしているとき
- スピーカ切 … モニタスピーカの音を出ないようにしているとき
- ステップ … ステップアップ着信音量を選んだとき

●録音残量表示



●インクフィルム残量表示

インクフィルムのおおよその残量を表示します。

インクフィルム 残量表示	印刷できる枚数	
	SP-FA524S	SP-FA530
	41 ~ 75	61 ~ 95
	11 ~ 40	31 ~ 60
	01 ~ 10	01 ~ 30
	インクフィルムなし (P.114)	

① インクフィルムを交換した場合は、リセットしないと、正しく表示されません (P.117)。

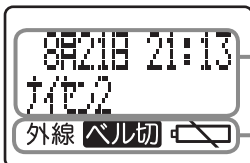
② 次のような場合は、表示よりもインクフィルムが少なくなっていることがあります。

- ・ ひんぱんに操作パネルを開け閉めした
- ・ インクフィルムを手で巻き取った
- ・ 本機（親機）の電源をひんぱんに入切した

子機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、ボタン操作開始時や着信時に点灯し、動作終了後、約15秒で消灯します。



12桁×2行

操作をしていないときは、日時と内線番号が表示される

- 外線 … 外線通話中
- ベル切 … 呼出音が鳴らないようにしているとき
- … バッテリーが消耗したとき

■通話時間表示

電話中は、ディスプレイに通話時間の目安が表示されます。

親機 10分30秒 … ダイヤルしたあと、約10秒経つと表示されます。また、相手が出ると0秒から表示し直されます。

① 受話器を戻したあと約5秒間、通話時間が表示されます。

子機 10' 30 … (通話)を押すと表示されます。相手が出てそのまま続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

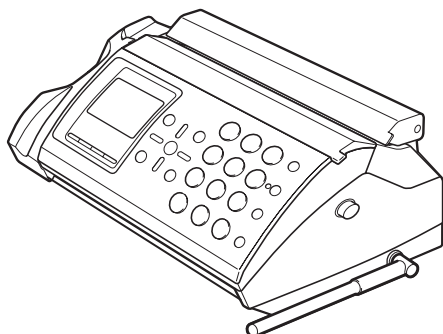
① 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

準備

本体と付属品の確認

付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください（☎ P.122）。

 親機（本機） 1台



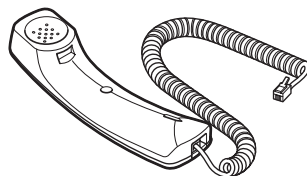
テスト用インクフィルム（セキュリティ強化タイプ） 1本

- ・あらかじめ本機にセットしてあります。
- ・工場出荷時のテスト用であり、別売のインクフィルムよりもプリントできる枚数が少なくなります。別売のインクフィルムを早めにお買い求めください。☞「消耗品・オプション品のご案内」（P.122）

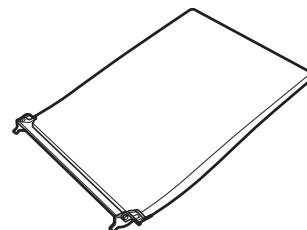
●インクフィルムを交換するときは

インクフィルムを交換するときは、指定（型名：**SP-FA530**または**SP-FA524S**）のインクフィルムをお使いください。当社製以外のインクフィルムは使用できません。また、当社製であっても、型名：**SIF-A4040**、**SIF-A4030T**、**SP-FA430**のインクフィルムは使用できません。☞「インクフィルムを交換する」（P.117）

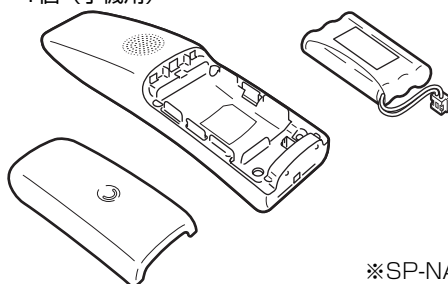
 受話器 1個



 記録紙カセット 1個

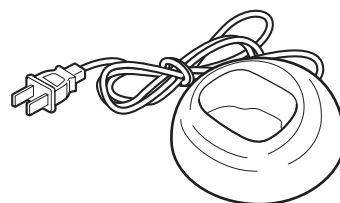


 子機 1台（電池カバー付）
電池パック 1個（子機用）



※SP-NA540Wでは2組

 子機充電器 1台



※SP-NA540Wでは2台

 電話回線ケーブル 1本

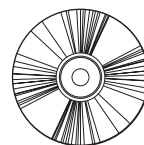


 取扱説明書 1冊（本書）

 LANケーブル（緑カバー付き） 1本



 ユーティリティソフト
（CD-ROM） 1枚



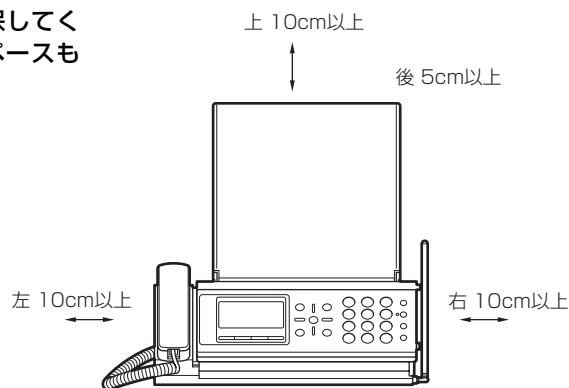
※記録紙は添付されておりません。別途ご用意ください。☞「おすすめする記録紙」（P.22）

設置する場所の確認

右の図を参考に操作を行うのに十分なスペースを確保してください。消耗品の交換や点検、お手入れなど行うスペースも考慮してください。

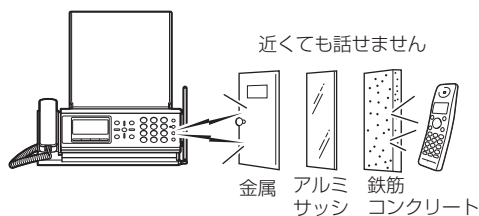
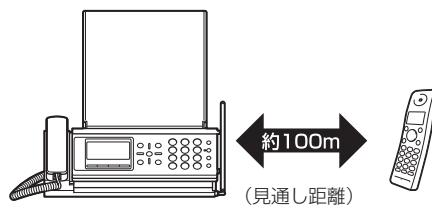
- ❶ 親機を壁にかけて使用することはできません。
- ❷ 水平な場所に設置しないと、正常に動作しないことがあります。
- ❸ 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
 - ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ (TA)、ルーター、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・ 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびAC アダプタ
 - ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CD プレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど

- ❹ 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信／コピー画質がうすくなったり、本機の誤動作、故障の原因となります。
- ❺ 「安全にお使いいただくために」(P.3) の記載も参照してください。



親機と子機の電波の届く範囲

- 使用できる範囲は、親機と子機の間に障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。
- 子機と子機で通話（子機間通話、SP-NA540は子機増設時のみ）する時も、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください。子機どうしが近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。
- 親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



金属製家具の近くなど



マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合



蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機の準備

子機の使用上のご注意

本機の子機は、2.4～2.4835GHz（ギガヘルツ）の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域を回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本機には、それを示す右記のマークが貼り付けられています。

2.4 F H 8

■ 電波に関するご注意

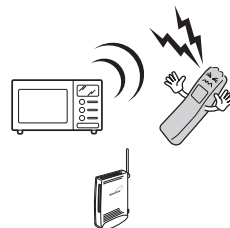
<ワイヤレス機器の使用上のご注意>

本機は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、本機の電源プラグを抜いて機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。（→P.122）

本機の子機と同じ周波数帯域（2.4GHz）の電波を利用している機器の近く（下記参照）では、電波干渉により子機での通話や周辺機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。設置およびご使用になる際は下記の点にご注意ください。

- 子機を電子レンジなどの近くで使用しないでください。子機での通話の音声途切れたり、使用できなくなることがあります。親機も電子レンジなどから3m以上離れて設置してください。
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3m以上離れてご使用ください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 子機での通話中に声の途切れや雑音が入るときは、ダブルアクセスの設定を変更してみてください。→「ダブルアクセスを設定する」（P.86）
- 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境では、子機での通話が途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。親機や子機は、なるべく無線LAN機器から3m以上離れてご使用ください。または、WIFI BANDの設定を変更してみてください。WIFI BANDの設定の変更で変化が見られない場合は、ダブルアクセスの設定を変更してみてください。→「WIFI BAND（ワイファイ バンド）を変更する」（P.80）、「ダブルアクセスを設定する」（P.86）
- その他、下記の中にも同じ周波数帯の電波を使用している機器があります。下記の機器の周辺でも子機での通話の音声途切れたり、使用できなくなる場合があります。機器の動作に影響を与える場合もありますので、なるべく離れて設置およびご使用ください。



- | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------------|
| ・ 火災報知機 | ・ アマチュア無線局 | ・ 万引き防止システム |
| ・ 工場や倉庫などの物流管理システム | ・ ワイヤレス機器 | （書店やCDショップなど） |
| ・ マイクロ波治療器 | （テレビ、ビデオ、パソコンなど） | ・ Bluetooth TM対応機器やVICS |
| ・ 自動ドア | ・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム | （道路交通網システム）など |
| ・ 自動制御装置 | ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー | |

子機は電波を使用しているため、通話を傍受（第三者が無線電波を故意または偶然に受信）されることが考えられます。この点に配慮して（重要な通話は親機を使用するなど）ご使用ください。

■ その他のご注意

- 親機との距離が離れると、送話／受話が途切れるなど通話が不安定になり、子機からのボタン操作の無線信号が親機に正しく伝わらず、動作が不安定になることがあります。このような場合は親機に近づいてご使用ください。
- 通話中に「ポッ、ポッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外の間まですと、約30秒後に親機側で保留になります。さらに約1分経過すると電話が切れます。なお、電波状態によっては、保留されずに電話が切れてしまうこともあります。
- 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約3.4V以下になる）と子機は使用できなくなります。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- めれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。
- 子機の通話中に電池パックを取り外さないでください。まれに誤動作することがあります。

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

子機を組み立てる

⚠注意

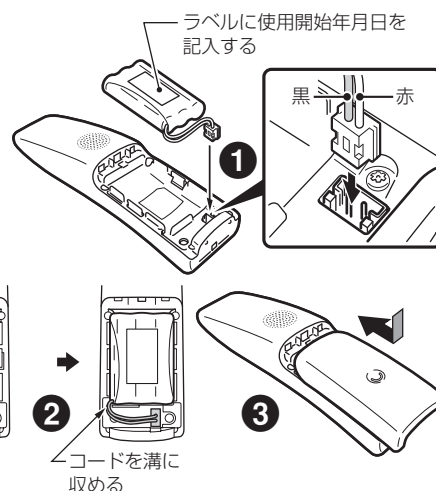
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。
- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

1 子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

2 電池パックを取り付ける

- ① コネクタを配線の向き（赤／黒）に注意して図のように差し込む
・ 向きが合わない状態で無理に押し込まないでください。
- ② 電池パックを図のようにセットし、溝に合わせてコードを収める
- ③ 電池カバーを図のように子機の溝に合わせ、軽く下に押しながら手前から奥へすべらせるように差し込む
・ 電池カバーを外すときは、下に押しながら手前に引きます。

- 📌 電池パックのラベルに使用開始の年月日を記入しておく、と、交換時期の参考になります。
- 📌 親機の電源が接続されていないときは、「ツウワ ケンガイ」と表示されます。

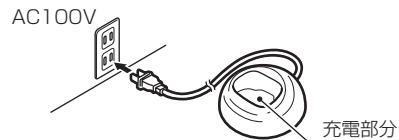


子機を充電する

- ⚠ **危険** ●付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- ⚠ **警告** ●ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
●充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⚠ **注意** ●充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

1 充電器を電源に接続する

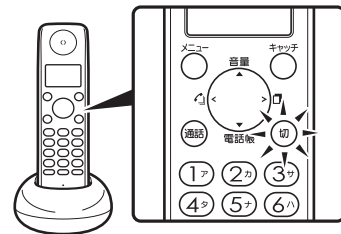
充電器のプラグを電源コンセントに差し込む



2 子機を充電器に置く

図のようにボタンが手前になるように置く

- ・充電が始まると「切」が赤く点灯します。
- ・充電器に置いている間は「切」が点灯したままになりますが、過充電になることはありません。



- ① ご購入のときは充電されていません。はじめてご使用のときは、10時間以上充電してください。
- ① 子機は長期間使わない場合を除いて、できるだけ充電器に戻してください。
・充電器に置いている間は「切」が点灯していますが、充電しすぎることはありません。
- ① 子機を長期間使わない場合（充電器の電源プラグを抜いておくとき）は、電池パックを取り外してください。
・電池パックを子機に入れたまま充電せずに放置すると劣化することがあります。
- ① 充電しても使用時間が短くなった場合
・電池パックの寿命です。電池パックを交換してください。➡「子機の電池パックを交換する」(P.119)
- ① 充電器はテレビやステレオ、携帯電話の充電器などと別の電源コンセントにつなぐことをおすすめします。
・同じ電源コンセントにつなぐと、雑音の原因となることがあります。
・同じ電源コンセントにつなぐ場合は、テレビやステレオ、携帯電話の充電器などから充電器をできるだけ離して置いてください。

■ 充電について

充電時間：約10時間（ご購入のとき、あるいは電池の残量がない状態から）

フル充電した子機の使用可能な時間 **連続通話時**：約6時間（※） **連続待受時**：約300時間

※：ダブルアクセス（➡P.86）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

☞ 親機の電源が入っていない状態では、子機の連続待受時間は短くなります。

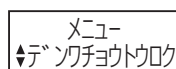
■ 残量が不足したときの警告

状態	ディスプレイの表示	警告音
待受中	📶 (点灯)「ジュウデン シテクダサイ」	「ピーピーッ」(ボタンを押したときに鳴る)
通話中	📶 (点灯)	「ピッ、ピッ、ピッ...」

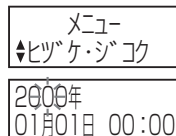
☞ 通話中に警告音がした場合、そのまま通話を続けると、約1分後に通話が切れます。

子機の日時を設定する

1 ○ [メニュー] を押す



2 [▲] または [▼] で「ヒツケ・ジコク」を選び ○ [メニュー] を押す



3 ダイヤルボタンで 現在の日付と時刻を入力する



4 ○ [メニュー] を押す

① 日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：(例：8月21日→0821)

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

☞ 本機の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。また、親機の電源が入っていない場合は、さらに月差が大きくなる場合があります。

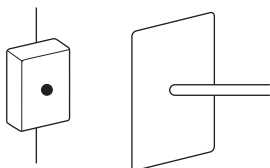
親機を接続する

本機は、一般電話回線、光回線、ADSL回線、ISDN回線などに接続することができます。また、本機のLAN端子とブロードバンドルータやスイッチングハブのLAN端子をLANケーブルで接続すると、ネットワーク機能を利用することもできます。

電話コンセントの確認

壁などにある電話コンセントを確認してください。直接配線（ネジ止め式）、プラグ式（3ピン）の場合、回線の工事が必要になるなど、そのままでは接続できません。

■ 直接配線（ネジ止め式）

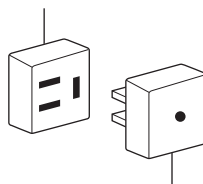


回線の工事が必要です。

NTT東日本・NTT西日本の窓口へご相談ください。

❶ 接続工事には工事担任者の資格が必要です。

■ プラグ式（3ピン）



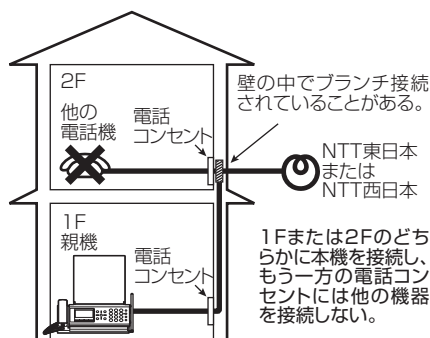
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

ブランチ接続していないかどうかの確認

壁の中でブランチ接続になっている回線があります。ご自宅に2つ以上の電話コンセントがある場合は、あらかじめご確認ください。

本機をブランチ接続の電話回線に接続した場合、他の電話コンセントに電話機などを接続しないでください。同時に接続すると次のようなことが起こります。

- ・ 電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ・ ファクスを送受信しているとき、同時に接続されている電話機の受話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ・ ファクスが受信できないことがあります。
- ・ ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。



親機の接続

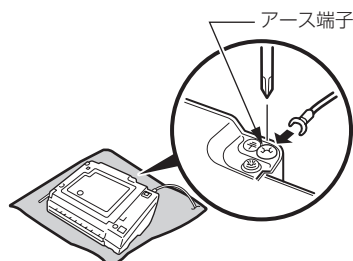
⚠ 警告

- 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は別売品となります。

アース接続は、親機を裏返して行います。その際、記録紙力セットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように座布団などを敷いてください。

プラスドライバとアース線を準備してください。

🔧 「安全にお使いいただくために」(P.3)



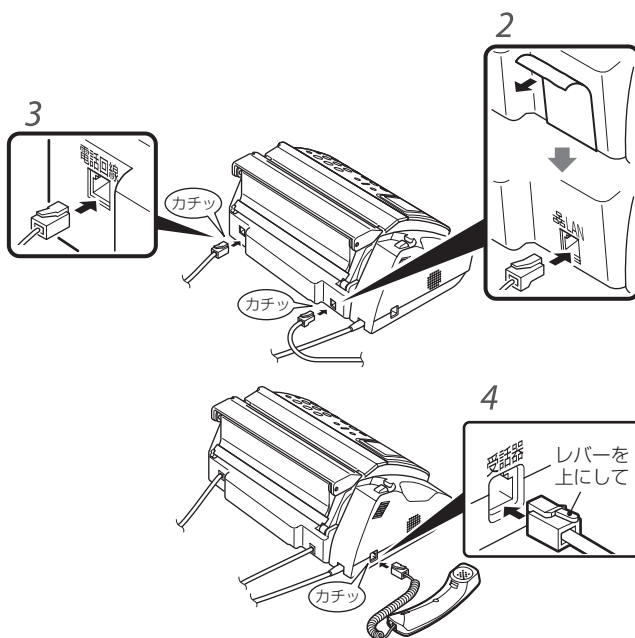
❶ 受話器用コード、電話回線ケーブルをLAN端子に差し込まないでください。ピン折れ等により接触不良の原因となります。

1 本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

2 親機背面の注意書きラベルをはがし、LAN端子にLANケーブル（緑カバー付き）を接続する

❶ LANケーブル（緑カバー付き）はLAN端子に、間違えずに差し込んでください。

3 親機背面に電話回線ケーブルを接続する



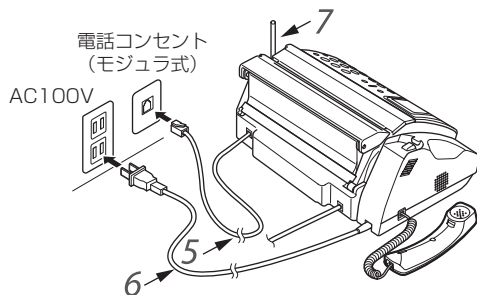
4 受話器を取り付ける
受話器端子に受話器用コードを差し込みます。

■一般電話回線に接続する場合

5 電話回線ケーブルのもう一方の端を壁などにある電話コンセントに差し込む

6 電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

7 アンテナをたてる



■光回線、ADSL回線、IP電話機能付き機器、ISDN回線に接続する場合

5 アンテナをたてる

6 下記を参照し、各接続を行う

光回線 → 「光回線に接続する」(P.26)

ADSL回線 → 「ADSL回線に接続する」(P.26)

IP電話機能付き機器 → 「IP電話機能付きの機器に接続する」(P.27)

ISDN回線 → 「INSネット64に接続する」(P.27)

❶ 電話コンセントの確認 → (P.19)

▶ 受話器用コード、電話回線ケーブル、LANケーブル（緑カバー付き）を抜くときは：レバーを押しながら引き抜く。

回線種別や時刻を設定する

1 回線種別を設定する

電源プラグをコンセントに接続すると、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。

・接続した回線に応じて、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

プッシュ回線：「PBに設定しました」 ダイヤル回線：「DPに設定しました」

電話回線 確認中

PBに設定しました

2 時刻をセットする

① を押す

・時刻を設定せずに終了するには  「ストップ」を押します。

①

時刻設定します
セット押して下さい

日付・時刻
01/01 00:00
完了はセットを押す

②

日付・時刻
07/08/21 21:13
完了はセットを押す

② ダイヤルボタンで現在の日付と時刻を入力し、 を押す

・日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：8月21日→0821）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

▶「回線を設定して下さい」と表示されたら：手動で設定する。→  「回線種別を設定し直すには」（本ページ下）

① ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタ（TA）／ひかり電話対応機器などを本機に接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。ご利用の回線種別をご確認のうえ手動で設定してください。

▶時刻を設定し直すときは：→  「時刻を設定し直すには」（P.22）

① 親機から1日1回「グー」と音がして、原稿読み取り部が光ります。これは親機が自動的に動作チェックを行っているため、故障ではありません。そのままご使用ください。

回線種別を設定し直すには

接続した回線に応じて回線種別を設定することができます。

① ご利用の回線種別がわからない場合は、NTT東日本・NTT西日本の支店または営業所にお問い合わせください。

① INSネット64をご利用の場合（ターミナルアダプタ（TA）に本機を接続するとき）はPB（プッシュ回線）に設定してください。

① ADSL回線をご利用の場合でも回線種別の設定は必要です。

1 を押す

初期設定
電話機能
ファクス機能

2 を押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

3 [▲] または [▼] で 「回線種別」を選び

 を押す



日付・時刻
回線種別
表示濃度

回線種別
回線種別：DP
<>で選択

4 [<] または [>] で 回線種別を選び

 を押す



5 「ストップ」を押す

ご購入時の設定：DP（ダイヤル回線）

● 接続した回線に応じて選びます。
プッシュ回線：「回線種別：PB」
ダイヤル回線：「回線種別：DP」
本機に自動選択させる：「自動回線選択」

▶「電話回線確認」と表示されたら：電話回線の接続を確認する。

▶「回線を設定して下さい」と表示されたら：手動でPBまたはDPを選ぶ。

① ご購入後、初めて回線に接続して電源を入れると本機が自動で回線種別を設定します。手動で回線種別を設定したあとは、電源を入れ直しても自動では設定されません。

準備

親機を接続する

時刻を設定し直すには

1 を押す

初期設定
電話機能
ファクス機能

2 を押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

3 を押す

日付・時刻
00 01/01 00:04
完了はセットを押す

4 ダイヤルボタンで
日付と時刻を入力し
を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩
ダイヤルボタン

日付・時刻
07 08/21 21:18
完了はセットを押す

5 [ストップ] を押す

① 日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。

年：西暦（下2桁）

月日：（例：8月21日→0821）

時刻：24時間制（例：午後9時13分→2113）

☞ 本機の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。

記録紙のセット

おすすめする記録紙

本機を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。

オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙）

サイズ：A4

厚さ：0.08mm～0.1mm

（500枚包でおよそ40mm～50mmの厚さ）

☞ 厚さの目安：この取扱説明書（本ページ）の厚さが約0.08mmです。

より鮮明な印刷品質をお求めの方には、下記の記録紙をおすすめします。

FUJIFILM ファクス用普通紙（熱転写用紙、A4サイズ×100枚）

型名：FAX A4×100

① 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残った記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下にして先端をそろえ、そっと置くようにセットしてください。

② 未使用の記録紙は、ご購入時の袋などに入れ、日光や湿気の影響を受けにくい場所で保管してください。

☞ 記録紙はメーカーによって印刷品質や給紙性能が異なります。上記の範囲の記録紙でも、大量に購入される前に、本機によるプリントを試してみることをおすすめします。

❗ 感熱紙は使用できません。

❗ 次のような記録紙は使用しないでください。
給紙不良や紙づまりの原因になります。

- ・オーバーコートされた普通紙
- ・OHP フィルム
- ・表面に光沢のある紙
- ・一度プリントした紙の裏面
- ・一度複数枚送りした紙
- ・しわのある紙、折れた紙
- ・湿っている紙
- ・薄い紙（紙厚が0.08mm より薄い紙）
- ・厚い紙（紙厚が0.1mm より厚い紙）
- ・長期間セットしたままの紙

えらべる受信スタイル

利用シーンにより、受信スタイルを選ぶことができます。

■カセットレス受信

記録紙カセットを外した状態でコンパクトに利用できますので、ファクス受信の少ない方におすすめです。

ファクスをメモリ代行受信した場合は「メモリ受信文書あり」とディスプレイに表示されます。受信したファクスをプリントするときは、記録紙を記録紙サポーターにセットして操作します（記録紙は5枚までセット可能）。

☞ 「記録紙のセットのしかた」（P.23）

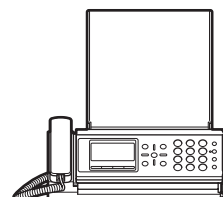
☞ 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」（P.58）



■カセット受信

ファクス受信が多い方は、記録紙カセットを装着してご利用になることをおすすめします（記録紙は20枚までセット可能）。

☞ 「記録紙のセットのしかた」（P.23）



記録紙のセットのしかた

▶ 記録紙をセットするときは：

右記のように記録紙をさばいてセットしてください。

- ❶ プリント中には記録紙を追加しないでください。



さばいた側を
下にしてそろえる



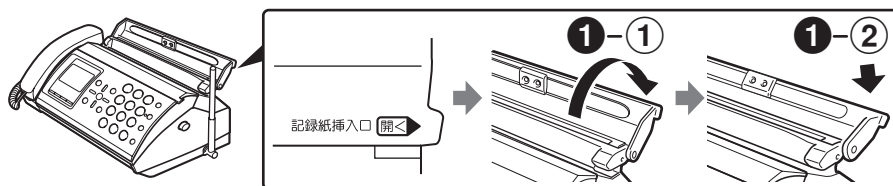
■ 記録紙カセットを使用する場合

セットできる枚数：最大20枚

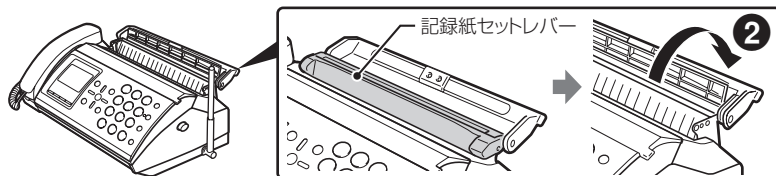
・ ファクスで送られてきた原稿が長いと、1枚の原稿が2枚以上の記録紙に分割されることがあります。このとき、あとから記録紙を追加すると、1枚目の原稿からくり返しプリントされます。記録紙はなるべく多めにセットしておくことをおすすめします。

1 記録紙カセットを取り付ける

- ❶ 記録紙挿入口カバーを開き (❶-❶)、さらに「カチャ」と音がするところまで記録紙挿入口カバーを開く (❶-❷)



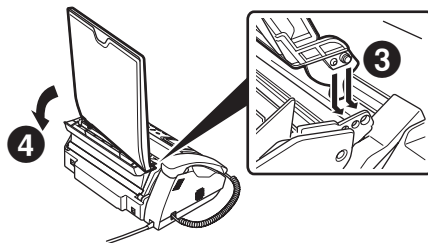
- ❷ 記録紙セットレバーを開く



- ❸ 記録紙カセットの片側を親機の穴に差し込む

- ❹ 記録紙カセットの反対側を親機の穴に差し込む

・ 取り付けたあと、記録紙カセットを前後に軽く動かして、外れないことを確認してください。



2 記録紙をセットする

- ❶ 記録紙カバーを開き、手前にたおす

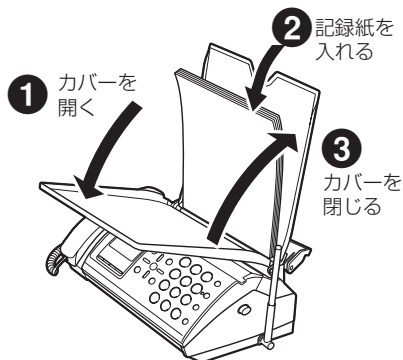
- ❷ 記録紙を入れる

・ 紙はよくさばき、さばいた方を下にしてそろえます。

- ❶ 無理に押し込まないでください。紙づまりの原因になります。

- ❸ 記録紙カバーを閉じる

・ 必ず閉じてからお使いください。



■記録紙サポーターを使用する場合

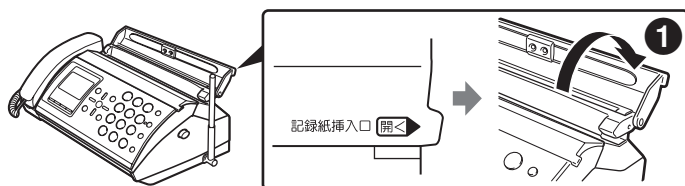
- ❶ 記録紙セットレバーは、左右のロックが確実にかかった状態で記録紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- ❶ 親機背面をのぞき込むときは、記録紙サポーターを収納してください。顔などにあたるとけがの原因になることがあります。

セットできる枚数：最大５枚

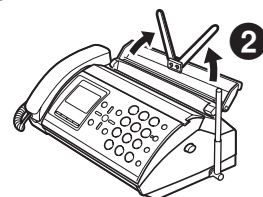
- ・ 記録紙サポーターを使用する場合は、印刷するときに記録紙をセットしてください。
 - ・ 印刷しないときは、ホコリよけのため、記録紙挿入口カバーを閉じてください。
- ☞ 記録紙セットレバーの「押」マーク（イラストの親指部分）は左側のみに付いていますが、右側を押しても記録紙をセットできます。

1 記録紙サポーターをセットする

❶ 記録紙挿入口カバーを開く



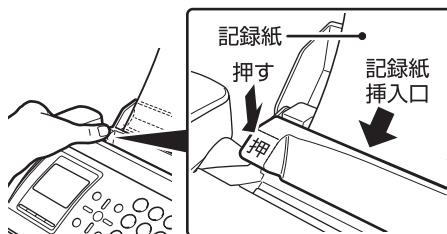
❷ 記録紙サポーターを起こす



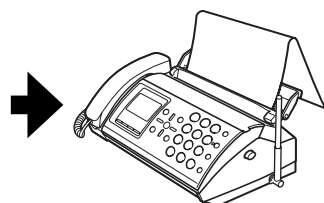
2 記録紙をセットする

❶ 記録紙セットレバーを押しながら、記録紙を記録紙挿入口にセットする

- ・ 紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。
- ・ 無理に押し込まないでください。



❷ 記録紙セットレバーから手を離す



組み立てと接続が正しくできたか確認する

電話をかけてみる

回線に正しく接続できたか、電話をかけて確認します。☞「ダイヤルボタンを押してかける」(P.28)
また、別の電話から本機にかけて正しく受けられるか確認します。☞「電話やファクスを受ける」(P.36)

こんなときは	対処方法／参照先
電話がかかけられない	☞「困ったときは (Q&A)」(P.109)
電話が受けられない	ナンバー・ディスプレイサービスへのご加入と本機の設定を確認してください。 加入しているとき ：「する」に設定する。 加入していないとき ：「しない」に設定する。
	☞「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」(P.66)
	ダイヤルインサービスへのご加入と本機の設定を確認してください。 ・ダイヤルインサービスをご利用のときは、ナンバー・ディスプレイサービスに加入していても、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「する」にします。 ☞「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.77)

コピーをとってみる

記録紙が正しくセットできたか、コピーをとって確認します。→「コピーをとる」(P.31)

こんなときは	対処方法／参照先	
記録紙排出口から白紙が出た	原稿を正しくセットしたか確認してください。原稿は裏向きに（コピーする面を記録紙カバーの方へ伏せて）セットします。→「原稿セットのしかた」(P.30)	
ディスプレイにメッセージが表示された	記録紙ありません	記録紙を入れます。→「記録紙のセット」(P.22)
	記録紙づまり	→「紙づまりのとき」(P.107)
	原稿づまり	

▶ **コピーを途中でやめるには**：○ [ストップ] を押す。

▶ **操作を間違えたときは**：(親機) ○ [ストップ] を押す。(子機) (切) を押す。または充電器に戻す。

☞ ご購入のときの本機の設定は「機能設定／登録早見表」(→P.128) でご確認ください。

また、今の設定をプリントアウトすることもできます。→「リストをプリントする」(P.85)

・ご購入のときはファクスを自動で受けられるように設定されています。→「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」(P.80)

回線付加サービスを利用するには（ナンバー・ディスプレイなど）

ナンバー・ディスプレイやダイヤルイン、キャッチホン・ディスプレイなど回線付加サービスを利用するには、あらかじめ本機の設定が必要です。

□ **ナンバー・ディスプレイ** →「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」(P.66)

※ネーム・ディスプレイを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定が必要です。

□ **キャッチホン・ディスプレイ** →「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」(P.75)

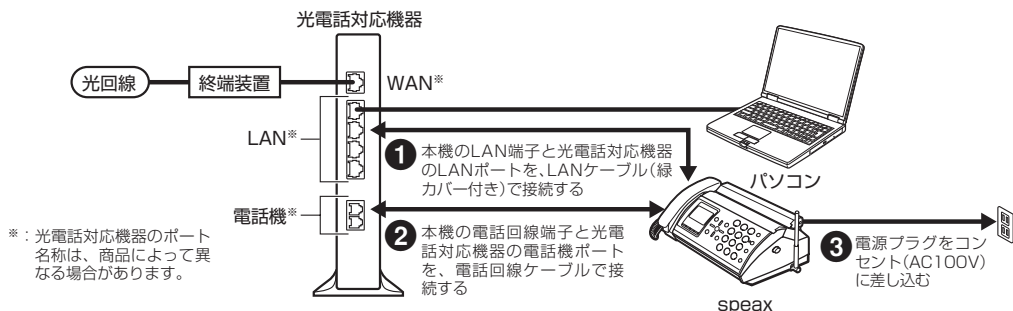
□ **モデムダイヤルイン** →「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.77)

※ キャッチホンは、あらかじめ本機で設定しなくてもお使いになれます。→「キャッチホン」(P.75)

いろいろな接続

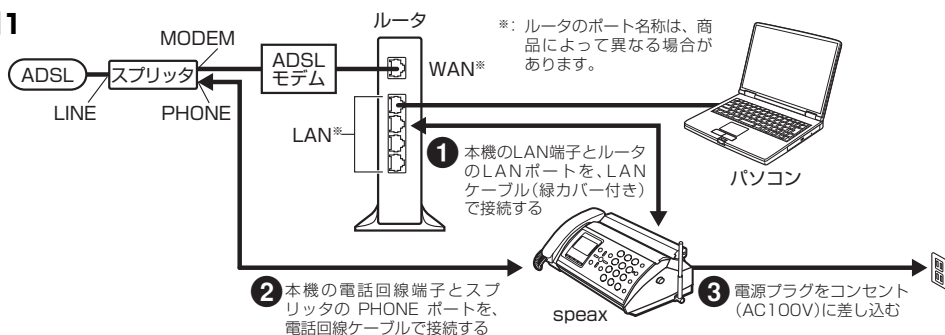
本機を光回線、ADSL回線、IP電話機能付きの機器、INSネット64に接続する方法を説明します。

光回線に接続する

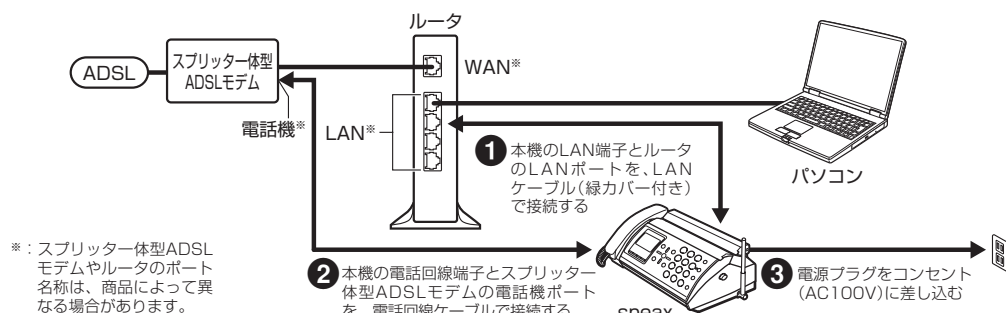


ADSL回線に接続する

■接続例1



■接続例2 スプリッター体型ADSLモデムをご使用の場合

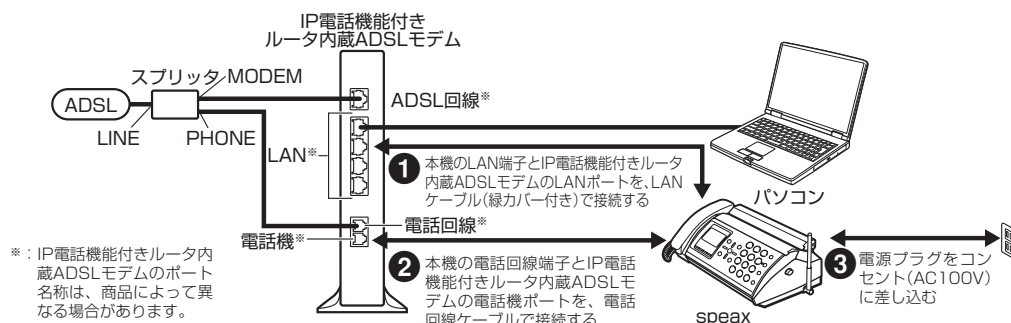


- ① ADSL回線に接続するには、本機のほかに次の機器が必要です。
 - ・ADSLモデム ・スプリッタ ・ルータ
- ① 誤った接続をすると、通話中の雑音や本機誤動作の原因となります。正しい接続方法をご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
- ① ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。お気づきの点がありましたら、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
- ① ADSLモデムと接続した場合、回線の自動選択ができないことがあります。ご使用の回線種別を確認のうえ、手動設定してください。
 - ➡「回線種別を設定し直すには」(P.21)
- ① ADSLモデム、ルータ、スプリッタが一体のものもあります。
- ① 本機ではルータ機能を持たないADSLモデムに直接接続してもインターネットには接続できません。

一般電話回線からADSL回線に変えたときに電話やファクスが使えなくなることがあります。次のことを確認してください。

確認すること	対処のしかた／お問い合わせ先
ブランチ接続をしていませんか？	ブランチ接続をしている場合は、同じ回線に接続されている他の機器を取り外してください(ブランチ接続➡P.19)。
スプリッタを交換することで使えるようになる場合があります。	ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

IP電話機能付きの機器に接続する



IP電話機能付きADSLモデムに接続したときの注意

	このようなときは	これを確認してください	対処のしかた／お問い合わせ先
電話	・ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない ・携帯電話にかけられない ・フリーダイヤルなど特殊な相手先にかけられない	次の手順で正常に動作するか確認してください。 1. 本機をADSLモデムから取り外す 2. ADSLモデムを電話コンセントから取り外す 3. 本機を直接、電話コンセントに接続する	左の手順で正常に動作する場合、IP電話のご契約内容やADSLモデムの設定などが原因として考えられます。ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。
ファクス	・送信／受信の異常がひんぱんに起こる	ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送信／受信できないことがあります。	一般電話回線を経由して電話する方法でご使用ください。詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

INSネット64に接続する

本機をターミナルアダプタ (TA) のアナログポートに接続します。詳しい接続方法はターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書をご覧ください。

INSネット64を利用するにはNTT東日本・NTT西日本との契約(有料)が必要です。

❶ INSネット64に接続するには本機のほかに次の機器が必要です。

- ・ ISDNターミナルアダプタ (TA)
- ・ デジタルサービスユニット (DSU)

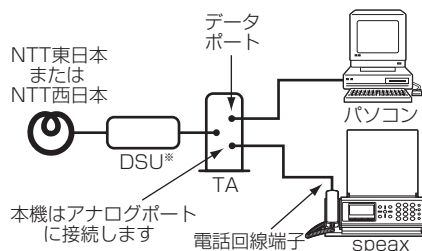
❷ 回線種別はターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書でご確認のうえ、設定してください。

→ 「回線種別を設定し直すには」 (P.21)

❸ ターミナルアダプタ (TA) のダイヤル桁間タイマなどの設定によっては次のような電話番号に電話がかけられないことがあります。

- ・ ポーズ (ー) を入れて電話帳に登録した電話番号

❹ 本機をターミナルアダプタ (TA) のアナログポートに接続しただけでは、ネットワーク機能をお使いいただくことはできません。



ナンバー・ディスプレイ／ダイヤルインを利用するときの注意

ナンバー・ディスプレイ INSナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。

ダイヤルイン (モデムダイヤルイン) ターミナルアダプタ (TA) の取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタ (TA) の機種または設定によっては、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。その場合は、本機のダイヤルインの設定を「しない」に設定してください。

→ 「ダイヤルインを設定する／解除する」 (P.77)

かんたんに使う

電話をかける

ダイヤルボタンを押してかける

親機

- ① 次のときは電話がかけられません。
- ・ ディスプレイに「内線2 使用中」と表示されている（子機が使用中）。
 - ・ コピーやファクスを使用している。
 - ・ 他の機能の設定や、電話帳などの登録をしている。

1 受話器をとり
「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す



3 通話が終わったら
受話器を戻す

- ① コピーやファクスを使ったあとは受話器が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。

▶ 番号を間違えたときは：

受話器を戻し、もう一度とってから電話番号を押す。

- ☞ 先に電話番号を押してから、受話器をとってもかけられます。

子機

- ① 次のときは電話がかけられません。
- ・ ディスプレイに「カイセン ショウチュウ」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
 - ・ 親機でコピーやファクスを使用中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ビピッ」という音がして「ショウチュウ」と表示される）。
 - ・ ディスプレイに「ツウワ ケンガイ」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。
- ① 「ツウワ ケンガイ」と表示されているときに（通話）を押すと、親機との接続動作を行ったあと待機表示になります。もし待機表示にならなければ、親機に近づいてもう一度（通話）を押してください。
- ① 通話中に「ピーピーピー」と音がするとき
親機の○「スタート/コピー」を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

1 子機を充電器からとり
（通話）を押して
「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す



3 通話が終わったら
（切）を押して
子機を戻す

▶ 「ツー」の音が聞こえないときは：

（切）を押し、もう一度（通話）を押す。

▶ 充電器に置いていないときは：

子機をとり、そのまま（通話）を押す。

- ☞ 先に電話番号を押してから、（通話）を押してもかけられます。

▶ 番号を間違えたときは：

（切）を押し、最初からやり直す。

- ☞ クイック通話が「OFF」の場合、（通話）を押す前に電話番号を押したときは、（発着）を押すと最後の一文字を取り消えます。

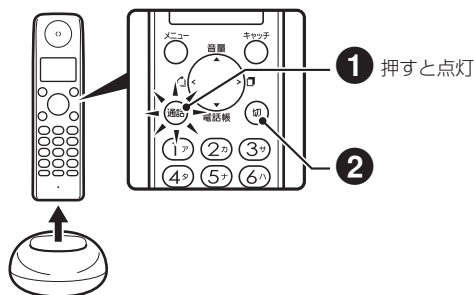
- ▶ 相手の声が聞こえにくいときは：🔊「ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整」（P.51）
- ▶ ボタンを押したときの音を消すには：🔊「ボタンを押したとき音を鳴らす/鳴らさない（キータッチトーン）」（P.81）
- ▶ 携帯電話への通話サービスをお手軽に利用するには：
🔊「携帯電話への通話サービスを簡単に使う（ケータイお得ダイヤル）」（P.49）

子機のと리카た／クイック通話

- 子機で電話をかけたり受けたりするときは、充電器からとり^①を
押す
・^①が点灯しているときは、親機で受話器をとったときと同じ状
態です。受話口から「ツー」という音がします。
- 電話を切るときは^②を押す
・充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。

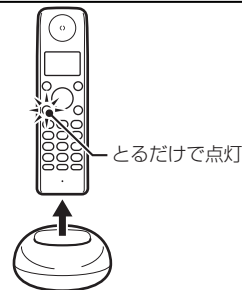
本書の表記

本書の中では、電話を切るときは「^②を押す」と説明しています。このときは、
充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。



子機を充電器からとるだけで、電話をかけたり受けたりできるようにする機能を
「クイック通話」と言います。

これにより、親機で受話器をとるのと同じように操作できます。



かんたんを使う

電話をかける

クイック通話をONにする／OFFにする

クイック通話を「ON」に設定すると、子機を充電器からとるだけで電話をかけたり受けたりできるようになります。

子機

1 子機を充電器からとる

2 ○ [メニュー] を押す

メニュー
↓デフォルトワーク

3 [▲] または [▼] で
「クイックツウワ」を選び
○ [メニュー] を押す



メニュー
↓クイックツウワ
クイックツウワ
↓OFF

4 [▲] または [▼] で
「ON」または「OFF」を選び
○ [メニュー] を押す

ご購入時の設定：「OFF」

▶ ^①が点灯しているときは：^②を押す。

下の表を参考に設定してください。

クイック通話の設定	子機を充電器からとると	電話をかける／受けるには
OFF	^① 点灯しない	子機をとって、 ^① を押す
ON	^① 点灯する	・かけるときは子機をとってそのままダイヤルする ・受けるときは子機をとるだけで受けられる

本書の表記

本書の中では、「クイックツウワOFF」のときの操作を説明しています。

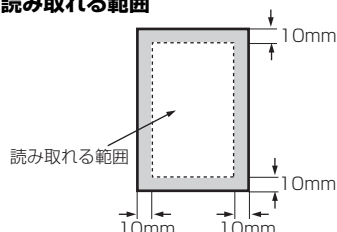
ファクスを送る／コピーをとる

原稿のサイズ／読み取れる範囲

■ 読み取れる原稿のサイズと厚さ

原稿の枚数		1枚	2枚以上
幅×長さ	最大	210mm×600mm (コピーのとき：A4サイズ)	210mm×297mm (A4サイズ)
	最小	128mm×128mm	
厚さ		0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

■ 読み取れる範囲



① 1枚だけセットするときと2枚以上セットするときでは、読み取れるサイズと厚さが異なります。

① 厚さの目安：この取扱説明書（このページ）の厚さが約0.08mmです。

① 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。

① クリップやホチキスの針は取り除いてください。

① インクや修正液、ノリなどはよく乾かしてからセットしてください。

① 次のような原稿をファクスで送るときは、あらかじめ上記の表「■読み取れる原稿のサイズと厚さ」に合った普通紙に、本機とは別のコピー機でコピーしてからセットしてください。

・透明な原稿（フィルムやトレーシングペーパーなど）。

・ノリやテープで貼り合わせた原稿。

・やぶれやしわのある原稿。まるまった原稿。

・上記の「読み取れる原稿のサイズ」より小さい原稿、大きい原稿。

・化学処理された原稿（感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙など）。

・上記の「読み取れる原稿の厚さ」より薄い原稿、厚い原稿。

原稿セットのしかた

セットできる原稿の枚数：最大5枚

① 6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で追加しないでください。何回かに分けて送ってください。

① 記録紙排出口に残っている紙は、あらかじめ取り除いてください。

① 原稿挿入口カバーを開く

② 原稿セットガイドを読み取る原稿の幅に合わせる

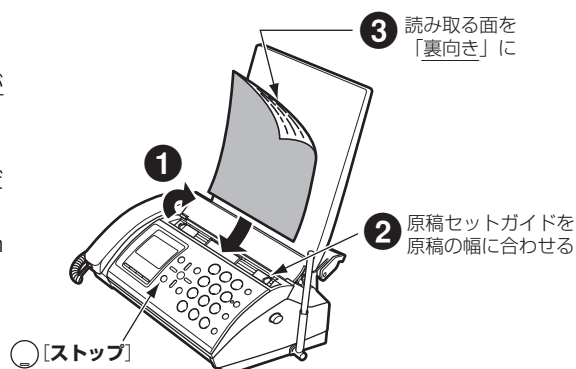
・原稿セットガイドが原稿の幅に合っていないと、原稿が斜めに入ったり、紙づまりの原因になります。

③ 読み取る面を「裏向き」に原稿を軽く差し込む

・原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。

・無理に押し込まないでください。原稿は自動的に2cm程度引き込まれます。

・2枚以上の原稿をセットすると下（裏向きに伏せた面）から順に読み取られます。



① セットした原稿は無理に引き抜かないでください。

▶ セットした原稿を取り除くには：○「ストップ」を押す。

ファクスを送る（自動送信）

親機

①子機では操作できません。

1 原稿をセットする

2 ダイヤルボタンで 相手先の電話番号を押す ○ [スタート/コピー] を押す

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩
ダイヤルボタン

原稿が排出され、「ピーッ」と鳴ったら送信終了です。

☞「原稿セットのしかた」(P.30)

①あらかじめ原稿に適した画質の設定になっていることを確認してください。☞「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.54)

① 受話器はとらずにダイヤルボタンを押します。

▶ 途中で送信をやめるときは：○ [ストップ] を押す。
原稿が排出されずに残ったときは、もう一度○ [ストップ] を押すと排出される。

① 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まるがありますが、無理に引き抜かないでください。

① 相手先のファクスの機種によって、送信時間が長くなることがあります。

①「リダイヤル待ち 1 回目」と表示されることがあります。これは、送信相手が話し中などで送信できない場合、自動的に送信をくり返している場合（オートリダイヤル）に表示されます。約1分間隔で5回までくり返し、それでも送信できない場合は不達レポートがプリントされます。☞「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.57)

☞ 電話番号をダイヤルする代わりに、次の方法で送信先を選ぶことができます。

- ・電話帳に登録した相手先に送る☞「電話帳でかける」(P.43)
- ・リダイヤルに記録された相手先に送る☞「同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）」(P.38)
- ・着信データに登録された相手先に送る☞「着信データを使って電話をかける（コールバック）」(P.73)

▶ 通話中にファクスを送るときは：☞「電話をかけて通話中に送る（手動送信）」(P.53)

▶ 海外にファクスを送るときは：☞「海外へ送るとき」(P.56)

▶ メールでファクスを送るときは：☞「スキャンした画像をメール送信する（スキャンtoメール）」(P.98)

コピーをとる

親機

①子機では操作できません。

1 原稿をセットする

2 ○ [スタート/コピー] を押す

コピー
スキャン to PC
▲▼で選択

3 ○ [スタート/コピー] を押す

コピー中 P01

☞「原稿セットのしかた」(P.30)

①あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。☞「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.54)

▶ 途中でコピーをやめるときは：

○ [ストップ] を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度○ [ストップ] を押すと排出される。

① 原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。

① 個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- ・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- ・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

留守番電話を使う

留守設定をする

留守中に受けた電話の用件を録音するときは留守設定をします。留守設定がされているときでも、ファクスは自動的に受けられます。

① 着信ベルの回数が8回以上に設定され、「トールセイバ」が「しない」に設定されている場合は、ファクスを自動受信できないことがあります。

→ 「ベルが鳴る回数を変える」(P.83)

→ 「録音された用件があるか外出先から確認する(トールセイバ)」(P.63)

録音できる時間：最大3分/件(全ての用件を合計して最大45分。自作の応答メッセージの録音時間を含む。)

録音できる件数：最大30件

☞ 留守設定がされているときでも、受話器や子機をとれば電話が受けられます。→ 「電話やファクスを受ける」(P.36)

☞ 在宅中に留守設定をしておく、相手の声をモニタスピーカで確認してから電話にでられます(居留守モニタ)。

親機

1  [留守] を押す

応答メッセージ 固定
用件 0件
留守設定

☞ 留守設定がされると応答メッセージが流れ、
 [留守] が点灯します。

▶ **モニタスピーカの音量を調整するには：**

応答メッセージが流れている間に調整する。

→ 「ベル音/受話音/スピーカ音の音量調整」(P.51)

子機

1 子機を充電器からとる

2  [メニュー] を押す

メニュー
↓デモンストラチュウ

3  または  で
「リモコンソウサ」を選び
 [メニュー] を押す



メニュー
↓リモコンソウサ
リモコンチュウ

4 「リモコンチュウ」が
表示されたら
 を押す



5  を押す

▶  が点灯しているときは： を押す。→ 「子機のとりかた/クイック通話」(P.29)

▶ **「ピーピーピー」と音がするときは：**

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

① 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

☞ 留守設定がされると子機の手話口から「留守設定をしました。」のメッセージが流れます。

応答メッセージは本機の状態に応じて異なります。

本機の状態	メッセージ「ただいま留守にしております。...」
通常	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」※1
・用件が録音できない ・ファクスは受信できる (用件がいっぱい)	「...ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件は録音できる ・ファクスが受信できない	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」
・用件が録音できない ・ファクスが受信できない (メモリ残量が不足)	「...恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」

※1：「通常」の応答メッセージは自作のメッセージに変更できます。→ 「自作の応答メッセージを使う」(P.60)

▶ 留守設定をしても応答メッセージが聞こえないときは：次の確認をする。

- ・モニタスピーカの音量が「切」になっていないか。 → 「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)
- ・自作の応答メッセージが正しく録音されているか。 → 「自作の応答メッセージを使う」(P.60)
- ・着信中に  「留守」を押したか。 → 着信中に押すと応答メッセージは聞こえないが、留守設定はされる（呼出ベルに変わったあとでは留守設定ができない）。

留守設定をしたとき、メモリ残量が不足していると次のメッセージが流れます。

メッセージ	状態	対処のしかた
「用件がいっぱいです。 不要な用件を消去してください。」	留守設定ができません。	不要な用件を消去する → 「録音された用件を聞く／消去する」(P.34)
「メモリ残量が少なくなっています。 不要な用件を消去してください。」	すぐに用件を録音できなくなります。	メモリ代行受信したファクス受信文書がある場合 → 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.58)、「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)

留守設定を解除する

親機

- ① 録音された用件があると  「留守」が点滅します。
- ① ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。

1  「留守」を押す

用件 0件

留守設定が解除されると録音された用件に応じてメッセージが流れ、 「留守」が消灯します。

録音された用件に応じて次のメッセージが流れます。

メッセージ	再生
「用件は〇〇件です。」	録音された全ての用件が再生されます。1件ごとに録音された日時を音声で知らせます（タイムスタンプ）。 ▶ 再生を途中でやめるには：  「ストップ」を押す。 ☞ ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、ディスプレイに相手先の電話番号、電話帳に登録された相手先の名前が表示されます。なお、さかのぼり録音のときは表示されません。
「用件はありません。」	録音された用件はありません。

▶ モニタスピーカの音量を調整するには： → 「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)

子機

1 子機を充電器からとる

2 ○ 「メニュー」を押す

メニュー
↓デノンチャットワーク

3 [▲] または [▼] で
「リモコンソウサ」を選び
○ 「メニュー」を押す



メニュー
↓リモコンソウサ
リモコンチュウ

4 「リモコンチュウ」が
表示されたら
 を押す



5  を押す

▶  が点灯しているときは： を押す。 → 「子機のとりかた／クイック通話」(P.29)

▶ 「ピーピーピー」と音がするときは：
親機が使用中なので、しばらく待ってやり直します。

- ① 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。
- ☞ 留守設定が解除されると子機の受話口から「留守設定を解除しました。」のメッセージが流れます。

録音された用件を聞く／消去する

録音された用件は留守設定を解除したときに自動的に再生されますが、一度再生された用件でも消去しなければ何度でもくり返し聞くことができます。

親機

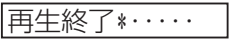
1 を押す

☞ 用件が再生されます。

▶ **再生された用件が聞こえないときは：**

モニタスピーカの音量が「切」になっていないか確認する。→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)

■ 用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に  を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 ▶ すぐに用件を消去したいときは： 手順1で   を順に押すと、用件再生とメッセージを待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは  「ストップ」を押す。
聞き終わった用件を全て消去する（一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、右の画面が表示されている間（約6秒間）に  を押す。 

☞ 録音された用件を全て（再生していないものも含めて）消去することもできます。→「録音された用件を全て消去する」(P.60)

☞ 録音された用件を通話中の相手に聞かせることができます。→「通話中に留守番電話の用件を再生する」(P.49)

子機

1 子機を充電器からとる

▶  が点灯しているときは： を押す。

→「子機のとりかた／クイック通話」(P.29)

2  「メニュー」を押す

メニュー
↓デモンショウロク

3  または  で
「リモコンソウサ」を選び
 「メニュー」を押す



メニュー
↓リモコンソウサ
リモコンチュウ

▶ **「ピーピーピー」と音がするときは：**

親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

4 「リモコンチュウ」が表示されたら
 を押す



① 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

☞ 用件が再生されます。

5  を押す

■ 用件を消去するには

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に  を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 ▶ すぐに用件を消去したいときは： 手順1で   を順に押すと、用件再生とメッセージを待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは  を押す。
聞き終わった用件を全て消去する（一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、「ピッピッピッ」の音が聞こえている間（約6秒間）に  を押す。 「再生済みの用件を消去しました。」のメッセージが流れたら、  を押す。

再生中の操作

再生速度を変えたり、再生中の用件をとばして次の用件を聞いたり、もう一度最初から聞いたりすることができます。

操作	ボタン		詳細
	親機	子機	
再生速度を変える			押すたびに「通常→高速→低速→通常...」の順で変わる。
最初から再生する			再生中の用件を最初から再生する。2度続けて押すと、1つ前の用件を再生する。
次の用件を再生する			次の用件を再生する。2度続けて押すとさらに次の用件を再生する。
再生をやめる	 [ストップ]		▶ 再び最初から再生するには 親機：  を押す 子機：  を押す
消去する（1件）			再生中の用件を消去する。 再生終了後に「消去しました。」のメッセージが流れる。

■再生中にスキップしたいときは（30秒スキップ再生）

用件を再生しているときに、再生箇所をスキップすることができます。

❶ 子機では操作できません。

ボタン	機能
	1回押すと、約30秒先に進む。
	1回押すと、約15秒前に戻る。

電話やファクスを受ける

ベルが鳴ったら

ベルが鳴ったら受話器や子機をとり、電話やファクスを受けます。着信モードが「ファクス専用」または「電話／ファクス切替」に設定されているときは、本機が自動的にファクスを受信します。本機が自動受信する前に受話器や子機をとった場合は、手動で受信させることもできます。

📞 「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」 (P.80)

親機

ベルが鳴ったら
受話器をとる

受話器から
...

通話が終わったら
受話器を戻す

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

相手の声がしたとき



「ボーボーボー」の音がしたあと、
次のメッセージが聞こえたとき
「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」



「ボーボーボー」の音がしたあと、
メッセージが聞こえないとき



何も音がしないとき



そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。

受話器を戻す

ファクスの着信です。受話器を戻すと本機が自動受信します。

❶ 「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているとき、メッセージが聞こえます。

(ファクスかんたん受信 📞 P.57)

○ **【スタート／コピー】**を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。

📞 「ボタンを押して受ける（手動受信）」 (P.53)

○ **【スタート／コピー】**を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。

📞 「ボタンを押して受ける（手動受信）」 (P.53)

❶ 記録紙排出口にたくさんの紙（10枚以上）をためないようにしてください。

子機

ベルが鳴ったら
子機を充電器からとり
📞 を押す

受話口から
...

通話が終わったら
📞 を押し、
子機を充電器
に戻す

子機の着信ベルは親機よりも少し遅れて鳴ります（電波の状況によって、遅れかたに若干の差があることがあります）。

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

❶ 充電器に置いていないときは、そのまま📞を押します。

相手の声がしたとき



「ボーボーボー」の音がしたあと、
次のメッセージが聞こえたとき
「ファクシミリを受信します。
受話器を置いてお待ちください。」



「ボーボーボー」の音がしたあと、
メッセージが聞こえないとき



何も音がしないとき



そのまま通話する

電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。

📞 を押し、子機を戻す

ファクスの着信です。📞 を押すと本機が自動受信します。

❶ 「ファクスかんたん受信」を「する」に設定しているとき、メッセージが聞こえます。

(ファクスかんたん受信 📞 P.57)

📞 を押し、📞 を押す

ファクスの着信です。手動で受信してください。

📞 「ボタンを押して受ける（手動受信）」 (P.53)

📞 を押し、📞 を押す

ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。

📞 「ボタンを押して受ける（手動受信）」 (P.53)

❶ 通話中に「ピーピーピー」という音がしたら

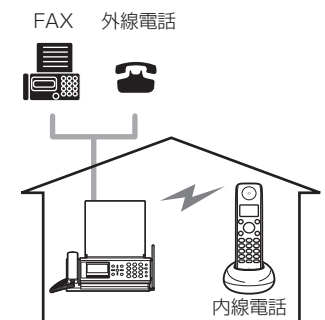
子機で通話中に、親機の ○ **【スタート／コピー】** を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

着信の種類を判断する（電話かファクスか）

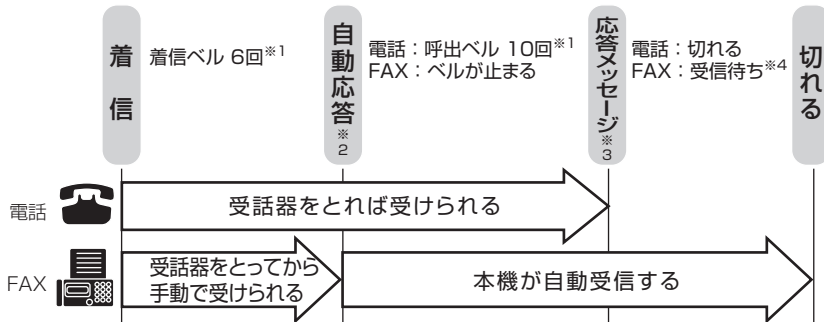
本機の受ける着信には外線電話、ファクスと内線電話（他の親機や子機からの呼び出し）があります。本機では着信の種類を着信音や受話器（または子機）をとったときの音で判断できます。

本機では外線からの着信があると電話かファクスかを自動的に判断して、電話なら呼出ベルを鳴らし、ファクスなら自動受信することができます。これを「電話／ファクス自動切替」と言います。

■外線／内線



■電話／ファクス自動切替のしくみ



※1：着信ベル／呼出ベルの回数は変えられます。→「ベルが鳴る回数を変える」(P.83)

※2：本機が電話かファクスかを自動的に判断します。この時点で相手先に通話料がかかります。

※3：相手先に次の応答メッセージを流します。

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直してください。」

※4：ファクスの受信をしばらく待ちます（30～40秒）。相手先では信号音がします。

着信の種類によって、着信ベルが次のように変わります。

着信ベル	受話器をとると	着信の種類	操作	参照先
「ブルブル、ブルブル…」 と長く鳴る※1	相手の声がある	外線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」(→P.36)
	「ポーポーポー」 と音がある	ファクス	受話器を戻すとファクスを受信する※2	「ベルが鳴ったら」(→P.36)
	何も音がしない※3	ファクス かもしれない	ファクスを手動受信する	「ボタンを押して受ける (手動受信)」(→P.53)
6回で止まる※4	(受話器をとらない)	ファクスなら本機が自動受信する		—
		電話なら本機が録音する（留守設定時）		「留守設定をする」(→P.32)
「ピピ、ピピ…」 と短く鳴る	相手の声がある	内線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」(→P.36)

この表は、ご購入時の設定のまま使用した場合の本機の動作を記しています。設定を変更するとそれぞれの動作も変わります。

※1：外線の着信音の音色は変えられます。→「ベルの音色を変える／メロディにする」(P.83)

※2：「ファクスかんたん受信」を「しない」に設定しているときは手動で受信します（ファクスかんたん受信→P.57、手動受信→P.53）。

※3：相手先のファクスの機種によって音がしないことがあります。この場合はファクスの手動受信を試して確認します。（手動受信→P.53）

※4：着信ベルの回数は変えられます。→「ベルが鳴る回数を変える」(P.83)

「トールセイバ」が「する」に設定されていると、留守設定のときの着信ベルの回数が変わります。

→「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」(P.63)

べんりに使う

電話

同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）

以前に電話をかけた相手先の電話番号が自動的に記録されています。同じ相手先にもう一度かけるとき、記録された電話番号を▲▼ボタンで選ぶだけで、簡単にかけられます。

親機

記録される件数：最大10件

記録される桁数：最大40桁（1件につき）

① 10件を超えると古いものから順に消去されます。

① ファックスを送信した電話番号も記録されます。話し中で通話できなくても記録されます。

① 子機に記録された電話番号にはかけられません。子機でかけた電話番号は親機には記録されません。

1 [>]（リダイヤル）を押す



01)
0312345678

☞ 直前にかけた電話番号にかけるときは、次のようにすると、電話番号を選ばなくてもかけられます。

・先に受話器をとってから [>]（リダイヤル）を押す。

・[オンフック/キャッチ]を押してから [>]（リダイヤル）を押す。☞「受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）」（本ページ下）

☞ 電話帳でかけた相手先は、登録した相手先名と電話番号が表示されます。

2 [▲] または [▼] で記録された電話番号を選び受話器をとる

■ 記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと、受話器をとらずに[消去]を押す。
- 右の画面が表示されたら[<]または[>]で「消去」を選び、[セット]を押す。消去をやめる場合は「中止」を選び、[セット]を押す。

0312345678

消去/中止

子機

記録される件数：最大10件

記録される桁数：最大24桁（1件につき）

① 10件を超えると古いものから順に消去されます。

① 話し中で通話できなくても記録されます。

① 親機に記録された電話番号にはかけられません。親機でかけた電話番号は子機には記録されません。親機でファックスを送信した電話番号は子機には記録されません。

1 子機を充電器からとり[>]（リダイヤル）を押す



0312345678

2 [▲] または [▼] で記録された電話番号を選び[通話]を押す

☞ 最後に電話をかけた相手先から順に表示されます。

■ 記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと、[通話]を押さずに[保留 消去]を押す。
- 「ショウキョ シマスカ?」が表示されたら、[▲] または [▼] で「ハイ」を選び。消去をやめる場合は、[切]を押す。
- [保留 消去]（または[メニュー]）を押す。消去をやめる場合は、手順2で「イイエ」を選び、[メニュー]を押します。

受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）

親機の場合は受話器をおいたまま、子機の場合は受話口を耳から離れた状態でも、モニタスピーカから流れる相手の方の応答を確認してから通話することができます。

親機

1 受話器を置いたまま[オンフック/キャッチ]を押し、「ツー」という音を確認する

オンフック中

☞ オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

0312345678

▶ 電話番号を間違えたときは：

[オンフック/キャッチ]を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

3 相手が電話にでたら受話器をとって通話する

① 受話器をとるまで、こちらの声は相手に聞こえません。

▶ 受話器をとる前に電話を切るには：
[オンフック/キャッチ]を押す。

① オンフックで通話中は、キャッチホンを受けられません。[オンフック/キャッチ]を押すと通話が切れます。

① 受話器をとって通話したときは、オンフックに切り替えられません。

1 [オンフック] を押し
「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を押す

3 相手が電話にでたら
[オンフック] を押して通話する

❶ 充電器に置いていたときは、[オンフック] を押すことはできません。

☞ オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

▶ 電話番号を間違えたときは：

[切] を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

❶ 手順3で [オンフック] を押すまで、こちらの声は相手に聞こえません。

▶ 手順3で [オンフック] を押す前に電話を切るには：[切] を押す。

電話帳に相手先を登録する

親機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選だけで簡単に電話がかけられます。ファクス番号も登録できます。

登録できる件数：最大200件

☞ ご購入のとき、すでに「スピークス問合せ」が登録されています。これも登録件数に含まれます。

▶ 「電話帳フル」が表示されたら：すでに200件の相手先が登録されている。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録する。
☞ 「登録した名前と電話番号を消去する」(P.40)

相手先の名前と電話番号を登録する

1 [セット] を押す

電話帳登録
> 名前?
かな

2 相手先の名前を入力し
[セット] を押す

日本電気
読みカナ?
ニッポ ンデ ン

3 読みカナを確認し
[セット] を押す

4 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
[セット] を押す

日本電気
0312345678
日本電気
0312345678
メールアドレス?

5 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

n e c @ x y z
アドレス属性
PC / 携帯

6 [<] または [>] で
入力したメールアドレスがパソコン/
携帯電話のどちらのアドレスかを選び
[セット] を押す

日本電気
0312345678
登録しました

7 登録を終了するときは
[ストップ] を押す

名前の文字数：最大全角8文字

☞ ☞ 「文字入力について」(P.134)

読みカナの文字数：最大12文字

☞ ☞ 「文字入力について」(P.134)

❶ 「。」の読みカナは「。」になります。

電話番号の桁数：最大32桁

▶ ー (ポーズ) を入れるには：

[さかのぼり録音] を押す。

▶ ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

・市外局番から入力する。

・「*」「#」「ー (ポーズ)」は入力しない。

メールアドレスの文字数：英数字／記号で最大半角50文字

☞ ☞ 「文字入力について」(P.134)

❶ メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

▶ メールアドレスを登録しないときは：

メールアドレスを入力せずに [セット] を押し、手順7へ。

▶ 続けて他の相手先を登録するには：

手順2～6をくり返す。

▶ 途中で登録をやめるときは：

[ストップ] を押す。

登録した名前や電話番号を変更する

①すでに登録した相手先のリストをプリントすることができます。📄「リストをプリントする」(P.85)

1 [電話帳] を押す

日本電気
0312345678
▲▼で選択

2 [▲] または [▼] で変更する相手先を選び、[セット] を押す

消去 / 変更

3 [<] または [>] で「変更」を選び [セット] を押す

■本電気

▶ 次の画面が表示されたときは：

[<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

03
消去 / 中止

📄📖「文字入力について」(P.134)

4 名前を変更し [セット] を押す

NEC

読みカナ？
■ッポ°ンデ°ン

5 読みカナを変更し [セット] を押す

読みカナ？
NEC

NEC
0312345678

▶ 読みカナを変更しないときは：
[セット] を押し、手順6へ。

6 ダイヤルボタンで電話番号を変更し [セット] を押す

NEC
0612345678

NEC
0612345678
nec@xyz.

▶ 電話番号の変更方法

番号の入力 : ダイヤルボタン
ー (ポーズ) : [さかのぼり録音]
カーソルの移動 : [<] [>]
番号を全て消去 : [消去]

▶ 電話番号を変更しないときは：

[セット] を押し、手順7へ。

7 メールアドレスを変更し [セット] を押す

yz.co.jp

アドレス属性

PC / 携帯

①メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

📄 または [>] で、カーソル(入力位置)を移動できます。[消去] を押すと、カーソルの文字が消去されます。

▶ メールアドレスを変更しないときは：

そのまま [セット] を押す。

8 パソコン／携帯電話（メールアドレス）の設定を変更し、[セット] を押す

▶ 途中で変更をやめるときは：[ストップ] を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

1 [電話帳] を押す

日本電気
0312345678
▲▼で選択

2 [▲] または [▼] で消去する相手先を選び、[セット] を押す

消去 / 変更

3 [セット] を押す

消去 / 中止

▶ 次のような画面が表示されたときは：

[ストップ] を押して、最初からやり直す。

■本電気

▶ 消去するのをやめるときは：「中止」を選び、[セット] を押す。

4 [セット] を押す

消去しました

親機の電話帳から子機に転送する

親機に登録した相手先を子機に転送できます。転送された相手先は子機の電話帳に追加されます。

- ❶ 子機にあらかじめ登録された相手先は消えません。
- ❶ 子機の電話帳にすでに最大件数（100件）の相手先が登録されていると転送できません。
- ❶ メールアドレスは転送されません。
- ❶ 子機に転送された電話帳の相手先の名前は、親機に登録されている読みカナで登録されます。
- ❶ 次のような相手先は転送されません。
 - ・ 同じ名前と同じ電話番号の相手先が子機の電話帳に登録されている
 - ・ 電話番号が25桁以上

- ❶ 転送先の子機は転送が終わるまで使用できません。子機のディスプレイに「テンソウチュウ」と表示されます。
- ❶ 次のときは転送が中断されます。
 - ・ 子機の登録件数が最大件数（100件）に達した
 - ・ 着信を受けた
 - ・ エラーが発生した

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

▶ 途中で転送をやめるときは：[ストップ] を押す。

2 [▲] または [▼] で 「電話帳転送」を選び [セット] を押す

電話帳転送
WIFI BAND

転送方法

一斉／個別

3 [<] または [>] で 「一斉」または「個別」を選び [セット] を押す

転送内線番号
内線 2
<>で選択

☞ 一斉転送／個別転送の選びかた
全ての相手先を転送する：「一斉」
1件ずつ選んで転送する：「個別」

❶ 子機が1台の場合、「<>で選択」は表示されません。

▶ 子機が2台以上ある場合は： [<] または [>] で転送先の子機の内線番号を選び、[セット] を押して手順4へ。

内線番号について → 「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.44）

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「一斉」 → ■一斉転送
「個別」 → ■個別転送

■一斉転送

4 [セット] を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

5 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中
1/45件

☞ 転送中に [ストップ] を押すと、[ストップ] を押したところまで転送されます。

☞ ディスプレイに転送された件数が表示されます。

電話帳転送
転送終了しました

■個別転送

4 [セット] を押す

日本電気
0312345678
▲▼で選択

5 [▲] または [▼] で 転送する電話帳の相手先を選び [セット] を押す

転送を開始します
スタートを
押して下さい

6 [スタート/コピー] を押す

内線 2
電話帳転送中

電話帳転送
転送終了しました

▶ 続けて他の相手先を転送するには：
手順5～6をくり返す。

7 終了するときは
[ストップ] を押す

▶ 転送された相手先を確認するには：子機の [電話帳] を押す。

■ 次のようなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因／対処のしかた
「…〇件 転送NG」 「転送できません」	25桁以上の電話番号や、電話番号のないメールアドレスだけが登録された電話帳が含まれている。「〇件」は転送できなかった件数を示す。子機に転送するときは、電話番号を変更／登録してから転送し直す。 → 「登録した名前や電話番号を変更する」(P.40)
「電話帳フル」	子機にはすでに最大件数（100件）の電話番号が登録されている。子機の電話帳から不要な電話番号を削除してから転送し直す。 → 「登録した名前と電話番号を消去する」(P.43)

電話帳に相手先を登録する

子機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておく、電話帳ボタンを使って選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

登録できる件数：最大100件

❶ 子機にメールアドレスは登録できません。

▶ 「デンワチョウ フル」が表示されたら：すでに100件の相手先が登録されている。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録する。→ 「登録した名前と電話番号を消去する」(P.43)

▶ 登録の途中で「ピーピーピー」と音がしたら：各々のボタン操作を60秒以内にしないとこの音が鳴り、登録が中止される。中止されたときは最初からやり直す。

相手先の名前と電話番号を登録する

1 子機を充電器からとる

2 [メニュー] を押し
「デンワチョウトウロク」が表示されたら
もう一度 [メニュー] を押す

メニュー
↓デンワチョウトウロク
ナマイ?
コリ100ケ

3 相手先の名前を入力し
[メニュー] を押す

ナマイ?
ニッポンデ
デンワバンゴウ?

4 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
[メニュー] を押す

デンワバンゴウ?
0312345678
トウロク シマシ

▶ [通話] が点灯しているときは：[切] を押す。
→ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.29)

名前の文字数：最大12文字

→ 「文字入力について」(P.136)

▶ 電話番号だけ登録するときは：

名前を入力せずに [メニュー] を押す。

電話番号の桁数：最大24桁

→ 12桁を超える番号は横にスクロール表示されます。

▶ ー（ポーズ）を入れるには：

[キャッチ] を押す。

▶ ナンバー・ディスプレイを利用するときは：

・市外局番から入力する。

・「*」「#」「ー（ポーズ）」は入力しない。

▶ 途中で登録をやめるときは：[切] を押す。

登録した名前や電話番号を変更する

1 子機を充電器からとり
[電話帳] を押す

ニッポンデンキ
0312345678

2 [▲] または [▼] で変更する相手先を選び
[メニュー] を押す

ナマイ?
ニッポンデンキ

▶ [通話] が点灯しているときは：[切] を押す。
→ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.29)

- 3 名前を変更し
[メニュー] を押す

ナマエ?
NEC

デンワバンゴウ?
0312345678

- 4 ダイヤルボタンで
電話番号を変更し
[メニュー] を押す

デンワバンゴウ?
0612345678

- ☞ 「文字入力について」(P.136)
▶ 電話番号だけ変更するときは：
名前を変更せずに [メニュー] を押す。

電話番号の変更方法

- 番号の入力 : ダイヤルボタン
ー (ポーズ) : [キャッチ]
カーソルの移動 : [＜] [＞]
一文字消去 : [保留 消去]
番号を全て消去 : [保留 消去] を長く押す (2秒以上)。
▶ 電話番号を変更しないときは：
そのまま [メニュー] を押す。
▶ 途中で変更をやめるときは : [切] を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

- ① 複数の子機をお使いの場合、子機ごとに操作してください。1度の操作で複数の子機の登録内容は消去できません。

- 1 子機を充電器からとり
[電話帳] を押す

ニッポンデンキ
0312345678

- 2 [▲] または [▼] で
消去する相手先を選び
[保留 消去] を押す

ショウキョ シマスカ?
▲ハイ

- 3 [保留 消去] (または [メニュー]) を押す

ショウキョ シマシタ

- ▶ [通話] が点灯しているときは : [切] を押す。
☞ 「子機のとりかた／クイック通話」(P.29)

- ▶ 消去するのをやめるときは : [切] を押す。

電話帳でかける

あらかじめ電話帳に登録した電話番号を、電話帳ボタンと▲▼ボタンで選んで電話をかけます。

親機

- 1 [電話帳] を押す

日本電気
0312345678

- 2 [▲] または [▼] で
電話する相手先を選び
受話器をとる

- ☞ 相手先の名前は、登録された読みカナにより、次の順で表示されます。
1.スペースで始まる 2.数字で始まる
3.50音順 4.アルファベット 5.記号
6.読みカナが登録されていない
▶ 受話器をとってから電話番号を選んだときは：
[スタート/コピー] を押す。

子機

- ① 親機の電話帳に登録した相手先を、子機に転送することができます。☞ 「親機の電話帳から子機に転送する」(P.41)

- 1 [電話帳] を押す

ニッポンデンキ
0312345678

- 2 [▲] または [▼] で
電話する相手先を選び
[通話] を押す

- ☞ 登録された相手先の名前が次の順で表示されます。
1.スペースで始まる名前 2.数字で始まる名前
3.50音順 4.アルファベット 5.記号
6.電話番号だけ登録した相手先 (相手先名未入力)

■ 登録された相手先をすばやく探す方法

ダイヤルボタンに割り振られた50音の行の文字で探します。

〔親機〕読みカナに登録した最初の文字の行のダイヤルボタンを押す。例：「佐藤」→「サトウ」（さ行）→〔3〕（さ）

〔子機〕名前に登録した最初の文字の行のダイヤルボタンを押す。例：「サトウ」（サ行）→〔3〕（サ）

- ・ダイヤルボタンを押すたびに、同じ行の相手先名が順に表示されます。
- ・記号（－＊＆など）で始まる相手先名を探すときは、〔0〕を押します。
- ・ダイヤルボタンを押しても表示が変わらないときは、該当する行の相手先名が登録されていません。

通話中の相手に待ってもらう（保留）

📞 通話中

電話を切らずに相手に待ってもらうことができます。相手先にはメロディ音が流れ、こちらの声は聞こえません。

① 内線通話は保留にできません。

▶ 保留中のメロディ音を変えるには：📖 「保留のメロディを変える」（P.84）

親機

① 保留にすると受話器を戻しても電話は切れません。もう一度受話器をとると通話を再開できます。

1 通話中の相手に待ってもらうときに
〔保留／内線〕を押し、受話器を戻す

① 保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

2 再び相手と通話するには
受話器をとる

▶ 子機で保留にした通話を親機で再開するには：

〔子機〕手順1（📖 本ページ下）で保留にし、子機を充電器に戻すか〔切〕を押したあと、受話器をとる。

子機

① 保留にすると子機を充電器に戻しても電話は切れません。もう一度子機をとり、〔通話〕を押すと通話を再開できます。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで通話を再開できます。📖 「クイック通話をONにする／OFFにする」（P.29）

1 通話中の相手に待ってもらうときに
〔保留 消去〕を押す

① 保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

2 再び相手と通話するには
〔通話〕または〔保留 消去〕を押す

▶ 親機で保留にした通話を子機で再開するには：

〔親機〕手順1（📖 本ページ上）で保留にしたあと、子機をとり〔通話〕を押す。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで再開できる。

受けた電話を転送する（外線転送）

📞 通話中

親機で受けた外線を子機に転送できます。また、子機で受けた外線を親機や他の子機に転送できます。

内線番号は次の順に決まります。子機の内線番号は待受中のディスプレイに表示されます。

内線番号	ディスプレイの表示		SP-NA540	SP-NA540W
	親機	子機		
1	—	—	親機	親機
2	内線2	ナイセン2	付属の子機	付属の子機（1台目）
3	内線3	ナイセン3	増設子機（1台目）	付属の子機（2台目）
4	内線4	ナイセン4	増設子機（2台目）	増設子機（1台目）

増設子機は別売りです。📖 「子機を増設するとき」（P.123）

親機から子機に転送する

1 〔保留／内線〕を押す

保留中♪→内線？

📞 外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

2 ダイヤルボタンで
転送先の内線番号を押す

内線2 を呼出中

📞 子機の内線番号：〔2〕／〔3〕／〔4〕

📞 全ての子機を一斉に呼び出すとき：〔＊〕

📞 手順2で、親機から呼び出されると、
子機には右の画面が表示されます。

ナイセン カ
チャクシンチュウ

3 転送先の相手が出たら
転送することを相手に伝え
受話器を戻す

📞 親機が受話器を戻すと、転送先の子機に外線がつながり、転送先で外線通話ができます。

📞 親機が受話器を戻す前に転送先の子機が〔切〕を押すと転送されず、再び親機で同じ外線と通話できます。

▶ 子機が出ないときは：〔保留／内線〕を押すと外線通話に戻る。

子機から親機に転送する

1 [内線] を押す

ヨビダシサキ?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンの [1] を押す

ナイレ1 ヲ
ヨビダシチュウ

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

親機の内線番号：[1]

手順2で、子機から呼び出されると、**内線2 から着信中**

3 転送先の相手が出たら 転送することを相手に伝え [切] を押す

子機の[切]を押すと、外線が親機につながり、親機で外線通話ができます。

子機が[切]を押す前に親機が受話器を戻すと転送されず、再び子機で同じ外線と通話できます。

▶ **親機が出ないときは：[内線]** を押すと外線通話に戻る。

子機から子機に転送する

1 [内線] を押す

ヨビダシサキ?
1346*

親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで 転送先の内線番号を押す

ナイレ3 ヲ
ヨビダシチュウ

外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

全ての親機／子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。
ナイレ2 カ
チャクシチュウ

3 転送先の相手が出たら 転送することを相手に伝え [切] を押す

転送する側の子機が[切]を押すと、転送先の子機に外線がつながり、転送先で外線通話ができます。

転送する側の子機が[切]を押す前に転送先の子機が[切]を押すと転送されず、再び転送する側の子機で同じ外線と通話できます。

▶ **転送先の子機が出ないときは：[内線]** を押すと外線通話に戻る。

① 一斉に呼び出す内線番号（[*]）は子機が2台以上のときに使えます。

② 使っている親機／子機を切り替えて、通話中に自分のいる場所を移動することができます。

親機から子機へ移動：親機で[保留／内線]を押し、受話器を戻したあと、子機をとって[通話]を押す。

子機から親機へ移動：子機で[保留 消去]を押し、[切]を押したあと、親機を受話器をとる。

親機と子機／子機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機、または2台の子機の間で内線通話ができます。

内線番号については、「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.44）をご覧ください。

① 他の子機や親機を外線で使用しているときや着信しているときは、内線通話はできません。

② 三者の間で内線通話はできません。

親機から子機にかける

1 受話器をとり [保留／内線] を押す

内線番号？

2 ダイヤルボタンで 呼び出す子機の内線番号を押す

内線2 を呼出中

子機の内線番号：[2] / [3] / [4]

全ての子機を一斉に呼び出すとき：[*]

手順2で、親機から呼び出されると、子機には右の画面が表示されます。
ナイレ1 カ
チャクシチュウ

子機から親機にかける

- 1 子機をとり
【内線】を押す

ヨビダシキ?
134

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンの
【1】を押す

ナヘン3 ヲ
ヨビダシチュウ

親機の内線番号：【1】

手順2で、子機から呼び出されると、親機には右の画面が表示されます。

内線2 から着信中

子機から子機にかける

- 1 子機をとり
【内線】を押す

ヨビダシキ?
134

親機および子機の内線番号が表示されます。

- 2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押す

ナヘン3 ヲ
ヨビダシチュウ

子機の内線番号：【2】 / 【3】 / 【4】

親機と全ての子機を一斉に呼び出すとき：【*】

手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。

ナヘン2 か
チャクシンチュウ

- ① 内線通話は保留にできません。
① 親機と子機で内線通話中に外線がかかってくると、内線通話が切れ、外線の呼出ベルが鳴ります。
外線に出るときは：
（親機）受話器を戻し、もう一度受話器をとる。
（子機）【通話】を押す。

- ① 子機と子機で内線通話中に外線がかかってくると、「プププ」という音が鳴り、内線通話は切れません。外線に出る場合は【切】を押して内線通話を切ったあと、【通話】を押します。
① 一斉に呼び出す内線番号（【*】）は子機が2台以上のときに使えます。

通話の内容を録音する（さかのぼり録音）

通話中

さかのぼり録音を設定すると、通話中にさかのぼり録音ボタンを押すだけで外線通話開始からの通話内容を留守番電話の用件として保存することができます。また、電話を切ったあとでも、さかのぼり録音ボタンを押して直前の通話内容を保存することができます。さらに、自動録音モードを設定すると、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存することができます。

録音できる時間／件数：約45分、または最大30件（留守番電話で録音された用件を含めて）

自動録音モードとは、【さかのぼり録音】を押さなくても、かかってきた電話の通話内容を自動的に保存する機能です。

自動録音モードには次の3種類があります。

みんな録音：全てのかかってきた電話の通話内容を保存する

非通知録音：かかってきた非通知の電話（※）の通話内容を保存する

迷惑電話録音：迷惑電話がかかってきたとき、【お断り】を押すと通話内容を保存する

※：着信のとき「非通知」「公衆電話」「表示圏外」と表示される電話

- ① こちらからかけた電話の場合は、通話中または通話終了後に【さかのぼり録音】を押して保存してください。

さかのぼり録音を設定する

親機

- ① 子機では操作できません。

- 1 【メニュー】【4】を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

ご購入時の設定

さかのぼり録音：する

保持時間：0分

自動録音モード：しない

- 2 【▲】または【▼】で
「さかのぼり録音」を選び
【セット】を押す

おやすみタイマ切替
さかのぼり録音

する／しない

- 3 [<] または [>] で
さかのぼり録音の利用「する」または「しない」を選び
【セット】を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は手順7へ進む

4 [<] または [>] で 保持時間を選び [セット] を押す

保持時間
0分
<>で選択

- 保持時間とは、電話を切ったあと、直前の通話の録音を保持する時間です。次の3種類から選べます。
0分 : 録音を保持しない
5分 : 約5分間録音を保持する
無制限 : 電話の着信などの次の動作まで録音を保持する
→「電話を切ったあとにさかのぼり録音をする」(P.48)

自動録音モードの設定を行わない場合は手順7へ進む

5 [<] または [>] で 自動録音モード1の設定を選び [セット] を押す

自動録音モード1
しない
<>で選択

- 自動録音モードの設定をします(自動録音モード1)。
しない : 自動での通話録音をしない
みんな録音 : 全てのかかってきた電話の通話を保存する
非通知録音 : かかってきた非通知の電話の内容を保存する

手順5で「みんな録音」を選んだ場合は手順7へ進む

6 [<] または [>] で 自動録音モード2の設定を選び [セット] を押す

自動録音モード2
しない
<>で選択

- 自動録音モードの設定をします(自動録音モード2)。
しない : **【お断り】**を押しても通話を保存しない
迷惑電話録音 : **【お断り】**を押すと**【さかのぼり録音】**を押さなくても通話を保存する

7 [ストップ] を押す

■ さかのぼり録音ランプについて

親機のさかのぼり録音ボタンの横にあるランプで、さかのぼり録音の状態を確認することができます。

さかのぼり録音



さかのぼり録音ランプ

ランプの表示	状態
点灯	通話を保存することができます。
消灯	通話を保存することができません。(※1)
点滅	通話を録音中です。(※2)

※1 : 次の場合、通話録音は保持されません。

- ・ さかのぼり録音の利用を「しない」に設定している
- ・ 保持時間を「0分」に設定し、電話を切ったとき→「■通話終了後に保持しないように設定する」(P.48)
- ・ メモリがいっぱいになるとき

※2 : 通話中、ランプ点灯時に**【さかのぼり録音】**を押すと、ランプが点滅に変わります。

通話中にさかのぼり録音をする

☎ 通話中

- 親機のさかのぼり録音ランプが点灯しているときは、通話中にさかのぼり録音することができます。
→「■さかのぼり録音ランプについて」(本ページ上)
- 内線通話は録音できません。
- 録音の途中でメモリがいっぱいになると、録音を終了します。録音残量表示が「■」のときは、録音可能時間が残り少なく(約20秒~15分)なっています。不要な用件はこまめに消去してください。
→「■用件を消去するには」(P.34)
また、メモリ代行受信したファクス受信文書がメモリに残っているときは、プリントするか消去してください。
→「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.58)
→「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)
- 次の操作をすると、録音は終了します。それぞれの操作をする前に**【さかのぼり録音】**を押せば、それまでの通話の録音は保存されます。
・ ファクス通信 ・ 通話中再生

- 通話中に停電が発生すると、**【さかのぼり録音】**を押していても、その通話で録音した内容は保存されません。
- 通話中に次の状況になった場合は、録音は一時中断され、その間は録音されません。録音再開後の通話は、別の用件として録音されます。
・ 保留中
・ 外線転送中
・ キャッチホンによる通話先切り替え中
・ キャッチホン・ディスプレイの情報受信
・ ダイヤルボタンやリダイヤル操作によるダイヤル送出中と送出後の約3秒間
・ **【電話帳】**を押して電話帳検索をしたとき
- 残したい部分のみを保存することはできません。
- 通話開始時の会話が録音されていないことがあります。

親機

- 1 通話の内容を残すときは
通話中に「さかのぼり録音」を押す

あと10分録音可能

- さかのぼり録音ランプが点滅します。
- ▶ 通話中に登録操作をしているときは：登録操作を終了したのち「さかのぼり録音」を押す。
- 録音可能時間が3分未満になると、「まもなく録音終了」と表示されます。
- メモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」のメッセージが流れ、「用件／メモリフル」と表示されます。
- ▶ 途中で録音を終了するときは：[ストップ]を押す。
- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

- 2 通話が終わったら電話を切る

通話保存しました

子機

- 1 通話の内容を残すときは
通話中に「メニュー」を押す

◆モデル

- 2 [▲] または [▼] で
「ロクオン」を選び
「メニュー」を押す

◆ロクオン

ロクオンチュウ

- ▶ オンフック中のときは：[オンフック] を押し、オンフックを解除したあとに「メニュー」を押す。
- 録音を開始すると、親機のさかのぼり録音ランプが点滅します。
- メモリがいっぱいなどでさかのぼり録音できない場合は、「ロクオンチュウ」は表示されません。
- ▶ 途中で録音を終了するときは：再度「メニュー」を押し、[▲] または [▼] で「ロクオン シュウリョウ」を選び、「メニュー」を押す。
- 録音中に外線転送、ファクス受信（[内線] [6] を押す）をするときは、録音を終了させてから行ってください。
- 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

- 3 通話が終わったら電話を切る

電話を切ったあとにさかのぼり録音をする

「さかのぼり録音を設定する」（P.46）の手順4で、「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定すると、電話を切ってから直前の通話の録音を保存できます。ご購入時は、「0分」に設定されており、録音を保持しません。

- 親機のさかのぼり録音ランプが点灯しているときは、直前の通話を保存することができます。▶ 「さかのぼり録音ランプについて」（P.47）
- 電話を切ってから次の状況が起こると、その時点で録音は消去されます（「さかのぼり録音」を押しても、直前の通話は保存できません）。
 - 電話をかける。
 - 留守番電話の操作をする。
 - WIFI BANDの設定をする。
 - 電話がかかってくる。
 - おやすみモードタイマ切替時刻になる。
 - 停電した。

親機

- ① 子機では操作できません。

- 1 電話を切ったあと、直前の通話の内容を残すときは
保持時間内に「さかのぼり録音」を押す

- 電話終了後に「さかのぼり録音」を押した場合、さかのぼり録音ランプは消灯します。

電話を切ったあとに直前の通話の録音を消去する

電話を切ったあとに直前の通話の録音を残したくない場合は、録音を保持しない設定にする方法と、録音を消去する方法があります。

■ 通話終了後に保持しないように設定する

「保持時間」を「0分」に設定します。▶ 「さかのぼり録音を設定する」（P.46）

■ 通話終了後に録音を消去する

「保持時間」を「5分」または「無制限」に設定している場合、通話終了後に親機の「消去」を押すと、直前の通話の録音が消去されます。

- 子機では操作できません。
- すでに録音を保存したあとに消去するときは、留守番電話の用件と同じ操作で消去してください。▶ 「録音された用件を聞く／消去する」（P.34）

保存した通話を聞く／消去する

保存した通話は留守番電話の用件と同じ操作で再生できます。また、同じ操作で消去できます。

▶ 「録音された用件を聞く／消去する」（P.34）

- 再生と消去は、親機でも子機でも操作できます。

通話中に留守番電話の用件を再生する

通話中

通話中に留守番電話の用件を相手に聞かせることができます。

親機

① 子機では操作できません。

② さかのぼり録音で録音した用件があると、その用件も再生されます。

1 用件を相手に聞かせるときに
[再生] を押す

0分15秒 1/ 2

待受時の再生と同じ操作で再生速度を変えたり、用件をとばして再生したりできます。

「録音された用件を聞く／消去する」(P.34)

2 再生を終了するときは
[ストップ] を押す

お断りメッセージで応答する（迷惑電話お断り）

通話中

いたずら電話や無言電話など迷惑電話を受けたとき、次のメッセージを流して電話を切ることができます。

「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」

① 次の場合、この機能は使えません。

- ・こちらからかけた電話のとき
- ・通話中にダイヤルボタンや【オンフック／キャッチ】（親機）、【キャッチ】（子機）を押したとき
- ・キャッチホン・ディスプレイを利用して通話中の着信を受けたとき

親機

1 メッセージを流すときに
[お断り] を押し、受話器を戻す

お断り中

① メッセージは3回流れます。

メッセージが流れている間は、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。

通話を再開するには：受話器をとる。とっているときは受話器を戻し、もう一度とる。

子機

1 メッセージを流すときに【メニュー】を押す

↑トドル

① メッセージは3回流れます。

2 【▲】または【▼】で
「オコトワリ」を選び、【メニュー】を押す

↑オコトワリ

メッセージが流れている間は、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。

通話を再開するには：【通話】を押す。

① ナンバー・ディスプレイを利用している場合は右の画面が表示され、メッセージを流した相手先の電話番号が着信拒否リストに登録されます。
「着信拒否リストフル」と表示されたときは、着信拒否リストがいっぱいのため登録されません。

「受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）」(P.71)

着信拒否リストに
登録しました

携帯電話への通話サービスを簡単に使う（ケータイお得ダイヤル）

あらかじめ事業者識別番号を設定しておく、携帯電話の番号をそのままダイヤルするだけで、設定した事業者識別番号をつけて発信されます。固定電話から携帯電話へかけるときの低料金サービスが簡単に利用できます。

対象となる携帯電話の番号：090-、または080-で始まる電話番号

例) 事業者識別番号に「0036」を設定したとき

① 携帯電話の番号の前に184-、186-をつけても、発信できます。

ダイヤル：090-△△△△-□□□□

① PHSの電話番号には対応できません。

発信番号：0036-090-△△△△-□□□□

① 次の方法でダイヤルした場合も、携帯電話の番号は事業者識別番号をつけて発信されます。

- ・電話帳
- ・リダイヤル
- ・コールバック（着信データから）

親機

① 子機では操作できません。

1 【メニュー】[2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：利用しない

2 【▲】または【▼】で
「ケータイお得ダイヤル」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
ケータイお得ダイヤル
保留メロディ

する／しない

3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

識別番号入力



4 ダイヤルボタンで
識別番号を入力し
[セット] を押す

識別番号入力

0036

IP電話解除

する / **しない**

5 [<] または [>] で
IP電話の解除「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7に進む

6 ダイヤルボタンで
IP電話解除番号を入力し
[セット] を押す

解除番号入力

0000

7 [ストップ] を押す

▶ ケータイお得ダイヤルを利用しない場合は：「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

事業者識別番号の例：0036（NTT東日本）
0039（NTT西日本）

❶ 識別番号に携帯電話の番号を入力しないでください。

☞ IP電話をご利用の方はIP電話解除番号も設定してください。

する : 解除する
しない : 解除しない

❶ IP電話解除番号はIP電話の事業者にお問い合わせください。
例：0000

❶ 本機を、構内交換機（PBX）など、発信元の電話番号のほかにダイヤルの先頭に外線発信番号「0」をつける必要がある通信機器に接続した場合は、「ケータイお得ダイヤル」を「しない」に設定してお使いください。「する」に設定すると、正しくダイヤルできない場合があります。

❶ 通話先、通話時間や電話事業者の料金プランによっては、一部の通話料金が安くならないことがあります。事業者識別番号、料金プランなどサービスの詳細は固定電話の事業者にお問い合わせください。

❶ 発信するときに事業者識別番号は表示されません。誤った番号を設定すると正しく発信できないことがあります。

❶ 事業者識別番号を設定すると、電話がつながるまでの時間が長くなることがありますが、故障ではありません。

❶ ひかり電話サービスや直収電話サービス、ケーブルテレビ局が提供するIP電話サービスなどをご利用の場合、ケータイお得ダイヤルがご利用にならない場合があります。その場合は「ケータイお得ダイヤル」を「しない」に設定してお使いください。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

❶ ケータイお得ダイヤルをご利用の場合、携帯電話の番号の前に事業者識別番号やIP電話解除番号をダイヤルしないでください。ケータイお得ダイヤルを設定すると自動的に事業者識別番号やIP電話解除番号がダイヤルされますので、正しく電話がかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。

❶ IP電話をご利用で、「ケータイお得ダイヤル」を「する」に設定してお使いの場合は、「184」「186」をつけてダイヤルするときに「184」「186」のあとにポーズを入力しないでください。ポーズを入力すると正しく電話がかけられない場合があります。

☞ 固定電話から携帯電話へかけるときのお得な料金サービスは、留守電ケータイ転送のときにも適用されます。

ケータイお得ダイヤルを一時的に解除する

携帯事業者の留守番電話サービスや自動車電話、沿岸船舶電話など一部ご利用にならない番号があります。そのような場合は、携帯電話番号の前に解除番号「1111」をダイヤルしてください。

1 携帯電話の番号をダイヤルするとき
電話番号の前に「1111」をつける

例) 事業者識別番号を設定しているときでも、次のように発信されます。

ダイヤル：1111-090-△△△△-□□□□

発信番号：090-△△△△-□□□□

ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整

ベル音／受話音／スピーカ音の各音量を調整できます。

ベル音

① 外線のベル音と内線のベル音は、どちらか一方の音量を調整すると双方とも同じ音量に調整されます。

親機

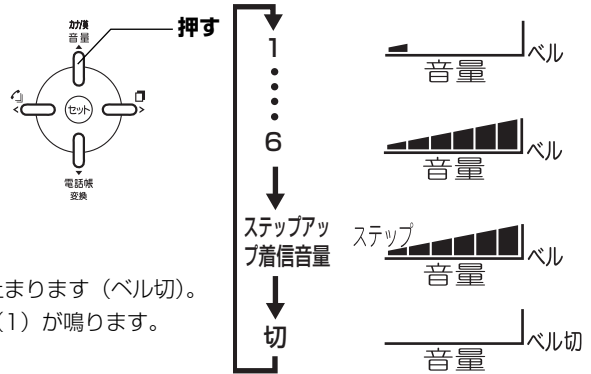
待受中または着信中に音量を調整できます。待受中と着信中では操作方法が異なります。

■ 待受中の調整

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量でベルが鳴ります。続けて【音量】を押すと次のようにベル音が変わります。

- ・【音量】を押すたびに6段階（1～6）で音が大きくなります。
- ・音が最大（6）のとき【音量】を押すと、「ステップアップ着信音量」になります。「ステップアップ着信音量」はだんだん大きくなるベル音です。
- ・ステップアップ着信音量のとき【音量】を押すと、音が止まります（ベル切）。
- ・音が止まっているとき【音量】を押すと、再び小さい音（1）が鳴ります。



▶ベルの音を止めるには：【ストップ】を押す。

■ 着信中の調整

着信中に【音量】を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

「ステップアップ着信音量」に設定されている場合、着信中に【音量】を押すと、押した時点で鳴っていた音より一段階大きい音量に設定されます。

① 着信中に調整するときはステップアップ着信音量に設定できません。最大（6）のとき【音量】を押すと音が止まります（ベル切）。

子機

待受中または着信中に音量を調整できます。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量が表示されます。続けて【音量】を押すたび右の図の順で音量の設定が変わります。

- ・音量は3段階（小／中／大）と「ベル切」です。



■ 着信中の調整

着信中に【音量】を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

また、着信中に調整した場合、設定した音量は画面に表示されません（「ベル切」は表示されます）。

受話音

📞 通話中

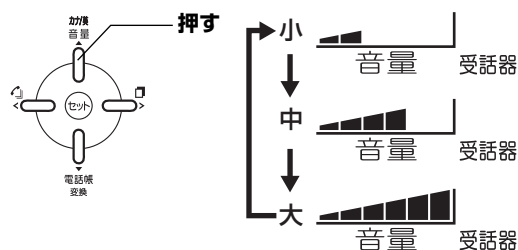
親機

① 受話器をとり、「ツー」という音がしているときに操作します。または、通話中に操作します。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

- ・音量は3段階（小／中／大）です。



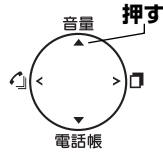
子機

①【通話】を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。または、通話中に操作します。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・音量は4段階（音量1／音量2／音量3／音量4）です。



スピーカ（モニタ音／再生音）

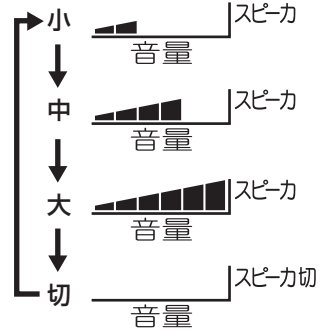
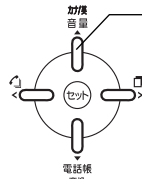
親機

①【オンフック／キャッチ】を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。また、用件などを再生しているときも操作できます。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・音量は3段階（小／中／大）と「切」です。



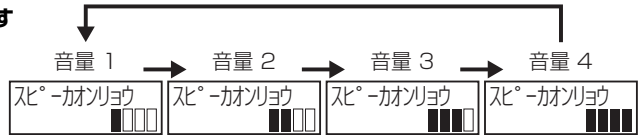
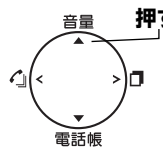
子機

①【オンフック】を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。

音の大きさを調整するには【音量】を押します。

【音量】を押すたび右の図の順で音が変わります。

・音量は4段階（音量1／音量2／音量3／音量4）です。



ダイヤル回線でトーン信号を送る

📞 通話中

ダイヤル回線に接続しているとき、一時的にトーン信号（プッシュ信号）に切り替えて信号を送ることができます。トーン信号は、電話による自動受付サービスなどを利用するときに必要な場合があります。

親機

子機

① この操作は一時的にトーン信号に切り替えるもので、電話を切るともとの信号に戻ります。本機を接続している回線を変更した場合は回線種別を設定をやり直してください。➡「回線種別を設定し直すには」(P.21)

② 親機と子機の操作は同じです。

1 トーン信号が必要なときに
【*】を押す

② その後、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

ファクス

電話をかけて通話中に送る（手動送信）

電話をかけてから、そのまま通話中にファクスを送れます。相手先のファクスが自動受信になっていない場合、電話で受信操作をお願いしてから送ります。

親機

- ① 子機では操作できません。
- ① 相手先から電話がかかってきた場合も、そのまま通話中にファクスを送れます。

1 原稿をセットする

☞ 「原稿セットのしかた」(P.30)

- ① あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。
☞ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(P.54)

2 電話をかけ 相手に受信操作をお願いする

☞ 「電話をかける」(P.28)

☞ 受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がするときは、相手先のファクスが自動受信になっています。そのまま手順3に進みます。

3 [スタート/コピー] を押し 電話を切る

☞ [スタート/コピー] を押したあとに、相手が受信操作をしても送れます。

☞ 電話を切らずにそのまま通話続けることもできます。

▶ 途中で送信をやめるときは：[ストップ] を押す。
原稿が排出されずに残ったときは、もう一度 [ストップ] を押すと排出される。

▶ 通話をしないでファクスを送るときは：☞ 「ファクスを送る（自動送信）」(P.31)

▶ 「不達レポート」がプリントされたとき：☞ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.57)

① 途中で送信をやめたときは、「不達レポート」はプリントされません。

☞ 「不達レポート」をプリントしないように設定することもできます。☞ 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」(P.57)

☞ 「不達レポート」をプリントしないように設定しているときは、通信管理レポートを確認してください。☞ 「リストをプリントする」(P.85)

ボタンを押して受ける（手動受信）

本機はファクスが送られてきたときに自動的に受けられますが、自動的に受ける設定になっていないときや、着信ベルで受話器をとったときなどは、ボタンを押して受けることもできます。

受話器（子機）をとったときの音やメッセージに応じて次のように操作します。

受話器（子機）をとったとき	受信操作	状態
「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが流れる。 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」	親機：受話器を戻す 子機：[切] を押す	「ファクスかんたん受信」が「する」になっています（ファクスかんたん受信☞P.57）。
「ポーポーポー」の音がする。 （メッセージは流れない）		ファクスが送られてきたとき受話器をとると、この音がします。
電話を受けて通話中に「ポーポーポー」の音がしたとき（相手がファクスを送ったとき）	ボタンを押して受ける （下記の操作手順）	通話中に相手がファクスを送ると「ポーポーポー」の音がします。
何も音がしないとき		相手先のファクスの機種によっては、何も音がしないことがあります。

親機

1 受話器から「ポーポーポー」の音がしたとき または何も音がしないとき [スタート/コピー] を押し、受話器を戻す

☞ 電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。

▶ ファクスを受けたあとにも続けて話すには：
通話中にファクスを受けたときは、受話器を戻さなければそのまま話が続けられる。

子機

1 受話口から「ポーポーポー」の音がしたとき または何も音がしないとき [内線] [6] を順に押す

☞ 電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。

① 通話中にファクスを受けたあと、続けて話すことはできません。

原稿の画質や読み取り濃度を変える

ファクスやコピーで原稿を読み取るときの濃度や画質を調整できます。濃度や画質のモードを調整すると、小さい文字や写真の原稿を鮮明に読み取ったり、大きな文字の原稿を短時間で読み取ったりすることができます。原稿の色や濃度に応じて調整してください。

① 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。

- ・ 青色のサインペンやボールペンで書いた原稿（ブルーブラックや紺色に近いものは読み取れます）
- ・ うすい鉛筆や蛍光マーカーで書いた原稿
- ・ 下地が赤色で文字や図が黒色の原稿（モノクロでは赤と黒が判別できません）

親機

① 子機では操作できません。

② 受信したファクスの濃度は調整できません。相手先のファクスの送信濃度を調整してもらってください。

1 原稿をセットし
[メニュー] を押す



2 [▲] または [▼] で
「画質」または「濃度」を選び
[<] または [>] で設定を選んで
[セット] を押す

3 設定を選んだら
そのまま続けてファクスを送ったりコピーをとる

ご購入時の設定:

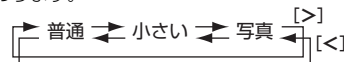
画質: 普通

濃度: ■■■■

☞ 「原稿セットのしかた」(P.30)

☞ [メニュー] を押すと、現在の設定が表示されます。

☞ 画質は、[<] または [>] を押すたびに次の順で変わります。



① 読み取り濃度は、通常は「■■■■ (普通)」に戻しておいてください。

▶ **ファクスを送る:** ☞ 「ファクスを送る (自動送信)」(P.31)

▶ **コピーをとる:** ☞ 「コピーをとる」(P.31)

■ 画質の目安

画質	読み取り時間	原稿の画質 (目安)	注意
普通 ※1	短い ↑ ↓ 長い	文字の大きさが このくらいのとき	※1: 「普通」に設定しても、コピーは「小さい」で読み取られます。 ※2: 色地の原稿を送るときは「普通」または「小さい」に設定してください。「写真」で送ると送信時間が極端に長くなる場合があります。 ※3: 「写真」に設定したとき白い部分にゴマ模様が出るときは、読み取り濃度をうすくしてみてください。 ☞ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(本ページ上)
小さい		文字の大きさが このくらいのとき	
写真 ※2、3		写真があるとき 	

① 黒い部分が多い原稿、色地の原稿、縦の野線のある原稿はファクスの送信時間が長くなる場合があります。

① 画質モードの設定によってモーター音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。

▶ **色のついた原稿や文字がうすい原稿のときは:** ☞ 「原稿の画質や読み取り濃度を変える」(本ページ上)

■ 読み取り濃度の目安

読み取り濃度	表示	原稿の目安
よりうすく読み取る	■□□□□	色の濃い原稿
↑	■■□□□	下地に色がある原稿、新聞など
普通	■■■□□	コピーした原稿、黒のペンで書いた原稿など
↓	■■■■□	鉛筆で書いた原稿など
より濃く読み取る	■■■■■	うすい色の原稿

☞ コピーをとると読み取り濃度を確認することができます。ファクスを送る前に確認することをおすすめします。

自分の名前や電話番号をつけて送る

自分の電話番号を相手先の受信記録に表示させたり、自分の名前や電話番号を相手先の記録紙にプリントさせたりできます。名前や電話番号をつけて送ると、相手先では誰から受けたファクスなのか確認できます。

相手先の受信記録に電話番号を表示する

相手先の受信記録に表示させる電話番号を登録します。

親機

❶ 子機では操作できません。

❷ 登録した電話番号は相手先のディスプレイに表示されたり、通信管理レポートにプリントされたりします。ファクスの内容と一緒に記録紙にプリントされる電話番号ではありません。

❸ 相手先のファクスによっては表示やプリントができないことがあります。

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：未登録

2 [▲] または [▼] で
「自分の電話番号」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

自分の電話番号
|

3 ダイヤルボタンで
自分の電話番号を入力し
[セット] を押す

自分の電話番号
0312341234|

電話番号の桁数：最大20桁

▶ 入力した電話番号を修正するには：
[<] または [>] で修正する文字にカーソルを
移動し、ダイヤルボタンで入力し直す。

4 [ストップ] を押す

❶ ご自宅の電話番号が変わったときは登録し直してください。

▶ 登録した電話番号を変更するには：手順3で [消去] を押し、番号を入力し直す。

▶ 登録した電話番号を消すには：手順3で [消去] を押して電話番号を消してから、[セット] を押す。

相手先の記録紙に印字する発信元を登録する

送ったファクスの内容と一緒に相手先の記録紙にプリントさせる名前や電話番号を登録します。

親機

❶ 子機では操作できません。

❷ 登録した文字はファクスを送ると相手先の記録紙の上端にプリントされます。

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：未登録

2 [▲] または [▼] で
「発信元登録」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

|
>
かな

3 プリントさせる名前や電話番号を入力し
[セット] を押す

日本電気|

❶ 発信元を示す名前や電話番号を入力します。

登録できる文字数：最大40文字

❷ 「文字入力について」(P.134)

4 [ストップ] を押す

❶ 電話番号をプリントさせるには、入力する文字列の中に含めます。「相手先の受信記録に電話番号を表示する」(本ページ上)で登録した電話番号はプリントされません。

▶ 登録した発信元を変更するには：手順3で [消去] を押し、入力し直す。

▶ 登録した発信元を消すには：手順3で [消去] を押して全ての文字を消してから、[セット] を押す。

相手先の記録紙に発信元を印字する

あらかじめ登録した発信元の名前や電話番号を、相手先の記録紙にプリントするかしないかを設定します。

親機

❶ 子機では操作できません。

❷ プリントさせる発信元の名前や電話番号をあらかじめ登録する必要があります。

📄 「相手先の記録紙に印字する発信元を登録する」(P.55)

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：プリントする

2 [▲] または [▼] で
「発信元記録」を選び
[セット] を押す

自分の電話番号
発信元記録
発信元登録

する／しない

3 [<] または [>] でプリント「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

📄 「する」に設定すると、本機に設定した日付や時刻、ページ番号もプリントされます。
📄 「しない」を選択すると、日付や時刻、ページ番号もプリントされません。

4 [ストップ] を押す

📄 システムリストをプリントすると登録内容が確認できます。📄 「リストをプリントする」(P.85)

■ プリント例（相手先の記録紙）

自動的にプリン
トされます。

登録した内容が
プリントされます。

時刻を設定しているときは
日付・時刻がプリントされます。

ページ番号が自動的に
プリントされます。

FROM 日本電気 2007年 8月 21日 12時00分 P. 1

ダイヤルトーンを待って発信する

ファクスを送るときや留守電ケータイ転送をするとき、ダイヤルトーンを検出してから発信するように設定できます。

親機

❶ 子機では操作できません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「ダイヤルトーン検出」を選び
[セット] を押す

受信縮小率
分割記録
ダイヤルトーン検出

する／しない

3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

▶ ダイヤルトーンを待たずに発信するには：手順3で「しない」を選ぶ。

海外へ送るとき

海外へファクスを送るとき通信ミスが少なくなるように設定できます。

親機

❶ 子機では操作できません。

❷ ファクスを受けるときの通信には影響しません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：しない

- 2 [▲] または [▼] で
「海外通信」を選び
[セット] を押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート
する／しない

- 3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 [ストップ] を押す

海外への送信が終了したら、「しない」に戻してください。

送れなかったファクスを確認する（不達レポート）

ファクスが正常に送れなかったとき、不達レポートを出力するかしないかを設定できます。

親機

① 子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：出力する

- 2 [▲] または [▼] で
「不達レポート」を選び
[セット] を押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート
する／しない

- 3 [<] または [>] で
不達レポートの出力「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 4 [ストップ] を押す

■「通信結果」の見かた

表示	不達の原因
話し中	相手先が通話中または通信中
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた
無応答	・ 相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・ 電話回線が正しく接続されていない。または接続コードが断線している
(2桁の数字)	→ 「エラーコード表」(P.86)

■ 不達レポートの例

不達 レポート
2007年 8月20日 14時33分
日本電気

以下の文書が送信できませんでした。

通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
8月20日 14時33分		0312345678	G3	0	話し中

通信結果
話し中

電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する（ファクスかんたん受信）

ファクスを受けたときの着信ベルで受話器をとっても、受話器を戻すだけでファクスを受けられるように設定できます。手動受信の操作をする必要がなくなります。

- ① 電話を受けたときに音質によって本機がファクスの受信動作をする場合があります。ひんぱんに起こる場合は「しない」に設定してください。

親機

① 子機では操作できません。

① ファクスを受けたときに受話器をとると、「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが流れます。
「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」

- 1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：する

2 [セット] を押す

する／しない

3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び [セット] を押す

4 [ストップ] を押す

▶ 手動で受けるときは：手順3で「しない」を選ぶ。

▶ ファクスを手動で受けるには：📠「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.53）

ファクスをプリントできないときいったんメモリに蓄積する（メモリ代行受信）

次のような場合は受信したファクスがメモリに蓄積されます。紙づまりなどにより受信の途中でプリントできなくなったときでも、メモリに蓄積されたファクスを後からプリントできます。

- ・記録紙がない ・プリントされていないファクスやレポートがメモリに残っている ・記録紙がつまっている
- ・インクフィルムがない ・操作パネルが開いている ・サーマルヘッドが過熱している

メモリ代行受信されると、ディスプレイに次のように表示されます。

■ 記録紙がないときの例

×[E]受信文書あり

（交互）

スタート押下

■ 記憶容量

A4（700文字程度）の原稿で約95枚（最大10文書）です。ただし、メモリ代行受信だけでなく、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音などを含む全ての記憶容量となります。

- ① メモリ残量が不足して代行受信できないときは、着信ベルが鳴り続けます。不要な用件を消去してください。📠「録音された用件を全て消去する」（P.60）
- ① 正常にプリントされたページはメモリから消去されます。

メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする

親機

① 子機では操作できません。

1 プリントの妨げとなっている 原因を取り除く

×[E]受信文書あり

（交互）

スタート押下

① 対処のしかた 📠「困ったときは（Q&A）」（P.108）

2 [スタート/コピー] を押す

記録紙を切して
スタート押下

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに 十分な記録紙が入っているか確認し [スタート/コピー] を押す

プリント中

① 記録紙が十分に入っていないときは、記録紙を入れてから [スタート/コピー] を押します。
📠「記録紙のセット」（P.22）

▶ 「記録紙がありません」が表示されたら：複数枚の記録紙を入れ（記録紙カセット：20枚まで、記録紙サポーター：5枚まで）、手順2からやり直す。📠「記録紙のセット」（P.22）

メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する

メモリ代行受信で蓄積されたファクス受信文書を消去します。

親機

① 子機では操作できません。

① 蓄積されたファクス受信文書の最も古い文書が消去されます。2つ以上の文書を一度に消去することはできません。

※ 文書とは、ファクス1件分の文書全部のことです。ファクス1件が10枚分の文書だった場合、その10枚全部が一度に消去されます。

① 消去した文書をもとに戻すことはできません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

2 [▲] または [▼] で
「メモリ文書消去」を選び
[セット] を押す

メモリ文書消去
受信ファクスの扱い
ファクスtoメール転送

消去/中止

3 [<] または [>] で「消去」を選び
[セット] を押す

消去しました

▶ 消去をやめるときは：[中止] を選び、[セット] を押す。

受信したファクスを縮小する/分割する

受信したファクスを縮小してプリントしたり、プリント可能な範囲を超える部分を分割するように設定できます。

縮小率を設定する

親機

- ① 子機では操作できません。
- ① 発信元の記録がついたA4サイズの下稿が送られてくると、A4の記録紙に収まらないことがあります。このようなときに、縮小してプリントするとA4の記録紙1枚に収めることができます。
- ① もとの下稿と比較した正確な縮小率にはならないことがあります。プリントされるサイズは、相手先のファクスの機種や回線の状態に変化します。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：93%

2 [▲] または [▼] で
「受信縮小率」を選び
[セット] を押す

受信縮小率
分割記録
ダイヤルトーン検出

受信縮小率
93%
<>で選択

3 [<] または [>] で
縮小率を選び
[セット] を押す

85% 90% 93% 100%
[>] [<]

4 [ストップ] を押す

分割してプリントする

受信したファクスが記録紙1枚のプリント可能な範囲に収まらない場合、分割してプリントすることができます。

親機

- ① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：する

2 [▲] または [▼] で
「分割記録」を選び
[セット] を押す

受信縮小率
分割記録
ダイヤルトーン検出

する/しない

3 [<] または [>] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- ① 「しない」に設定すると、1枚の記録紙に収まらない部分はプリントされず、消去されます。

4 [ストップ] を押す

留守番電話

録音された用件を全て消去する

まだ一度も再生していない用件も含めて全て消去します。

親機

❶ 子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

2 [セット] を押す

消去/中止

▶ 消去をやめるときは：「中止」を選び、[セット]を押す。

3 [セット] を押す

消去しました

▶ 一度再生された用件だけ消去するには：🔊「録音された用件を聞く/消去する」(P.34)

自作の応答メッセージを使う

留守番電話の応答メッセージにはあらかじめ内蔵された固定のメッセージがありますが、その他に自分で録音したメッセージも使えます。応答メッセージの録音は本機を使って行います。

親機

❶ 子機では操作できません。

録音できるメッセージの数：2種類（録音し直せる）

録音時間：約20秒（1種類のメッセージにつき）

🔊 留守設定されたままでも録音できます。

❶ できるだけ人の声だけのメッセージを録音することをおすすめします。本機の録音方式は人の声に合わせて設定されています。

❶ 次のメッセージが流れたときは、不要な用件を消去してから録音してください。

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」

🔊「録音された用件を聞く/消去する」(P.34)

応答メッセージを録音する

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

2 [▲] または [▼] で
「応答メッセージ録音」を選び
[セット] を押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

応答メッセージ録音
応答メッセージ1
<>で選択

3 [<] または [>] で
「応答メッセージ1」または
「応答メッセージ2」を選び
[セット] を押す

受話器を
上げて下さい

❶ すでに録音されたメッセージがあると上書き消去されます。録音し直す方を選んでください。

4 受話器をとり
[スタート/コピー] を押す

録音開始
スタートを
押して下さい

録音中 20秒
終了はストップボタン

❶ 録音する音声は受話器に向けます。

❶ 20秒以内に録音します。20秒を過ぎると自動的に録音が終了します。

5 録音を終了するときは
[ストップ] を押し
受話器を戻す

受話器を
置いて下さい

応答メッセージ再生中

🔊 終了すると録音したメッセージが再生されます。

❶ 録音中に着信があると中止されます。最初から録音し直してください。

❶ [ストップ] を押さずに受話器を戻すと、受話器を戻す音が録音されてしまいます。

▶ 録音したメッセージを変更するには：最初から録音し直す。

録音した応答メッセージを消去する

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

❗ 本機にあらかじめ内蔵された固定のメッセージは消去できません。

2 [▲] または [▼] で
「応答メッセージ消去」を選び
[セット] を押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

応答メッセージ消去
応答メッセージ1
<>で選択

3 [<] または [>] で
「応答メッセージ1」または
「応答メッセージ2」を選び
[セット] を押す

応答メッセージ消去
応答メッセージ1
消去/中止

☞ 消去したい方を選んでください。

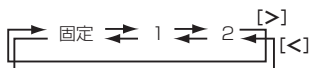
▶ 消去をやめるときは : [<] または [>] で「中止」を選び、[セット] を押す。

4 [セット] を押す

消去しました

応答メッセージを選ぶ

1 留守設定をして
応答メッセージが流れている間に
[<] または [>] で選択する



応答メッセージ固定

❗ 自作のメッセージが録音されていないと選択できません。→ 「応答メッセージを録音する」(P.60)

☞ 留守設定をしたときは、前に使用したメッセージが選択されています。

☞ 留守設定をして応答メッセージが流れている間に操作します。→ 「留守設定をする」(P.32)

外出先から操作する（外線リモート）

外出先から電話をかけて留守番電話に録音された用件を聞くことができます。留守番電話の設定を変えることもできます。

❗ 着信モードの設定が「電話専用」で、留守設定をしていない場合は、外線リモート操作ができません（着信モード→P.80）。

リモート操作を設定する

外出先からリモート操作ができるように設定します。外出先からの電話がご本人であることを確認するためのパスワード（4桁の暗証番号）もあわせて設定します。

親機

❗ 子機では操作できません。

❗ パスワードは4桁の数字を自分で決めます。また、他人に知られないように注意してください。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

ご購入時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「リモート操作」を選び
[セット] を押す

トールセイバ
リモート操作
留守電タイプ転送

する/しない

3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

リモートPW入力

▶ リモート操作を解除する場合は : 「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

4 ダイヤルボタンで
パスワードを入力し
[セット] を押す

リモートPW入力

■234

▶ 入力を間違えたときは : [消去] を押して消し、もう一度入力し直す。

▶ すでに入力されているときは : 変更するには入力し直す。変更しないときはそのまま [セット] を押す。

5 [ストップ] を押す

外出先から留守設定をする

外出先から本機に電話をかけて操作します。トーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

① 着信モードの設定が「電話専用」のとき、外出先からの留守設定はできません。（着信モード P.80）

1 外出先から本機に電話をかける

2 呼出音が変わったら #、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#
ダイヤルの例

3 「パスワードが一致しました。」 「留守設定をしました。」 のメッセージが聞こえたら 電話を切る

① ダイヤルラインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。

① パスワードは「リモート操作を設定する」（ P.61）で決めた4桁の数字です。

▶「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

① パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

外出先から用件の再生／留守設定／留守電ケータイ転送設定を操作する

外出先から本機に電話をかけて操作します。トーン信号（ブッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

① 留守設定されていない場合は先に留守設定をします。 「外出先から留守設定をする」（本ページ上）

① 電話をかけたときに応答メッセージが流れず呼出音が変わったら、留守設定されていません。

1 外出先から本機に電話をかける

2 応答メッセージが流れている間に #、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#
ダイヤルの例

3 「パスワードが一致しました。」 「用件は○件です。」 のメッセージのあとに 用件が再生される

さまざまな操作ができます

■外線リモート操作（下表）

4 操作が終わったら 電話を切る

① ダイヤルラインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。

① 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。

① パスワードは「リモート操作を設定する」（ P.61）で決めた4桁の数字です。

▶「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

① パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

① 用件が再生されたあと、しばらくの間（約1分間）何もしないと電話が切れます。

■外線リモート操作

操作		ダイヤルボタン (外出先の電話機)	詳細
再生	1つ前の用件	#1#（再生中に押す）	1つ前の用件を再生する。 1つ目の用件を再生しているときは最初から再生する。
	再生	#2#	最初から再生する。
	速度を変える	#2#（再生中に押す）	通常→高速→低速→（通常に戻る）の順で変わる。
	次の用件	#3#（再生中に押す）	次の用件を再生する。続けて押すとさらに次の用件を再生する。
消去	再生中の用件（1件）	#8#（再生中に押す）	再生中の用件（1件）が消去される。
	再生済の用件（全件）	#8# （ピピピピの間に押す）	再生を終了したあと、「ピピピピ」の音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件が全て消去される。
留守電ケータイ転送	設定 解除	#61# #62#	「留守電ケータイ転送を設定する」（P.63）
留守設定	設定	#7#	「留守設定をする」（P.32）
	解除	#9#	「留守設定を解除する」（P.33）

ナンバー・ディスプレイを利用している場合は、用件のあとに相手先の電話番号が音声で通知されます。

① 携帯電話やPHSから操作するときは、送話口から雑音が入らないように注意してください。

① 外線リモートで再生するだけでは用件は消去されません。

録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）

呼出音の回数で録音された用件があるかどうか確認できます。録音された用件がないときは通話料金がかかる前に電話を切ることができます。

トールセイバを設定すると電話がつながるまでの呼出音の回数が右に示すように変わります。呼出音が3回鳴ったときは録音された用件がないので、そのとき電話を切ると通話料金がかかりません。

用 件	呼出音
ある	2 回
ない	5 回

親 機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

ご購入時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「トールセイバ」を選び
[セット] を押す

トールセイバ
リモート操作
留守電ケータイ転送

する／しない

3 [<] または [>] で
トールセイバ「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

①すでに再生した用件でも消去されずに残っていると、録音された用件があるものとして動作します。

録音した用件を外出先に転送する（留守電ケータイ転送）

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておくと、留守番電話の用件が録音されたときに自動的に転送先に電話をかけて、用件転送することができます。

転送先に設定できる電話番号：1件

① あらかじめ「リモート操作」を「する」にしておく必要があります。→「リモート操作を設定する」(P.61)

① 転送先にはトーン信号（プッシュ信号）を送れる電話機を指定してください。

① おやすみモードに設定しているときは転送されません。

① 用件が録音されてから転送されるまでに親機の電源が切れた場合は転送されません。

留守電ケータイ転送を設定する

親 機

① 子機では操作できません。

① 転送先に指定した携帯電話やPHSの電源が入っていないときは転送できないことがあります。

① 録音された用件が6秒未満のときは転送されません。

① 転送を試みている途中で新たな用件が録音された場合は、先に録音された用件から転送を試みた回数が手順5で設定した回数になった時点で、転送は中止されます。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

ご購入時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「留守電ケータイ転送」を選び
[セット] を押す

トールセイバ
リモート操作
留守電ケータイ転送

する／しない

3 [<] または [>] で
留守電ケータイ転送「する」を選び
[セット] を押す

転送先番号入力

4 ダイヤルボタンで
転送先の電話番号を入力し
[セット] を押す

転送先番号入力

0312345678

転送回数

10回

5 ダイヤルボタンで
転送回数を入力し、[セット] を押す

6 [ストップ] を押す

留守電ケータイ転送は留守設定がされているときに動作します。
→ 「留守設定をする」(P.32)

▶ 留守電ケータイ転送を解除する場合は：「しない」
を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

電話番号の桁数：最大40桁

▶ 間違えた番号を消す：[消去]

☎ 携帯電話やPHS以外の電話番号も転送先に指定
できます。

設定できる転送回数：01 ～ 10回

❶ 電話がつかならなかったときに指定した回数だけ
くり返し転送を試みます。

転送を試みる時間間隔：

1 ～ 5回までは1分間隔、それ以後は30分間隔で
くり返します。

☎ 留守番電話の用件が録音されると「用件転送待ち」
と表示されます。また、転送中は「用件転送中」
と表示されます。

▶ 転送先の電話番号や転送回数を変更するときは：手順1からやり直す。

転送先で用件を聞く

あらかじめ指定した電話機で受けて操作します。→ 「留守電ケータイ転送を設定する」(P.63)

1 転送先で電話を受ける

2 「用件転送します。パスワードを入れてください」の
メッセージが流れている間に
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#

ダイヤルの例

3 「パスワードが一致しました」
「用件は○件です」のメッセージのあとに
用件が再生される

4 用件を聞き終わったら
電話を切る

❶ 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが
止まります。止まらないときはもう一度「#」か
らダイヤルします。

❷ パスワードは「リモート操作を設定する」(→
P.61) で決めた4桁の数字です。

▶ 「パスワードを入れ直してください」のメッセ
ージが流れたら：もう一度、パスワードを入れ直す
(例：#1234#)。

❸ パスワードを3回間違えると電話が切れます。そ
のときは電話をかけ直してください。

❶ 手順2でメッセージが5回流れる間にパスワードをダイヤルしないと電話が切れます。

❷ パスワードを入力する前に電話を切ると留守電ケータイ転送がくり返されることがあります。

▶ 転送先で再生速度の切り替えや用件の消去／留守電ケータイ転送の設定や解除／留守設定などを行うには：
手順2でパスワードをダイヤルしたあとに外線リモートの操作をする。→ 「■外線リモート操作」(P.62)

着信ベルや動作音を鳴らなくする（おやすみモード）

おやすみモードに設定すると着信ベルやファクス受信時の動作音が鳴らなくなります。就寝時など、電話やファクスの動作音が気になるときに設定してください。

❶ おやすみモードに設定すると

- ・着信ベルが鳴りません。ただし、特定の相手先からの着信だけベルを鳴らすように設定することもできます。
→ 「あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）」(P.69)
- ・留守設定されます。受けた電話には留守番電話が応答します。モニタスピーカから音（相手の声など）は出ません。
- ・ファクスはメモリに受信します。「ビー」という受信音は鳴りません。

❷ メモリ残量が不足していると、留守設定されないことやデータ量の多いファクスを受信できないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してから設定してください。

→ 「録音された用件を聞く／消去する」(P.34)

→ 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.58)

→ 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)

❸ おやすみモードのとき受けた電話やファクスは

- ・受けた電話は留守番電話が録音します。→ 「録音された用件を聞く／消去する」(P.34)

- ・受けたファクスはメモリに蓄積されます。おやすみモードを解除すると記録紙にプリントされます。

おやすみモードを設定する／解除する

親機

① 子機では操作できません。

1 [おやすみ] を押す

- ・ 点灯しているときに押すと、設定されます。
- ・ 点灯しているときに押すと、解除されます。

設定されると: [おやすみ] と [留守] が点灯します。

- ・ 用件が録音されると [留守] が点滅します。
- ・ メモリに受信したファクス受信文書があると [おやすみ] が点滅します。

解除されると: [おやすみ] と [留守] が消灯します。

- ・ 録音された用件があると再生されます。→ 「留守設定を解除する」(P.33)
- ・ メモリに受信したファクス受信文書があるとプリントされます。

■ おやすみモードを設定する前に留守設定をしていたときは

- ・ おやすみモードだけ解除するには: [おやすみ] を押す。
- ・ おやすみモードと同時に留守設定も解除するには: [留守] を押す。

開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える

あらかじめ時間帯（開始時刻／終了時刻）を設定しておくと、自動的におやすみモードに切り替わります。

① 開始時刻と終了時刻をそれぞれ設定します。

- ・ 開始時刻だけ設定した場合は、手動で解除します。
- ・ 終了時刻だけ設定した場合は、手動でおやすみモードに設定したあと、終了時刻になると自動的に解除されます。

② 次の場合は、おやすみモードが自動的に解除されたときに留守設定されます。

- ・ 留守設定してから、おやすみモードを設定したとき。
- ・ 用件が録音されているとき。

③ メモリ残量が不足しているとおやすみモードに切り替わらないことがあります。不要な用件を消去するか、メモリに蓄積されたファクス受信文書を出力または消去してください。

→ 「録音された用件を聞く／消去する」(P.34)

→ 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.58)

→ 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)

④ 停電したときはおやすみモードが解除されます。現在の時刻を設定するまでタイマ切替は機能しません。→ 「回線種別や時刻を設定する」手順2 (P.21)

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [4] を順に押す

全用件消去
応答メッセージ 録音
応答メッセージ 消去

2 [▲] または [▼] で「おやすみタイマ切替」を選び [セット] を押す

おやすみタイマ切替
さかのぼり録音

おやすみ開始タイマ
する / しない

3 [<] または [>] で開始時刻の設定「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順3で「しない」を選んだ場合は、手順5へ進む

4 ダイヤルボタンで開始時刻を入力し [セット] を押す

おやすみ開始時刻
12:05

おやすみ終了タイマ
する / しない

5 [<] または [>] で終了時刻の設定「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順5で「しない」を選んだ場合は、手順7へ進む

6 ダイヤルボタンで終了時刻を入力し [セット] を押す

おやすみ終了時刻
17:00

7 [ストップ] を押す

ご購入時の設定

おやすみ開始タイマ: しない

おやすみ終了タイマ: しない

① 開始時刻（手順4）と終了時刻（手順6）は、24時間制で入力します。

一桁の時刻は十の位に0を入れます。

例: 午後10時5分 → [2] [2] [0] [5]

入力した時刻の訂正方法

1桁訂正: カーソルを合わせ再入力する

全て消去: [消去] を押す

▶ 表示された時刻を変更しないときは: そのまま [セット] を押す。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイは、電話をかけてきた相手先やファクスを送ってきた相手先の電話番号を表示する回線付加サービスです。電話に出る前に相手先を確認したり、相手先の電話番号を利用した便利な機能がご利用になります。

ナンバー・ディスプレイにより本機の便利な機能がご利用になります。

① ナンバー・ディスプレイによる本機の機能をご利用になる場合、次のことに注意してください。

- ・電話帳などに登録する電話番号は市外局番から入力してください。また、「-（ポーズ）」「*」「#」は入力しないでください。
- ・停電しているときはご利用になりません。

便利な機能	詳細	参照先
着信表示	電話をかけたり、ファクスを送ってきた相手先の電話番号が表示されます。	P.67
着信データ	相手先の電話番号が記録されます（親機：20件、子機：20件）。 ・留守設定されているときの着信を記録し、用件再生とともに音声で通知します。 ・着信データに記録された相手先を電話帳または着信拒否リストに登録できます。	P.72 P.74 P.73
コールバック	着信データに記録された電話番号を使って簡単に電話がかけられます。	P.73
着信拒否	あらかじめ登録した相手先からの着信を拒否できます。	P.71
迷惑電話お断り	お断りメッセージで応答した相手先を着信拒否リストに登録できます。	P.49
応答メッセージ選択	相手先に応じて応答メッセージを選べます。自作の応答メッセージが使えます。	P.68
着信鳴り分け プライバシーコール	・相手先に応じてベル音やメロディを選べます。 ・相手先に応じてベル音を鳴らす親機や子機を選べます。	P.68
とくていコール	特定の相手先からの着信だけベルを鳴らせます（おやすみモードのとき）。	P.69
番号リクエスト	番号非通知でかけてきた相手先に番号通知をお願いするメッセージで応答できます。	P.70

ナンバー・ディスプレイをご利用になるにはNTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。

NTT東日本・NTT西日本	電話番号：116（局番なし） 受付時間：午前9:00～午後9:00（年中無休、ただし年末年始12月29日～1月3日を除く）
----------------------	--

① 次の場合は電話番号が表示されません。

- ・国際電話 ・オペレータ扱いの電話（100番・105番） ・公衆電話 ・番号非通知でかけてきた電話 ・圏外からかけてきた電話
- ・電話回線の雑音などで正常にデータを受信できなかったとき

② ナンバー・ディスプレイに加入すると次のサービスがご利用できなくなります。

- ・転送電話（ボイスワープを除く） ・ダイヤルQ2（情報提供側） ・テレドーム（情報提供側） ・ノーリング情報サービス（センター回線）

本機を接続している回線によって次のことにご注意ください。

ランチ接続 （P.19）	ナンバー・ディスプレイをご利用になりません。
構内交換機／ホームテレホン	ナンバー・ディスプレイをご利用にならない場合があります。
ISDN回線	ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をご利用ください。

同時に次の回線付加サービスをご利用になるときはご注意ください。

ダイヤルイン	「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本機はPB 信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。
---------------	---

ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定：する

2 [<] または [>] で
ナンバー・ディスプレイの利用
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

鳴分87プライバシーコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [ストップ] を押す

☞ [ストップ] を押さずに、続けてナンバー・ディスプレイによる便利な機能を設定することもできます。

❶ ナンバー・ディスプレイのサービスへの加入の有無に応じて設定してください。異なる設定をすると電話が受けられないことがあります。
加入している場合：「する」 **加入していない場合：**「しない」
ただし、モデムダイヤルラインに加入している場合は、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず「する」に設定してください。

ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示

着信があると本機のディスプレイに次のように表示されます。電話をかけてきた相手先が電話帳に登録されている場合と、登録されていない場合では表示が異なります。また、通信の状態が表示されることもあります。

電話帳の登録	親機の表示	子機の表示	着信の状態	表示	
				親機	子機
登録されている	日本電気 0312345678	ニッポンデンキ 0312345678	番号非通知でかけてきたとき	非通知	ヒツウチ
登録されていない	0312345678	0312345678	公衆電話からかけてきたとき	公衆電話	コウシュウデンワ
			海外など圏外からかけてきたとき	表示圏外	ヒョウジケンガイ
			電話回線の雑音などで正常に受信できなかったとき	受信エラー	ジュシンエラー

☞ 同じ電話番号に対して親機と子機に登録された相手先名が異なるときは、それぞれの相手先名が表示されます。

ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、相手の電話番号と相手の名前や会社名（発信者名）が、親機の画面に表示されます（子機には電話番号のみ表示されます）。このサービスを利用するためには、ネーム・ディスプレイの契約のほかに、ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。サービスを契約したあと、ナンバー・ディスプレイを「する」に設定すると、ネーム・ディスプレイを利用できます。

- ❶ 電話をかけてきた相手、番号通知、発信者名通知を選択している場合のみ表示します。
- ❷ 表示されている発信者名は、電話をかけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名称です。
- ❸ リダイヤル／着信データの相手先表示欄には、発信者名が表示されます。電話帳に相手の名前が登録されている場合は、その名前が優先して表示されます。
- ❹ 着信データリストをプリントしたときは、相手先名欄に、発信者名がプリントされます。電話帳に相手先の名前が登録されている場合は、その名前が優先されます。☞ 「リストをプリントする」(P.85)
- ❺ 本機で表示できない文字を受信した場合は、「※」を表示します。
- ❻ キャッチホン・ディスプレイを契約されているときは、通話中にかかってきた相手の発信者名が表示されます。

電話帳の登録	電話がかかってきたとき	留守番電話が応答しているとき	留守録着信データを表示しているとき
登録されている（※1）	魚屋さん 0312345678 着信中	魚屋さん 0312345678 留守電応答中	魚屋さん 0312345678 0分15秒 1/ 1
登録されていない	鈴木商店 0312345678 着信中（※2）	鈴木商店 0312345678 留守電応答中（※2）	鈴木商店 0312345678 0分15秒 1/ 1（※2）

※ 1：電話帳に登録されている場合の画面は、下記を例としています。
例）発信者名：鈴木商店 電話帳に登録されている名前：魚屋さん
※ 2：受信した発信者名が9桁以上の場合、相手の電話番号は表示されません。

べんりに使う
ナンバー・ディスプレイ

自分の電話番号を通知する／非通知にする

相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるときに指定できます。これは「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容によっても異なります。詳しくはNTT東日本・NTT西日本のサービス窓口へお問い合わせください。

① 電話番号を通知する相手先にはご注意ください。意図しない相手からの電話勧誘など、思わぬ使われかたをすることがあります。

相手先に電話番号を通知するか非通知にするか	「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
通知する	相手先の電話番号をそのままダイヤルする	[1] [8] [6] のあとに相手先の電話番号をダイヤルする
非通知にする	[1] [8] [4] のあとに相手先の電話番号をダイヤルする	相手先の電話番号をそのままダイヤルする

自作のメッセージで応答する相手先を選択する

留守設定しているとき、自作のメッセージで応答する相手先を選択できます。電話帳に登録されている相手先だけ自作のメッセージで応答するか、全ての相手先に自作のメッセージで応答するかを設定します。

「する」	電話帳に登録された相手先だけ自作のメッセージで応答する。 ・登録されていない相手先には固定のメッセージで応答します。
「しない」	全ての相手先に自作のメッセージで応答する。

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定：選択しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「応答メッセージ選択」を選び
[セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ選択
する／しない

4 [<] または [>] で
応答メッセージの選択「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

☞ 選択した相手先に流す応答メッセージは留守設定をするときに選びます。固定の応答メッセージも選べます。☞ 「応答メッセージを選ぶ」(P.61)

☞ 自作のメッセージを録音していないときは固定のメッセージになります。☞ 「応答メッセージを録音する」(P.60)

受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け／プライベートコール)

電話帳に登録されている相手先によって、ベル音やメロディを変えられます(着信鳴り分け)。また、特定の親機や子機だけベル音を鳴らすように設定できます(プライベートコール)。

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定
着信鳴り分け：指定なし
プライベートコール：すべて

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [セット] を押す

日本電気
0312345678
▲▼で選択

- ☞ 電話帳に相手先が1件も登録されていない場合は、次のメッセージが表示されます。
「電話番号が未登録です」
☞ 「相手先の名前と電話番号を登録する」(P.39)

4 [▲] または [▼] で 相手先を選び [セット] を押す

着信鳴り分け指定
指定なし
<>で選択

- ☞ 着信鳴り分け／プライベートコールを指定する相手先を選びます。

5 [<] または [>] で ベル音の音色またはメロディを選び [セット] を押す

プライベートコール指定
すべて
<>で選択

- ▶ **選べる音色／メロディ**：☞ 「ベルの音色を変える／メロディにする」(P.83)
- ▶ **ベル音を変えないときは**：「指定なし」を選ぶ。

6 [<] または [>] で ベル音を鳴らす親機または子機を選び [セット] を押す

終了／続ける

- ☞ 内線番号を選びます。☞ 「受けた電話を転送する（外線転送）」(P.44)
- ▶ **全ての親機／子機を鳴らすときは**：「すべて」を選ぶ。
- ▶ **続けて他の相手先を登録するには**：「続ける」を選んで「セット」を押し、手順4からくり返す。

7 設定を終了するときは [<] または [>] で「終了」を選び、[セット] を押す

- ▶ **選んだベル音／メロディを聞きたいときは**：手順5で「音量」を押す。音がしているときに音量を調整することもできる。音を止めるには「ストップ」を押す。☞ 「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)
- ① 着信鳴り分けの設定により、ベル音が鳴っていない親機／子機をとっても電話に出られます。
- ① ベル音が鳴らない子機から内線通話の呼び出しはできません。すぐに中断されます。

あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）

おやすみモードに設定しているときに、特定の相手先からの着信だけベル音を鳴らすことができます。

親機

- ① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

カバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定

- とくていコール**：しない
- 電話帳設定**：電話帳すべて
- 公衆・圏外**：なし

2 [<] または [>] で 「する」を選び [セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で 「とくていコール」を選び [セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト
する／しない

4 [<] または [>] で 「する」を選び [セット] を押す

とくていコール
電話帳設定
<>で選択

5 [<] または [>] で 「電話帳設定」または「公衆・圏外設定」を選び [セット] を押す

- ☞ 設定する相手先の種別を選びます。
電話帳に登録された相手先：「電話帳設定」
公衆電話・表示圏外：「公衆・圏外設定」

手順5の選択に応じて次に示す手順に進む
「電話帳設定」→■電話帳設定
「公衆・圏外設定」→■公衆・圏外

■ 電話帳設定

電話帳設定
電話帳すべて
<>で選択

6 [<] または [>] で 「電話帳すべて」または「電話帳個別」を選び [セット] を押す

- ☞ 電話帳に登録された全ての相手先を設定するか、個別に指定するかを選びます。
全ての相手先：「電話帳すべて」
1件ずつ選ぶ：「電話帳個別」

手順6で「電話帳個別」を選んだ場合
手順7に進む

日本電気
0312345678
▲▼で選択

- 7 ▲ または ▼ で
相手先を選び
[セット] を押す

個別とくていコール
する / **しない**

- 8 [<] または [>] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

電話帳個別設定
終了 / **続ける**

- 9 設定を終了するときは
[<] または [>] で「終了」を選び
[セット] を押す

▶ 「電話帳すべて」を設定する場合は：「電話帳すべて」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

☞ とくていコールを設定する相手先を選びます。

☞ 手順7で選んだ相手先からの着信でベル音を鳴らすか鳴らさないかを選びます。
ベルを鳴らす : する
ベルを鳴らさない : しない

▶ 続けて他の相手先を設定するには：
「続ける」を選んで [セット] を押し、手順7からくり返す。

■ 公衆・圏外

公衆・圏外設定
なし
<>で選択

- 6 [<] または [>] で相手先の種別を選び
[セット] を押す

- 7 [ストップ] を押す

☞ どこからの着信でベル音を鳴らすか選びます。
公衆電話からの着信：「公衆電話」
表示圏外からの着信：「圏外」
公衆電話／表示圏外ともに鳴らす
：「公衆電話&圏外」
公衆電話／表示圏外ともに鳴らさない
：「なし」

- ① とくていコールを設定したときのベル音／メロディ

電話帳に登録された相手先：あらかじめ選んだベル音。

☞ 「受けた電話の相手先によってベル音を変える（着信鳴り分け／プライベートコール）」（P.68）

公衆電話／表示圏外：「ベル（標準）」☞ 「ベルの音色を変える／メロディにする」（P.83）

- ① 「トールセイバ」を「する」に設定していると、子機のベル音が一度も鳴らずに留守番電話が応答を始めることがあります（子機の着信ベルは親機より遅れて鳴るため、最初の2回の呼出音が鳴らないことがある）。☞ 「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」（P.63）

「とくていコール」を「する」に設定しても、「着信ベル回数」が「0回（無鳴動受信）」で「トールセイバ」が「しない」に設定されていると、留守番電話が応答し、呼出ベルが鳴りません。

番号通知をお願いするメッセージで応答する（番号リクエスト）

番号非通知でかけてきた相手に番号通知をお願いするメッセージを流し、電話を切ることができます。

- ① 相手先には次のメッセージが流れます。メッセージは変えられません。

「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください。」

親機

① 子機では操作できません。

- 1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する / **しない**

- 2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

- 3 ▲ または ▼ で
「番号リクエスト」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

- 4 [<] または [>] で
番号リクエスト「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

する / **しない**

ご購入時の設定：しない

- ① 「番号リクエスト」を「する」に設定すると
・留守設定されているときも、番号非通知の電話やファクスが受けられません。
・表示圏外からの着信は受けられます。

受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）

あらかじめ着信拒否に登録した相手先からの電話を自動的に切ることができます。このときベル音は鳴りません。また、相手先にはお断りのメッセージを流します。公衆電話や表示圏外からの着信を拒否することもできます。

親機

①子機では操作できません。

着信拒否リストに登録する

電話を受けたくない相手先をあらかじめ着信拒否リストに登録します。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

登録できる件数：最大20件

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「着信拒否リスト設定」を選び
[セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ選択

▶「着信拒否リストフル」が表示されたら：リストから不要な電話番号を消去する。→「登録した相手先を確認する／消去する」（本ページ下）

着信拒否リスト
登録／確認

4 [<] または [>] で
「登録」を選び
[セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)

5 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
[セット] を押す

着信拒否リスト登録
01)
0312345678

▶「登録済みです」が表示されたら：すでに登録済みなので登録の必要はない。

6 [ストップ] を押す

登録した相手先を確認する／消去する

1 「着信拒否リストに登録する」の手順1～3と同じ操作をする

着信拒否リスト
登録／確認

2 [<] または [>] で
「確認」を選び
[セット] を押す

着信拒否リスト
01)
0312345678

※ 着信拒否リストに1件も登録されていない場合は、次のメッセージが表示されます。
「未登録です」

3 [▲] または [▼] で
登録された相手先を選ぶ

4 表示された電話番号を消去するときは
[消去] を押す

▶ 消去せずに終了するには：[ストップ] を押す。

着信拒否を設定する／解除する

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定

着信拒否 : する
公衆電話拒否 : しない
表示圏外拒否 : しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

- 3 [▲] または [▼] で
「着信拒否」を選び
[セット] を押す

着信拒否
着信拒否リスト設定
応答メッセージ選択

する／しない

- 4 [<] または [>] で
着信拒否「する」を選び
[セット] を押す

公衆電話

する／しない

- 5 [<] または [>] で
公衆電話からの着信拒否
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

表示圏外

する／しない

- 6 [<] または [>] で
表示圏外からの着信拒否「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

- 7 [ストップ] を押す

▶ 着信拒否を解除する場合は：「しない」を選び、
[セット] を押してから [ストップ] を押す。

❶「着信拒否」を「する」に設定すると、留守設定されているときも、着信拒否リストに登録した相手先からの電話やファクスが受けられません。

☞ 画面に「着信拒否中」と表示され、相手先には「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」とメッセージが流れます。

❷「着信拒否」と表示している間に親機の受話器をとると、着信拒否中の相手とつながります。

❸「着信拒否」と表示した直後に子機の「通話」を押すと、相手とつながる場合があります。

❹ 応答終了後すぐに電話をかけると、着信拒否した相手とつながる場合があります。少ししてからおかけください。

着信データを見る／消去する

電話を受けた日時と電話番号を本機が着信データに記録します。電話を受けた日時をあとから確認したり、着信データに記録された電話番号に電話をかけたりできます。電話帳に登録されている相手先は、名前を表示することもできます。

親機

記録される件数：最大20件

❶ 20件を超えると古いものから順に消去されます。

❷ 電話やファクスを使用しているときは着信データを見られません。

❸ ネーム・ディスプレイを契約されている場合は、相手の電話番号と発信者名が表示されます。☞「ネーム・ディスプレイご利用時の相手先の表示」(P.67)

- 1 [<] (着信データ) を押す



01) 8/20 17:15
日本電気
0312345678

- 2 [▲] または [▼] で
記録された電話番号を選ぶ

- 3 終了するときは
[ストップ] を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

1. 手順2で電話番号を選んだあと [消去] を押す。

2. 右の画面が表示されたら [<] または [>] で「消去」を選び、[セット] を押す。消去をやめる場合は「中止」を選び、[セット] を押す。

01) 8/20 17:15
日本電気
消去／中止

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
着信した順番(新しい順) 着信した日時 01) 8/20 17:15 日本電気 0312345678 相手先の名前と電話番号が表示されます。	着信した順番(新しい順) 着信した日時 01) 8/20 17:15 0312345678 相手先の電話番号が表示されます。

☞ 着信データが記録されていないときは、次のメッセージが表示されます。
「データはありません」

子機

記録される件数：最大20件

- ① 20件を超えると古いものから順に消去されます。
- ① ナンバー・ディスプレイのサービスに加入していないと着信データは記録されません。
- ① 子機が電波の届かないところにある場合は着信データは記録されません。→「設置する場所の確認」(P.15)

1 [<] (着信データ) を押す



8月20日 17:15
0312345678

2 [▲] または [▼] で
記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは [切] を押す

■ 記録された電話番号を消去するには

- 手順2で電話番号を選んだあと [保留 消去] を押す。
- 「ショウキョ シマスカ?」が表示されたら、[▲] または [▼] で「ハイ」を選び、[保留 消去] を押す。
消去をやめる場合は [切] を押す。

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
8月20日 17:15 ニッポンデンキ ←> 8月20日 17:15 0312345678 ←>	8月20日 17:15 0312345678

☞ 着信データが記録されていないときは、次のメッセージが表示されます。
「チャクシンデータ アリマセン」

着信データを使って電話をかける (コールバック)

着信データに記録された電話番号を選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

親機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

01) 8/20 17:15
日本電気
0312345678

2 受話器をとる

☞ 「着信データを見る／消去する」(親機)手順1～2 (P.72)

▶ ファクスの送信に着信データを使うには：
原稿をセットしてから記録された電話番号を選び、
[スタート/コピー] を押す。

子機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

8月20日 17:15
0312345678

2 [通話] を押す

☞ 「着信データを見る／消去する」(子機)手順1～2 (本ページ上)

着信データを電話帳に登録する (かんたん登録)

親機

① 親機では電話帳と着信拒否リストに登録できます。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

2 [セット] を押す

登録先は？

電話帳／着信拒否

3 [<] または [>] で登録先を選び
[セット] を押す

☞ 「着信データを見る／消去する」(親機)手順1～2 (P.72)

▶ 着信拒否リストに登録する場合：手順1のあと [お断り] を押すだけで登録することもできる。

▶ 電話帳を選んだとき
「電話帳フル」が表示されたら：不要な電話帳を消去する。→「登録した名前と電話番号を消去する」(P.40)

手順3で「着信拒否」を選んだときは手順8に進む

4 相手先の名前を入力し
[セット] を押す

日本電気

読みカナ?
ニッポ ンデ ン

5 読みカナを確認し
[セット] を押す

メールアドレス?

6 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

n e c @ x y z

PC / 携帯

7 [<] または [>] で
入力したメールアドレスがパソコン/
携帯電話のどちらのアドレスかを選び
[セット] を押す

登録しました

8 [ストップ] を押す

子機

- ❶ 子機では着信拒否リストには登録できません。
- ❷ 子機にメールアドレスは登録できません。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

2 [メニュー] を押す

ナマイ?
ナマイ? / コリ100ケン

3 相手先の名前を入力し
[メニュー] を押す

ナマイ?
ニッポ ンデ ン

4 [メニュー] を押す

▶ 着信拒否リストを選んだとき

「着信拒否リストフル」が表示されたら：着信拒否リストから不要な電話番号を消去する。→「登録した相手先を確認する／消去する」(P.71)

「着信拒否リストに登録済みです」が表示されたら：着信拒否リストにはすでに登録済みなので、登録の必要がない。

- ❶ 着信拒否リストには相手先の名前を登録しません。

→「文字入力について」(P.134)

→「文字入力について」(P.134)

▶ メールアドレスを登録しないときは：そのまま [セット] を押す。

- ❶ メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

→「着信データを見る／消去する」(子機)手順1～2 (P.73)

▶ 「デンワチョウ フル」が表示されたら：

→「登録した名前と電話番号を消去する」(P.43)

→「文字入力について」(P.136)

留守中に受けた電話を確認する

留守設定しているときに受けた電話は、着信データとは別に「留守録着信データ」にも記録されます。留守録着信データは留守番電話に録音された用件を再生するときに表示されます。

留守録着信データは次のように表示されます。

	電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
親機	日本電気 0312345678 相手先の名前と電話番号が表示されます。	0312345678 相手先の電話番号が表示されます。
子機	ディスプレイの表示はありません。音声で再生されます。 ・ 用件を再生したあとに留守録着信データを再生します。 ・ 用件が録音されていないときはビジートーン（話中音）のあとに再生されます。番号通知がないときは、その理由が音声で通知されます。	
外線リモート	音声で再生されます。→「外出先から操作する（外線リモート）」(P.61)	

❶ 留守録着信データは

- ・ 留守番電話で録音された用件が消去されると同時に消去されます。
- ・ 電話帳や着信拒否リストには登録できません。コールバックには使えません。

キャッチホン

通話中に別の相手先からかかってきた電話に出ることができます。

通話中に別の電話を受ける（キャッチホン）

 通話中

- ① キャッチホンをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。
- ① ファクスの送信／受信のときにキャッチホンが入るとファクスの画像が乱れたり、中断することがあります。
- ① キャッチホンの着信がないときは**「オンフック／キャッチ」**（親機）、**「キャッチ」**（子機）を押さないでください。押すと電話が切れます。
- ① オンフックで通話中（親機）はキャッチホンを受けられません。**「オンフック／キャッチ」**を押すと、先につながっていた相手先との通話が切れてしまいます。受話器をとってから押してください。

親機

- 1 「ブルルー・ブップ」 と鳴ったら
「オンフック／キャッチ」を押す
- 2 あとから電話をかけてきた相手と話す
- 3 先の相手先と再び話すには
「オンフック／キャッチ」を押す

- ① オンフックで通話中は、受話器をとってから**「オンフック／キャッチ」**を押します。
- ☞ 「ブルルー・ブップ」はキャッチホンの着信音です。
- ☞ 先に話していた相手との通話は保留にされます。
- ☞ **「オンフック／キャッチ」**を押すたびに先の相手とあとの相手を切り替えて話せます。

子機

- ① 親機の操作と同じです。キャッチホンを受けるときは**「キャッチ」**を押します。

▶ キャッチホンの相手先がファクスのときは：

- 先に話していた相手に電話を切ってもらい、手動受信する。☞ 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.53）
- ・ ファクスかんたん受信では受けられません（ファクスかんたん受信☞ P.57）。
- ・ 手動受信をしないと相手先では通信エラーになります。
- ・ ファクスの受信中は先の相手との通話に切り替えることができません。

キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する

キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、キャッチホンを受けたときに相手先の電話番号が表示できます。

- ① キャッチホン・ディスプレイをご利用になるにはNTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。
お問い合わせ先：ナンバー・ディスプレイと同じです。☞ 「ナンバー・ディスプレイ」（P.66）

本機を接続している回線によって次のことに注意してください。

NTT東日本・NTT西日本以外の 直収電話	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ISDN回線	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれません。

他の回線付加サービスについて次のことに注意してください。

ナンバー・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイにも加入が必要です。
ダイヤルインサービス	ダイヤルインをご利用になる場合は「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本機はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定：しない

2 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

3 [▲] または [▼] で
「キャッチホン」を選び
[セット] を押す

キャッチホン
ダイヤルイン
する／しない

4 [<] または [>] で
「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

5 [ストップ] を押す

キャッチホン・ディスプレイの表示

下記の他はナンバー・ディスプレイの表示と同じです。→「ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示」(P.67)

キャッチホンの相手先	表示（親機／子機）
着信拒否を設定している相手先	「着信拒否」を「する」に設定していても、相手先の番号、「公衆電話／コウシュウデンワ」「表示圏外／ヒョウジケンガイ」がそれぞれ表示される（着信拒否➡P.71）。
公衆電話	
海外など表示圏外	
非通知の相手先	「番号リクエスト」を「する」に設定していても、「非通知／ヒツウチ」が表示される（番号リクエスト➡P.70）。
プライベートコールに設定している相手先	
相手先の電話番号が表示される（プライベートコール➡P.68）。	
・ キャッチホンが入ると約30秒間表示して、その後は通話時間の表示に戻ります。 ・ キャッチホンをとったときはその時点で通話時間の表示に戻ります。とる前に相手が電話を切っても約30秒間は表示されます。	

- ① キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、電話番号情報を転送するため次のようなことが起こります。
 - ・キャッチホンの着信音(ブルル・ブツツ)のあと、「ピポ」という音がして通話が約1秒間途切れます。
 - ・子機で通話中の場合は、「ザッ」というノイズが聞こえます。
- ① キャッチホンで受けた電話は着信データに記録されます。
 - ・親機で通話中にキャッチホンが入ると親機だけに記録されます。
 - ・子機で通話中にキャッチホンが入ると、通話中の子機と親機の両方に記録されます。通話していない子機には記録されません。
- ① 次の場合、キャッチホンが着信しても相手先の電話番号が表示されることがあります。
 - ・保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信、登録・設定操作中、通話再生中、外線転送中
 - ・大声で通話したとき、周囲の雑音が大きいとき
 - ・NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき
- ① ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことがわかりませんが、キャッチホン・ディスプレイおよび本機の異常ではありません。
- ① キャッチホン・ディスプレイで受けた電話は、着信拒否、番号リクエストを設定していても、相手にメッセージを流して自動的に切ることはできません。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルインをご利用になると、1本の電話回線で2つ以上の電話番号が使えます。電話とファクスで異なる番号を使い分けたり、親機と子機で異なる番号を使い分けたりすることができます。

モデムダイヤルインをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。

お問い合わせ先	NTT東日本・NTT西日本 電話番号：116（局番無し） 受付時間：午前9:00～午後9:00（年中無休、ただし年末年始12月29日～1月3日を除く）
申し込み内容	ダイヤルインの種類：「モデムダイヤルイン」 電話番号（送出番号）：下4桁を指定 ・指定しないと現在使用している電話番号が変わることがあります。
確認事項	ダイヤルインサービスの利用開始日

- ❶ 「モデムダイヤルイン」（モデム信号方式）を指定してください。本機はPB信号方式のダイヤルインには対応しておりません。
- ❷ モデムダイヤルインは、NTTの他の回線付加サービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本・NTT西日本にお問い合わせください。
- ❸ 電話番号は複数になりますが、同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- ❹ 停電中は電話／ファクスともにご利用になれません。

本機を接続している回線によって次のことにご注意ください。

NTT東日本またはNTT西日本以外の直収電話	ダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ブランド接続（P.19）	モデムダイヤルインをご利用になれません。
ISDN回線	ターミナルアダプタ（TA）の機種によってはご利用になれないことがあります。

ダイヤルインを設定する／解除する

親機

- ❶ 子機では操作できません。
- ❷ ダイヤルインサービスが開始されてから設定してください。開始前に設定すると、電話がつながらなくなることがあります。

1 [メニュー] [5] を順に押す

ナンバー・ディスプレイ
する／しない

ご購入時の設定：利用しない

2 [<] または [>] で 「する」を選び [セット] を押す

鳴分&プライベートコール
とくていコール
番号リクエスト

- ❶ ダイヤルインを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず、「する」にします。

3 [▲] または [▼] で 「ダイヤルイン」を選び [セット] を押す

キャッチホン
ダイヤルイン
する／しない

4 [<] または [>] で ダイヤルインの利用「する」を選び [セット] を押す

ファクス専用
する／しない

- ▶ **ダイヤルインを解除する場合は**：「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

5 [<] または [>] で ファクス用の番号の登録「する」または「しない」を選び [セット] を押す

手順5で「しない」を選んだときは手順7に進む

6 ダイヤルボタンで ファクス用番号を入力し [セット] を押す

ファクス番号入力
111

- ❶ ファクス用番号の下4桁を入力します。
- ❷ ファクス用番号と同じ番号を、親機用番号、子機用番号に登録することはできません。

- 7 ダイヤルボタンで
親機用番号を入力し
【セット】を押す

内線番号入力
内線1 = 222
共通鳴動
する / しない

- ☞ 「内線1」は親機を示します。
❶ 下4桁を入力します。

- 8 [<] または [>] で
共通鳴動「する」または「しない」を選び
【セット】を押す

- ☞ 親機の電話番号に電話がかかったとき
する（共通鳴動する） : 子機のベルも鳴らす
しない（共通鳴動しない） : 子機のベルは鳴らさない

- 9 ダイヤルボタンで
子機用番号を入力し
【セット】を押す

内線番号入力
内線2 = 333

- ❷ 子機の内線番号に応じて割り当てる電話番号（下4桁）を入力します。
☞ 子機の内線番号 → 「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.44）

子機が複数台あるときは手順9をくり返す

- 10 【ストップ】を押す

- ▶ 電話番号を変更するには：同じ手順で最初から設定をやり直す。
▶ ダイヤルインの利用を解除するには：手順4で「しない」を選ぶ。また、「ナンバー・ディスプレイ」を「しない」にするとダイヤルインも解除される。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルインの追加番号により、電話用番号とファクス用番号に使い分けことができます。

	電話がかかってくると	ファクスが送られてくると
電話用番号	ベルが鳴り、電話／ファクスが自動的に切り替えられます。切り替えをしないときは着信モードを「電話専用」にします（着信モード → P.80）。	ベルが鳴り、受話器をとると「ポーポーポー」の音がします。無音のこともあります。 ファクスを手動受信できます（手動受信 → P.53）。
ファクス用番号	ベルは鳴らず、電話には出られません。	ベルは鳴らず、自動的にファクスを受信します。

	留守設定をしているときは
電話用番号	通常の留守番電話と同じ動作をします。・電話の用件は録音されます。・ファクスは自動的に受信します。
ファクス用番号	・電話の用件は録音されません。・ファクスは自動的に受信します。
子機用番号	子機のベルが鳴ります。・電話の用件は録音されます。・ファクスは自動的に受信します。

プライベートコールの設定が「すべて」ではないときは（プライベートコール → P.68）

ダイヤルインで割り当てた番号にかかわらず、プライベートコールで指定した親機／子機のベルが鳴ります。

ダイヤルインの利用例

■ こう使いたいとき

利用例 A	利用例 B
・ 電話用番号とファクス用番号を使い分けたい。 ・ 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい。	・ 3 つの電話番号（親機と子機 2 台）を使いたい。 ・ ファクス用の番号は使わない。

■ こう契約／設定すると

ダイヤルインの契約（NTT 東日本・NTT 西日本）

契約内容	利用例 A	利用例 B
契約者回線番号	× × × - aaaa (電話用)	× × × - cccc (親機用)
ダイヤルイン追加番号	× × × - bbbb (ファクス用)	× × × - dddd (付属子機用) × × × - eeee (増設子機用)

本機の設定

必要な登録設定 ☞ 「ダイヤルインを設定する／解除する」(P.77)	利用例 A	利用例 B
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	—
内線 1（親機）	aaaa	cccc
共通鳴動	○※	×
内線 2（子機 1）	aaaa	dddd
内線 3（子機 2）	—	eeee

※：親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

■ このように動作します

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aに電話	× × × - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aにファクス	× × × - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bの親機に電話	× × × - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bの付属子機に電話	× × × - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bの増設子機に電話	× × × - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bにファクス	× × × - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

❶ 利用例 A のファクス用番号に電話しても着信ベルは鳴りません。電話に出られません。

❷ ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

さらに使いやすくする

電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）

着信ベルが鳴ったあとの動作を選べます。本機は電話やファクスを受けると指定された回数の着信ベルを鳴らしたあと、着信モードの設定に応じて電話の呼出ベルを鳴らしたり、ファクスを自動受信したりします。→「ベルが鳴る回数を変える」(P.83)

着信モード	本機の利用目的／着信ベルのあとの動作
電話／ファクス切替	電話もファクスもどちらも受けるときに設定します。 ・電話の場合は呼出ベルが鳴ります。・ファクスの場合は自動的に受信します。
ファクス専用	本機の番号で受けるのがファクスに決まっているときに設定します。 ・ファクスの場合は自動受信します。 ・電話の場合は着信ベルが鳴っている間に受話器や子機をとれば受けられます。
電話専用	ファクスを自動的に受信したくないとき設定します。 ・電話の場合は受話器や子機をとると話せます。電話に出なければ相手先に通話料はかかりません。 ・ファクスを受信する場合は、電話に出てから手動受信します。→「ボタンを押して受ける(手動受信)」(P.53) ただし、留守設定中は自動的にファクスを受信します。

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：電話／ファクス切替

2 [▲] または [▼] で
「着信モード」を選び
[セット] を押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

電話／ファクス切替
<>で選択

3 [<] または [>] で着信モードを選び
[セット] を押す

☞ 着信モードは、上記の表を参考に選んでください。

4 [ストップ] を押す

- ① 「電話専用」に設定し、トールセイバを「しない」に設定している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたらきます（トールセイバ→P.63）。
- ① 「ファクス専用」に設定し、着信ベルを0回に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話を受けられません（着信ベルの回数を変える→P.83）。
- ① 留守設定中は、「ファクス専用」に設定をしても留守設定が優先されます（留守設定をする→P.32）。

WIFI BAND（ワイファイ バンド）を変更する

無線LAN機器との電波干渉が考えられるときは、WIFI BANDの設定を変更してみてください。
本設定は、コードレス電話機の使用チャンネル帯域を設定します。なお、ご使用の環境により効果が異なることがあります。

親機

- ① 子機では操作できません。
- ① 外線通話中および親機と子機での内線通話中は変更できません。
- ① 子機と子機での内線通話中（子機が2台以上のとき）は操作が可能ですが、操作後、再起動するときに内線通話が切れます。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：設定 2

2 [▲] または [▼] で
「WIFI BAND」を選び
[セット] を押す

電話帳転送
WIFI BAND

WIFI BAND
設定 2
<>で選択

3 [<] または [>] で設定を選び
[セット] を押す

再起動します

☞ 次の4種類から選べます。

- 設定 1
- 設定 2
- 設定 3
- 設定 4

設定を変更すると、本機は自動的に再起動します。

ディスプレイの表示濃度を変える

ディスプレイに表示される文字の濃度を調整できます。

親機

①子機では操作できません。

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：■■■■□□

2 [▲] または [▼] で
「表示濃度」を選び
[セット] を押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

表示濃度
■■■■□□
<>で選択

3 [<] または [>] で表示濃度を調整し
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

5段階で調整できます。

うすい ■□□□□
↑ ■■■□□
普通 ■■■■□
↓ ■■■■■
濃い ■■■■■

ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）

ボタンを押したときの「ピッ」という音がキータッチトーンです。この音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

親機

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：する

2 [▲] または [▼] で
「キータッチトーン」を選び
[セット] を押す

キータッチトーン
チャイルドロック
Webログイン設定

する／しない

3 [<] または [>] で
キータッチトーンの設定「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

子機

①「タッチトーンOFF」（鳴らさない）にすると、エラーや設定終了の通知音も鳴らなくなります。

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆デジリョウトウロク

ご購入時の設定：ON

▶【通話】が点灯しているときは：
[切]を押してから[メニュー]を押す。

2 [▲] または [▼] で
「タッチトーン」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆タッチトーン

タッチトーン
◆ON

3 [▲] または [▼] で
「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

鳴らす／鳴らさないを選びます。

ON : 鳴らす
OFF : 鳴らさない

ボタン操作を受け付けなくする／解除する（チャイルドロック）

ボタンを押しても受け付けないように設定できます。お子様のいたずらや間違えて押したときの動作を防止できます。

親機

1 [メニュー] [1] を順に押す

日付・時刻
回線種別
表示濃度

ご購入時の設定：しない

2 [▲] または [▼] で
「チャイルドロック」を選び
[セット] を押す

キータッチトーン
チャイルドロック
Webログイン設定
する／しない

3 [<] または [>] で「する」または「しない」を選び
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

5 しばらく（約90秒）何も操作しないと
バックライトが消灯し
ロックされる

* チャイルドロック中 *

- ① バックライトが点灯している間は操作がロックされません。
- ② ロックされているときボタンを操作すると次のメッセージが表示されます。
「チャイルドロック中
解除 #を2秒押す」
- ③ チャイルドロック中でも、「メモリ受信文書あり」などのメッセージが優先して表示されます。

子機

1 [メニュー] を押す

メニュー
◆デフォルトアウトロク

ご購入時の設定：OFF

2 [▲] または [▼] で
「チャイルドロック」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
◆チャイルドロック
チャイルドロック
◆OFF

3 [▲] または [▼] で「ON」または「OFF」を選び
[メニュー] を押す

4 しばらく（約100秒）何も操作しないと
ロックされる

チャイルドロックチュウ

- ② ロックされているときボタンを操作すると次のメッセージが表示されます。
「チャイルドロックチュウ
カイジョ #ナガオン」

チャイルドロックを一時的に解除する

ボタンを押すだけで一時的に解除できます。機能メニューから設定し直さなくても電話やファクスをご利用になれます。ご利用のあとは、しばらく（親機：約90秒、子機：約100秒）何も操作しないと再びロックされます。

親機

子機

① 親機と子機の操作は同じです。

1 [#] を長く押す（2秒以上）

＜親機＞
チャイルドロックを
一時解除しました
＜子機＞
チャイルドロック
イジ カイジョ

- ① 次のときはチャイルドロックが一時的に解除されます。
 - ・外線を着信したとき
 - ・親機または子機を使用しているとき
 - ・操作パネルを閉めたとき（操作パネルを開くと「*チャイルドロック中*」が表示されません）

ベルの音色を変える／メロディにする

ベル音の音色を変えられます。また、ベル音の代わりにメロディにできます。

親機

① 子機では操作できません。親機のベル音を変えると子機のベル音も変わります。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：ベル（標準）

2 [セット] を押す

ベル音・メロディ
ベル(標準)
<>で選択

3 [<] または [>] で
ベルの音色やメロディを選び
[セット] を押す

次の5種類から選べます。
ベル（標準）：通常の音色
ベル（鳴り分け）：「標準」とは異なる音色
メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
メロディ（B）：春
メロディ（C）：トルコ行進曲

4 [ストップ] を押す

① 着信鳴り分けを設定している場合は、着信鳴り分けの設定で選んだ音色／メロディになります（着信鳴り分け→P.68）。

▶ 選んだベル音／メロディを聞きたいときは：手順3で[音量]を押す。音が鳴っているときに音量を調整することもできる。音を止めるには[ストップ]を押す。→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)

ベルが鳴る回数を変える

着信ベルや呼出ベルの回数を変えられます。着信があってから回線が接続されるまでに鳴るベルを「着信ベル」と言います。設定した回数の着信ベルが鳴り終わると回線が接続され、「呼出ベル」に変わります。この時点で、相手先に通話料金がかかります。また、本機のベルの音は変わりませんが、相手先に聞こえる呼出音は、呼出ベルに変わると高い音になります。

親機

① 子機では操作できません。

① 着信モードを「電話専用」に設定している場合、着信ベルの回数を変更できません（着信モード→P.80）。

着信ベルの回数を変える

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：6回

2 [▲] または [▼] で
「着信ベル回数」を選び
[セット] を押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

6回

3 ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
[セット] を押す

設定できる回数：00～19回

① 一桁のときは頭に0をつけます（例：4→04）。

▶ 訂正するときは：[消去]を押す。

4 [ストップ] を押す

① 着信ベルを8回以上に設定するとファクスを受けられないことがあります。ただし、通話中に送信されたファクスは受けられます。

① 着信ベルの回数はトルセイバの設定によっても変わります（トルセイバ→P.63）。

① 子機で鳴る着信ベルは親機よりも遅れて鳴り始めるので、指定した回数よりも少なくなります。

▶ ベルを鳴らさずファクスを受けるには：手順3で「00」を入力する。

着信モード	着信ベルを「00」にしたときの本機の動作／対応のしかた
電話／ファクス切替	相手先が電話のときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先が電話をかけてからファクスを送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（手動受信→P.53）。
ファクス専用	着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。

呼出ベルの回数を変える

❶ 着信モードを「電話専用」または「ファクス専用」に設定している場合は、呼出ベルの回数を変更できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：10回

2 [▲] または [▼] で
「呼出ベル回数」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
ケータイお得ダイヤル
保留メロディ
10回

3 ダイヤルボタンでベルの回数を入力し
[セット] を押す

設定できる回数：01～19回

❶ 一桁のときは頭に0をつけます（例：8→08）。

▶ 訂正するときは：[消去] を押す。

4 [ストップ] を押す

保留のメロディを変える

通話を保留にしたときに相手先に流すメロディを選べます。

親機

❶ 子機では操作できません。

1 [メニュー] [2] を順に押す

ベル音・メロディ
着信モード
着信ベル回数

ご購入時の設定：聖者の行進

2 [▲] または [▼] で
「保留メロディ」を選び
[セット] を押す

呼出ベル回数
ケータイお得ダイヤル
保留メロディ
保留メロディ
聖者の行進
<>で選択

3 [<] または [>] でメロディを選び
[セット] を押す

次の2種類から選べます。
「聖者の行進」、「茶色の小瓶」

4 [ストップ] を押す

▶ 選んだメロディを聞きたいときは：手順3で[音量]を押す。音が鳴っているときにスピーカから流れる音量を調整できる。音を止めるには[ストップ]を押す。🔊「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」(P.51)

❶ 相手先に流れる音量は調整できません。

リストをプリントする

電話帳に登録した内容、着信データ、設定の状態、ファクスの送信／受信の履歴をプリントできます。

親機

① 子機では操作できません。

1 [メニュー] [6] を順に押す

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

▶ プリントを途中で止めるには：[ストップ]を押す。

2 [▲] または [▼] で
プリントしたいリストを選び
[セット] を押す

次の5種類から選べます。
電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト
通信管理レポート
メールアドレスリスト

■ 「記録紙ありません」が表示されたら

1 しばらく（約5秒）するとディスプレイに
右のように表示される

レポートあり
(交互)

スタート押下

2 [スタート/コピー] を押す

記録紙をセットして
スタート押下

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに
記録紙をセットし
[スタート/コピー] を押す

レポート出力中

📖 「記録紙のセット」(P.22)

■ リストの種類

リスト名	項目	補足
電話番号リスト	・ 相手先名 ・ 電話番号 ・ 着信鳴り分けの設定 ・ プライベートコールの設定 ・ とくていコールの設定 📞 50 件 / 1 ページ	相手先名は、登録された読みカナにより、次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる 2. 数字で始まる 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 子機の電話帳の内容はプリントされません。 登録内容がないときはディスプレイに「電話番号が未登録です」が表示されます。
着信データリスト	・ 着信日時 ・ 着信データ（電話番号） ・ 相手先名	子機に記録された着信データはプリントされません。 ナンバー・ディスプレイをご利用にならないと、着信データは記録されません。着信データがないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。
システムリスト	・ 設定項目 ・ 設定内容	—
通信管理レポート	・ 通信開始日時 ・ 通信時間 ・ 相手先 ・ モード ・ 送信枚数 ・ 受信枚数 ・ 通信結果 📞 最新の 20 件まで	ファクスの通信結果の詳細📖 「■通信管理レポート（通信結果）の詳細」(P.86) 通信データがないときはディスプレイに「データはありません」が表示されます。
メールアドレスリスト	・ 相手先名 ・ メールアドレス ・ アドレス属性	相手先名は、登録された読みカナにより、次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる 2. 数字で始まる 3. 50 音順 4. アルファベット 5. 記号 6. 読みカナが登録されていない 登録内容がないときはディスプレイに「メールアドレスが未登録です」と表示されます。

■ 通信管理レポート（通信結果）の詳細

表示	意味	表示	意味
話し中	相手先が話し中	(2桁の数字)	→「エラーコード表」(本ページ下)
呼び出し	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた	O.K.	正常に送信／受信された
無応答	・ 相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・ 回線が正しく接続されていない。または電話回線ケーブルが断線している	中断	通信中に中断操作をした
		消去	メモリ代行受信したファクス受信文書を消去した →「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)

エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	受信中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.22
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.107
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。	P.34、58、60
46	原稿がつまりました。セットし直してください。	P.30、107
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	P.108
71	・ 相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。 ・ 相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。	— P.68
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	—
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの記録紙がなくなった、相手先のメモリがいっぱいになった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	—
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	P.117

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。もう一度送信／受信してみてください。

ダブルアクセスを設定する

子機での通話中に、声の途切れや雑音が入るときは、設定を変更してみてください。

子機

- ❶ 親機では操作できません。
- ❷ 通話中は操作できません。
- ❸ 子機が複数あるときは、それぞれの子機で設定してください。

1 [メニュー] を押す

メニュー
↓デノンチョウトウロク

2 [▲] または [▼] で「ダブルアクセス」を選び [メニュー] を押す

メニュー
↓ダブルアクセス

ダブルアクセス
↓AUTO

3 [▲] または [▼] で設定を選び [メニュー] を押す

ご購入時の設定：AUTO

- ❶ 設定によって、子機の連続通話時間は以下のようになります。
ON（設定）：約4時間
OFF（解除）：約6時間
AUTO：約4～6時間
- ❷ 「AUTO」を選ぶと、電波の状態によって自動的にONとOFFを切り替えます。
- ❸ 子機の通話時は無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、ダブルアクセスを「OFF」にするとともに影響が少なくなります。
- ❹ ダブルアクセス機能は子機で外線通話したときに有効です。内線通話時はダブルアクセス機能は動作しません。

ネットワーク機能を使う

ネットワーク機能をご利用になるには

本機をLANにつないでご利用になれるネットワーク機能について説明します。パソコンにつないでできる使いかたは、ネットワークガイド（CD-ROMまたはスピークスホームページ）もあわせてご覧ください。

あらかじめ下記の環境などをご確認ください。

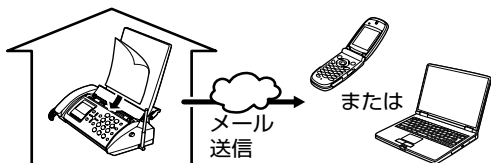
- ・ インターネットに接続する環境（「いろいろな接続」（P.26））
- ・ メールアカウント
- ・ パソコン環境（※パソコンを使用する機能をご利用になる場合）

ご利用になれる機能は

下記の機能をご利用になる際は、「事前に必要な設定」をご確認ください。

スキャンtoメール（→P.98）

ファクス送信のような操作で、画像を携帯電話やパソコンにメール送信します。

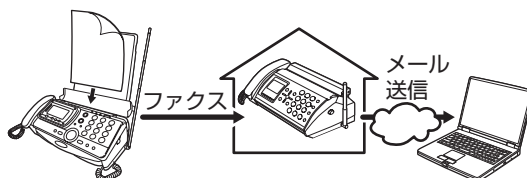


事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- メールの設定をする（→P.90）

ファクスtoメール転送（→P.102）

受信したファクスを指定したメールアドレスに送信します。

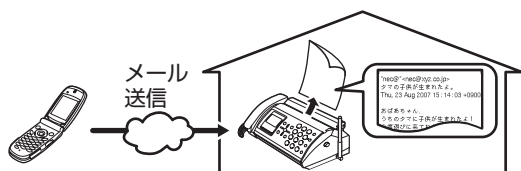


事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- メールの設定をする（→P.90）

メールtoプリント（→P.100）

自分宛に送られたメールを印刷します。

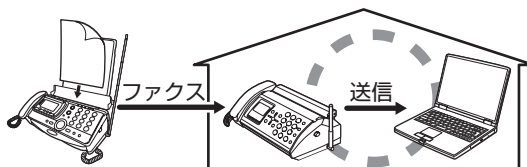


事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- メールの設定をする（→P.90）

ファクスtoパソコン（→P.105）

ファクス受信文書をネットワーク接続されたパソコンに送信します。

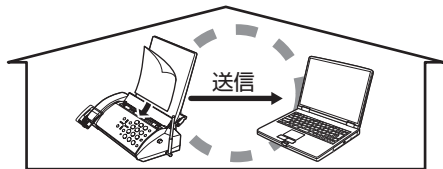


事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストールをする（→P.95）
- その他電子マニュアルに記載の事項※

スキャンtoパソコン（→P.103）

ファクス送信のような操作で、スキャンした画像をネットワーク接続されたパソコンに送信します。※

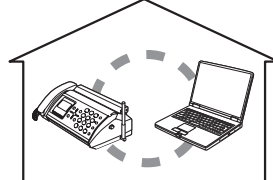


事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストールをする（→P.95）
- その他電子マニュアルに記載の事項※

パソコンで設定・閲覧（→P.106）

Internet ExplorerなどのWebブラウザで電話帳の編集や受信したファクス文書を見ることができます。



事前に必要な設定：

- ネットワークの設定をする（→P.88）
- ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストールをする（→P.95）
- その他電子マニュアルに記載の事項※

※：詳細は付属のCD-ROM内のネットワークガイドをご覧ください。

ネットワークの設定をする

IPアドレスを設定する

① DHCPの設定につきましては、お使いのADSLモデムやルータの取扱説明書をご覧ください。

1 [メニュー] [7] を順に押す

IPアドレス設定
IPアドレス表示
MACアドレス表示

ご購入時の設定

DHCPを使用 : する

DNS設定 : 自動

2 [セット] を押す

DHCPを使用

する / しない

3 [<] または [>] でDHCPを使用するかしないかを選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「する」 → ■DHCPを使用する場合

「しない」 → ■DHCPを使用しない場合

■DHCPを使用する場合

DNS設定

手動 / 自動

4 [<] または [>] で
DNS手動設定する場合は「手動」を選び
[セット] を押す

DNSサーバアドレス1

0 0 0 0

5 ダイヤルボタンで
DNSサーバアドレス1を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス2

0 0 0 0

6 ダイヤルボタンでDNSサーバアドレス2を入力し
[セット] を押す

7 [セット] を押す

■DHCPを使用しない場合

IPアドレス

0 0 0 0

4 ダイヤルボタンで
IPアドレスを入力し
[セット] を押す

サブネットマスク

0 0 0 0

5 ダイヤルボタンで
サブネットマスクを入力し
[セット] を押す

ゲートウェイ

0 0 0 0

6 ダイヤルボタンで
ゲートウェイを入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス1

0 0 0 0

7 ダイヤルボタンで
DNSサーバアドレス1を入力し
[セット] を押す

DNSサーバアドレス2

0 0 0 0

8 ダイヤルボタンでDNSサーバアドレス2を入力し
[セット] を押す

9 [ストップ] を押す

☞ DHCPとは：インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。

☞ DHCPサーバ機能を持ったルータにつなぐ場合、ルータのDHCPサーバ機能を有効にして「DHCP使用：する」「DNS設定：自動」に設定することを推奨します。

▶ DNS自動設定する場合は：
「自動」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

▶ DNS手動設定する場合は：
お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

▶ DNSサーバアドレス2の設定が不要なときは：
入力せずに [セット] を押す。

▶ IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバアドレスを手動設定する場合は：
お使いのネットワーク環境に合わせて、正しく設定してください。

▶ DNSサーバアドレス2の設定が不要なときは：
入力せずに [セット] を押す。

■ IPアドレスを確認するには

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「IPアドレス表示」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

■ MACアドレスを確認するには

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「MACアドレス表示」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

■ 装置名を登録するには（ご購入時の設定：SPEAX+MACアドレス）

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「装置名」を選び、[セット] を押す。
2. 装置名を入力（最大半角英数字20文字）（※）し、[セット] を押してから [ストップ] を押す。
※：装置名の入力画面では、入力した文字が半角で表示されます。記号は入力できません。

■ 突然、ネットワーク通信がうまくいかなかった場合は

お使いになっていて、突然「メールが送れなくなった」などの異常時に「ネットワーク修復」で正常に戻ることがあります。設定が正しいことを確認のうえ、行ってください。

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「ネットワーク修復」を選び、[セット] を押すと「お待ち下さい」と表示される。
2. 修復が完了（「完了しました」と表示される）したら、[ストップ] を押す。

■ エラー番号を表示させるには（ご購入時の設定：する）

異常時に、ディスプレイに表示されるエラー番号で、状態を確認することができます。（→P.89）

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「エラー表示設定」を選び、[セット] を押す。
2. [＜] または [＞] でエラー番号の表示を「する」または「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

▶ 最新のエラー番号を表示させたいときは：

1. 「IPアドレスを設定する」の手順1のあと、[▲] または [▼] で「最新のエラー番号」を選び、[セット] を押す。
2. 確認したら [ストップ] を押す。

● 代表的なエラー番号

エラー番号	送信・受信	要因	対処方法	エラー内容
E52001	受信	POP3ユーザ名、POP3パスワード不正、POP3サーバダウン	左記設定値の確認、POP3サーバ確認	メール受信設定等
EA0006	送信	サブネット・ゲートウェイ設定不正、SMTPアドレス不正、SMTPポート番号不正、SMTPサーバダウン、パソコン送信時の宛先設定・ポート番号不正	左記設定値の確認、ケーブル抜け確認、SMTPサーバ確認	メール送信設定等
EA2xxx	送信	送信元メールアドレス不正、SMTP認証設定不正	送信元メールアドレス設定確認、SMTP認証設定確認	メール送信設定等
EA3xxx	送信	相手先メールアドレス異常	相手先メールアドレス設定確認	メール送信設定等
EA5006	送信	メール送信中のケーブル抜け（LAN接続）	ケーブル抜け確認	メール送信等
EAA000	送信	IPアドレス、DNS設定不正、SMTPアドレス不正、DNSサーバダウン、ケーブル抜け（LAN接続）	左記設定値の確認、ケーブル抜け確認、DNSサーバ確認	IPアドレス等
EC0006	受信	IPアドレス、DNS設定不正、POP3アドレス不正、POP3サーバダウン	左記設定値の確認、POP3サーバ確認	メール受信設定等
EC5001	受信	メール受信異常	本機以外でメールの受信を行っているか確認	メール受信等
EC700x	受信	メール消去中のケーブル抜け（LAN接続）	ケーブル抜け確認	メール受信等
ECD001	受信	IPアドレス・DNS設定不正、POP3アドレス不正、DNSサーバダウン、ケーブル抜け（LAN接続）	左記設定値の確認、ケーブル抜け確認、DNSサーバ確認	IPアドレス等
ED3000	受信	メール確認中のケーブル抜け（LAN接続）、メール消去中のケーブル抜け（LAN接続）	ケーブル抜け確認	メール受信等

● その他のエラー番号

エラー番号	送信・受信	要因	対処方法
E4xxxx	送受信	メール設定不正	メール設定再確認
E5xxxx			
E7xxxx	送受信	SMTP認証、APOP認証設定不正	対応サーバかどうかをプロバイダに確認、設定確認
EABF50	送受信	送信前受信をする場合のメール受信設定不正	対応サーバかどうかをプロバイダに確認、設定確認

※「●代表的なエラー番号」（→P.89）と上記以外のエラーで、設定確認、接続の確認をしてもわからない場合は、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（→P.139）。

メールの設定をする

メールの基本設定をする

自分のメールアドレスやメールサーバアドレスなどを登録します。

- ❶ 各アドレス、ユーザ名およびパスワードの入力時の表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

送信元メールアドレスを設定する

- ❶ メールアドレスを取得するには、別途プロバイダとの契約が必要です。
❷ 送信元メールアドレス、SMTPサーバアドレス、POP3サーバアドレスはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [セット] を押す

送信元メールアドレス

n e c @ x y z .

3 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

☞ プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本機での名称	プロバイダで使っている名称例
送信元メールアドレス	・メールアドレス ・電子メールアドレス

- ❶ 画面には全角英数字／記号が表示されますが、送信元メールアドレスは、半角英数字／記号として登録されます（最大50文字）。

☞ [＜] または [＞] で、送信元をスクロール表示することができます。

SMTPアドレスを設定する

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [▲] または [▼] で
「SMTPアドレス」を選び
[セット] を押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

SMTPアドレス

3 SMTPサーバアドレスを入力し
[セット] を押す

4 [ストップ] を押す

☞ プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本機での名称	プロバイダで使っている名称例
SMTPアドレス	・メールサーバ（※） ・SMTPサーバ ・送信メールサーバ

※：プロバイダによっては、SMTPアドレス、POP3アドレスが同じで、メールサーバと表記されている場合があります。この場合は、それぞれに同じアドレスを入力してください。

- ❶ 画面には全角英数字／記号が表示されますが、SMTPアドレスは、半角英数字／記号として登録されます（最大50文字）。☞ 「文字入力について」(P.134)

POP3を設定する

1 [メニュー] [8] を順に押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

2 [▲] または [▼] で
「POP3アドレス」を選び
[セット] を押す

送信元メールアドレス
SMTPアドレス
POP3アドレス

POP3アドレス

3 POP3サーバアドレスを入力し
[セット] を押す

POP3ユーザ名

- ❶ IMAP4はサポートしていません。

☞ プロバイダによって名称が異なる場合があります。

本機での名称	プロバイダで使っている名称例
POP3アドレス	・メールサーバ（※） ・POPサーバ ・受信メールサーバ
POP3ユーザ名	・メールアカウント ・アカウント
POP3パスワード	・メールパスワード ・POPパスワード

※：プロバイダによっては、SMTPアドレス、POP3アドレスが同じで、メールサーバと表記されている場合があります。この場合は、それぞれに同じアドレスを入力してください。

- 4 POP3ユーザ名を入力し
[セット] を押す

POP3パスワード

POP3サーバのユーザ名の文字数：

最大英数字／記号50文字

🔑📖「文字入力について」(P.134)

- 5 POP3パスワードを入力し
[セット] を押す

POP3サーバパスワードの文字数：

最大英数字／記号32文字

🔑📖「文字入力について」(P.134)

🔑 パスワードは「*」で表示されます。

- 6 [ストップ] を押す

メール受信をべんりに行う設定

受信メールがあるかどうか一定間隔で確認したり、登録したアドレスからのメールだけを自動的にプリントすることができます。

自動到着確認、自動プリントを設定する

- 1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタ リスト設定

- 2 [▲] または [▼] で
「メール受信設定」を選び
[セット] を押す

APOP認証
POP3ポート番号
自動到着確認

- 3 [▲] または [▼] で
「自動到着確認」または「自動プリント」を選び
[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「自動到着確認」→■自動到着確認

「自動プリント」→■自動プリント

■自動到着確認

自動到着確認
する／しない

ご購入時の設定

自動到着確認：しない

自動プリント

プリント後消去：しない

メールフィルタを使用：しない

- 4 [<] または [>] で
自動到着確認「する」を選び
[セット] を押す

到着確認間隔
10分
▲▼で選択

🔑 受信メールがあるかどうか、一定間隔で確認することができます。

🔑 自動到着確認を「する」に設定した場合、サーバにプリントしていないメールがあるとメールランプが点灯します。🔑📖「■メールランプについて」(P.100)

▶ 受信メールの自動到着確認をしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

- 5 [▲] または [▼] で
確認間隔時間を選び
[セット] を押す

自動プリント
する／しない

設定できる確認間隔時間：5～90分（5分刻み）

- 6 [<] または [>] で
受信メールを自動でプリント「する」を選び
[セット] を押す

▶ 受信メールを自動プリントしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

- 7 [ストップ] を押す

■自動プリント

プリント後消去
メールフィルタを使用

- 4 [▲] または [▼] で設定する項目を選び、[セット] を押す

手順4の選択に応じて次に示す手順に進む

「プリント後消去」→<プリント後消去>

「メールフィルタを使用」→<メールフィルタを使用>

<プリント後消去>

プリント後消去

する／しない

5 [<] または [>] でプリントした受信メールをサーバから消去「する」または「しない」を選び【セット】を押す

6 [ストップ] を押す

- ☞ 自動プリントした受信メールをサーバから消去するかどうかを設定します。
- ☞ この設定は「メール一括印刷」(P.102) 時にも有効になります。

☞ 「プリント後消去」に設定した場合、正常にプリントした受信メールはサーバから削除されます。印刷できない添付ファイルなどがあるときは、削除されません。削除が必要な場合は、手動で削除してください。☞ 「手動プリント」(P.101)

<メールフィルタを使用>

メールフィルタを使用

する／しない

5 [<] または [>] でメールフィルタの使用「する」または「しない」を選び【セット】を押す

6 [ストップ] を押す

メールフィルタの使用について

する : メールアドレスをメールフィルタリストに登録したメールだけ自動プリントする☞ 「メールフィルタリストに登録する」(本ページ下)

しない : 全てのメールを自動プリントする

☞ この設定は「メール一括印刷」(P.102) 時にも有効になります。

メールフィルタリストに登録する

メールフィルタリストにメールアドレスを登録した特定の受信メールだけを自動でプリントすることができます。メールフィルタリストを利用するには、**「■自動到着確認」**(☞ P.91) の「自動プリント」を「する」、「メールフィルタを使用」を「する」に設定してください。

① メールアドレスの表示について :

- ・手順4の入力画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。
- ・登録したメールアドレスを確認すると全角英数字／記号で表示されますが、半角英数字／記号として登録されています。

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタリスト設定

2 [▲] または [▼] で「メールフィルタリスト設定」を選び【セット】を押す

メールフィルタ リスト

登録／確認

3 [<] または [>] で「登録」を選び【セット】を押す

メールフィルタ リスト登録
01)

4 メールアドレスを入力し【セット】を押す

5 [ストップ] を押す

☞ メールフィルタリストは、20件まで登録できます。

▶ **メールフィルタリストを確認するときは :** [<] または [>] で「確認」を選んで【セット】を押し、[▲] または [▼] で確認するアドレスを選ぶ。

▶ **登録したアドレスを消去したいときは :**

1. 手順3で「確認」を選び、【セット】を押す。
2. [▲] または [▼] でアドレスを選び、**「消去」**を押す。

▶ **登録したアドレスを変更したいときは :**

変更したいアドレスをいったん消去し、登録し直してください。

☞ 「文字入力について」(P.134)

その他のメール設定

メール送信設定をする

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタ リスト設定

2 [セット] を押す

送信前に受信
SMTP認証
SMTPポート番号

3 [▲] または [▼] で設定／登録する項目を選び【セット】を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む

「送信前に受信」→■送信前に受信

「SMTP認証」→■SMTP認証

「SMTPポート番号」→■SMTPポート番号

「メール表題」→■メール表題編集

「メール本文」→■メール本文編集

ご購入時の設定

送信前に受信 : しない

SMTP認証 : しない

SMTPポート番号 : 25

メール表題 : ファイルを送ります

メール本文 : このメールには、画像データが添付されています

■送信前に受信

送信前に受信

する／しない

4 [<] または [>] で送信前に受信「する」または「しない」を選び【セット】を押す

5 【ストップ】を押す

■SMTP認証

SMTP認証

する／しない

4 [<] または [>] でSMTP認証「する」を選び【セット】を押す

SMTP認証ユーザ名

■

5 ユーザ名を入力し【セット】を押す

SMTP認証パスワード

■

6 パスワードを入力し【セット】を押す

7 【ストップ】を押す

■SMTPポート番号

SMTPポート番号

25

4 ダイヤルボタンでSMTPポート番号を入力し、【セット】を押す

5 【ストップ】を押す

■メール表題編集

メール表題編集

する／しない

4 [<] または [>] で「する」を選び【セット】を押す

■アイルを送りま
>
かな

5 メール表題を入力し、【セット】を押す

6 【ストップ】を押す

■メール本文編集

メール本文編集

する／しない

4 [<] または [>] で「する」を選び【セット】を押す

■のメールには、
>
かな

5 メール本文を入力し、【セット】を押す

6 【ストップ】を押す

メール送信の際に、POP認証を行うかどうかを設定します。メールの受信は行われません。

▶ メール送信の際にPOP認証を行わない場合は：「しない」を選び、【セット】を押してから【ストップ】を押す。

① ユーザ名およびパスワードの入力時の表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

▶ SMTP認証をしない場合は：「しない」を選び、【セット】を押してから【ストップ】を押す。

ユーザ名の文字数：最大英数字／記号50文字

☞ 「文字入力について」(P.134)

SMTP認証のパスワードの文字数：

最大英数字／記号32文字

☞ 「文字入力について」(P.134)

☞ パスワードは「*」で表示されます。

設定できるSMTPポート番号：1～65535

右詰め5桁に入力されます。5桁未満の番号の場合は、頭に「0」を入力する（例：「123」の場合は「00123」と入力）か、カーソルを右に移動して入力してください。

☞ 入力後に【消去】を押すと、ご購入時の設定の番号が表示されます。

▶ メール表題編集後に定型のメール表題（「ファイルを送ります」）にするときは：

「<」または「>」で「しない」を選び、【セット】を押してから【ストップ】を押す。

メール表題の文字数：最大全角20文字

☞ 「文字入力について」(P.134)

▶ メール本文編集後に定型のメール本文（「このメールには、画像データが添付されています」）にするときは：

「<」または「>」で「しない」を選び、【セット】を押してから【ストップ】を押す。

メール本文の文字数：最大全角50文字

☞ 「文字入力について」(P.134)

メール受信設定をする

1 [メニュー] [9] を順に押す

メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタリスト設定

2 [▲] または [▼] で
「メール受信設定」を選び
[セット] を押す

APOP認証
POP3ポート番号
自動到着確認

3 [▲] または [▼] で設定／登録する項目を選び、[セット] を押す

手順3の選択に応じて次に示す手順に進む
「APOP認証」→■APOP認証
「POP3ポート番号」→■POP3ポート番号
「ヘッダプリント」→■ヘッダプリント
「プリント縮小率」→■プリント縮小率
「プリント分割」→■プリント分割
「メール表示順序」→■メール表示順序

■APOP認証

APOP認証
する／しない

4 [<] または [>] でAPOP認証「する」または「しない」を選び [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■POP3ポート番号

POP3ポート番号
110

4 ダイヤルボタンでPOP3ポート番号を入力し [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■ヘッダプリント

ヘッダプリント
する／しない

4 [<] または [>] でヘッダプリント「する」または「しない」を選び [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■プリント縮小率

プリント縮小率
93%
<>で選択

4 [<] または [>] でプリント縮小率を選び [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■プリント分割

プリント分割
する／しない

4 [<] または [>] でプリント分割「する」または「しない」を選び [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

■メール表示順序

メール表示順序
昇順／降順

4 [<] または [>] で「昇順」または「降順」を選び [セット] を押す

5 [ストップ] を押す

ご購入時の設定

APOP認証 : しない
POP3ポート番号 : 110
ヘッダプリント : する
プリント縮小率 : 93%
プリント分割 : する
メール表示順序 : 昇順

▶ APOP認証しない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

設定できるPOP3ポート番号：1～65535

右詰め5桁に入力されます。5桁未満の番号の場合は、頭に「0」を入力する（例：「123」の場合は「00123」と入力）か、カーソルを右に移動して入力してください。

☞ 入力後に [消去] を押すと、ご購入時の設定の番号が表示されます。

☞ 送信元メールアドレス、メール表題、送信日時をメールの冒頭に印刷できます。

▶ ヘッダプリントしない場合は：

「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

選択できるプリント縮小率：100%、93%、90%、85%

☞ 添付ファイルがA4に入りきらない場合に、2枚以上に分割してプリントするかどうかを指定できます。

☞ 表示順序は、メールサーバの設定によって異なります。

ユーティリティソフト(アプリケーション)のインストールをする

パソコンにつなぐと次の機能を使えるようになります。そのためには、ご使用のパソコン環境 (OS) に合わせて、ユーティリティソフト (アプリケーション) をパソコンにインストールする必要があります。

- ・スキャンした画像をパソコンに保存する (スキャンtoパソコン)
- ・ファクス受信文書をパソコンに保存する (ファクスtoパソコン)
- ・パソコンで設定や閲覧をする (機能設定メニュー)

ユーティリティソフト (アプリケーション) とは : 「AddressResolver」「ImageReceiver」「ポート番号確認ユーティリティ」を指します。

① Windows® XP、Windows Vista® が正しく動作し、CD-ROMドライブが使用できる環境で操作してください。

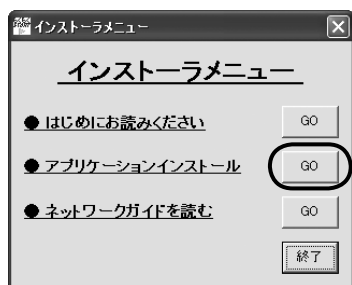
推奨解像度は、1024×768ピクセル以上です。

② 下記は、Windows® XPにインストールする場合の画面を例に説明しています。Windows Vista®にインストールする場合の画面の例は、ネットワークガイドをご覧ください。➡「ネットワークガイドの開きかた」(P.97)

1 添付のCD-ROMをセットする

Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフト (CD-ROM) を挿入する。

2 インストーラメニューから、「アプリケーションインストール」の [GO] をクリックする



3 インストールを開始する

[次へ (N) >] をクリックする。



4 使用許諾契約を確認する

「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、[次へ (N) >] をクリックする。



① 使用許諾契約に同意いただけない場合は、NEC network speaxをインストールできません。

5 インストール先のフォルダを指定する

NEC network speaxがインストールされるフォルダを確認し、[次へ (N) >] をクリックする。



▶ インストールするフォルダを変更したいときは : 「変更 (C)...」をクリックし、NEC network speaxをインストールするフォルダを指定する。

▶ インストールダイアログボックスを操作している間に設定を間違えたり、設定を変更したい場合は : 「<戻る (B)」をクリックして前画面に戻り、設定をやり直す。

6 インストールを開始する

[インストール] をクリックすると、プログラムのインストールを開始する。

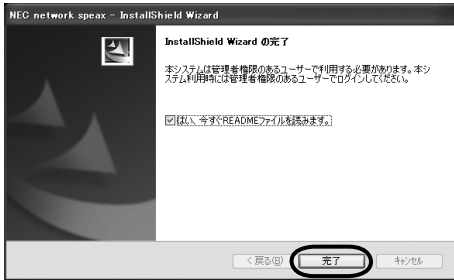


▶ インストール完了前にファイアウォールの解除画面が表示されたときは : 「OK」を押す。

① 必要な部分のブロックのみを解除します。全てのブロックを解除するわけではありません。

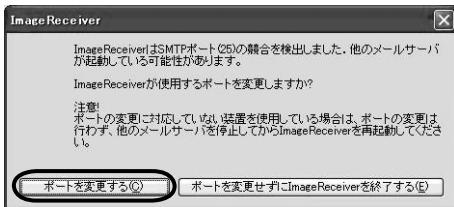
① 上記のWindowsファイアウォールのブロック解除を行わないと、ユーティリティソフト (アプリケーション) が正しく動作せず、「スキャンtoパソコン」、「ファクスtoパソコン」、「機能設定メニュー」がご使用になれません。

7 インストールを完了する [完了] をクリックする。



- ① ユーティリティソフト（アプリケーション）のインストール完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

▶ **ImageReceiverの使用ポート変更画面が表示されたときは：**ImageReceiverに設定されている使用ポート（初期値）を、他のアプリケーションがすでに使用しているときにポート変更画面が表示されます。
[ポートを変更する(C)] をクリックし、インストールを継続してください。



▶ **ポートを変更した場合は：**ImageReceiverの使用ポートと本機のPC送信ポートの番号の設定を合わせる必要があります。

ImageReceiverの変更したポート番号を確認する
「スタート」→「すべてのプログラム」→「NEC network speax」→「ポート番号確認」の順にクリックすると、変更したポート番号が表示されます。



上記で表示された番号を、PC送信ポート番号として本機で設定する

1. [メニュー] [7] を順に押す
2. [▲] または [▼] で「PC送信ポート番号」を選び、[セット] を押す
3. [▲] または [▼] で変更したポート番号と同じ番号を選び、[セット] を押す

▶ **インストーラメニューが自動で立ちあがらないときは：**
エクスプローラ等でCD-ROMを開き、「setup.exe」を実行する。

■ ユーティリティソフト（アプリケーション）のアンインストール

- ① Windowsの「スタート」→「コントロールパネル (C)」を順にクリックし、コントロールパネルを開く。
- ② 「プログラムの追加と削除」を開く。
一覧の中に「NEC network speax」があることを確認する
- ③ 「NEC network speax」を選択し、「削除」をクリックする。
- ④ [はい (Y)] をクリックする。
- ⑤ 表示に従い、アンインストールを行う。
- ⑥ アンインストール完了画面で [完了] をクリックする。

■ ユーティリティソフト（アプリケーション）のアップグレード

動作が不安定になったときなどに行ってください。

- ① Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフト（CD-ROM）を挿入する。
- ② インストーラメニューから「アプリケーションインストール」の [GO] をクリックする。
- ③ 「このセットアップはアップグレードを実行します。続行しますか？」と表示されたら、[はい (Y)] をクリックする。

「InstallShield (R) WizardはNEC network speaxを修復しています」と表示されます。

ファイアウォールブロック画面が表示されたときは、[OK] をクリックしてください。

- ④ [完了] をクリックして、インストールを完了する。

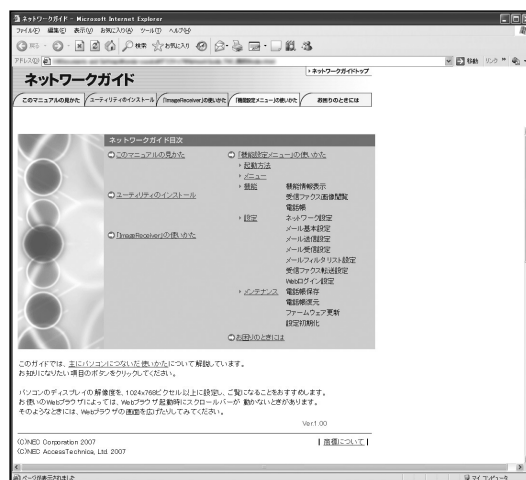
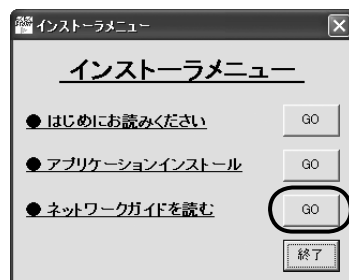
① ユーティリティソフト（アプリケーション）のアップグレード完了後は、必ずパソコンを再起動してください。再起動しないと、正常に動作しないことがあります。

ネットワークガイドの開きかた

ネットワークガイドには、本機をパソコンにつないだときの説明や操作手順が詳しく記載されています。本書とあわせてご覧ください。

- 1 添付のCD-ROMをセットする
Windows® XPまたはWindows Vista®を起動し、ユーティリティソフト（CD-ROM）を挿入する。

- 2 インストーラメニューから、「ネットワークガイドを読む」の[GO]をクリックする



- ① speax（スピークス）ホームページからもご覧いただけます。
<http://121ware.com/speax/>

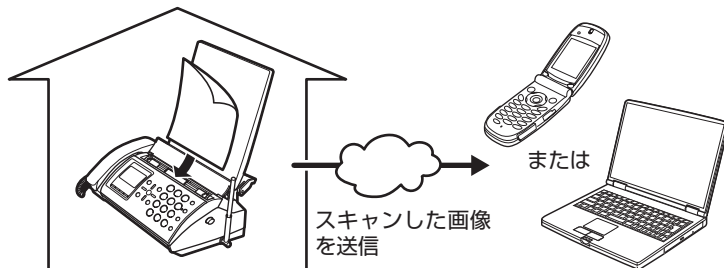
ネットワークガイド 目次

このマニュアルの見かた
ユーティリティのインストール
「ImageReceiver」の使いかた
「機能設定メニュー」の使いかた
起動方法
メニュー
機能
機器情報表示
受信ファクス画像閲覧
電話帳
設定
ネットワーク設定
メール基本設定
メール送信設定
メール受信設定
メールフィルタ リスト設定
受信ファクス転送設定
Webログイン設定
メンテナンス
電話帳保存
電話帳復元
ファームウェア更新
設定初期化
お困りのときには

各機能の説明

スキャンした画像をメール送信する（スキャンtoメール）

手書きのメモや画像をJPEGやPDF等の形式で、メールに添付して携帯電話やパソコンに送ることができます。宛先がパソコンの場合はTIFFの形式もサポートします。



☞ 下記は、属性を「PC」に設定した場合の画面を例に説明しています。

1 原稿をセットする

- 2 [電話帳] を押し
[▲] または [▼] で
メール送信する相手先を選ぶ

日本電気
nec@xyz.
▲▼で選択 PC

- 3 [メニュー] を押し
[▲] または [▼] で「画質」「原稿サイズ」
「ファイル形式」「濃度」を選び
[<] または [>] で設定を選ぶ

画質： 画像
原稿サイズ： B 5
▲▼<>で選択

4 [セット] を押す

日本電気
nec@xyz.
▲▼で選択 PC

5 [スタート/コピー] を押す

原稿読取中 PO1
送信中
通信終了

- ❶ 携帯電話の相手先に送るときは、次の点にご注意ください。

- ・ 送信先の携帯電話がパケット定額制の契約でない場合は、パケット通信料が高額になることがあります。
- ・ 送信先の携帯電話の機種によっては、受信した画像が表示できない、または受信できないことがあります。
- ・ 高画質で送っても、携帯電話が対応していない場合、その携帯電話で受信できる画質に変換されることがあります。

- ☞ 「原稿セットのしかた」(P.30)

- ☞ 原稿は、原稿セットガイドに合わせて、センター寄せの状態で原稿挿入口にセットしてください。

- ☞ [電話帳] を押すと、電話帳に登録されている電話番号、メールアドレスが順に表示されます。

- ☞ [<] または [>] で、送信先、メール表題をスクロール表示することができます。

- ☞ 画面右下に属性が表示されます。

電話：電話番号

PC：メールアドレス（パソコン）

携帯：メールアドレス（携帯電話）

- ▶ 複数の相手先を選びたいときは：

相手先を選んで[セット]を押すと「1宛先目設定」と表示され、電話帳画面に戻る。同様の操作を繰り返し、宛先を指定する（5宛先まで）。

- ☞ 選択済みの相手先は、3行目の左端に「*」が表示されます。解除するときは[消去]を押します。

- ☞ [メニュー] を押すと、現在の設定が表示されます。

- ☞ 「■ 画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法」(P99)

- ▶ 途中でメール送信をやめるときは：

[ストップ] を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度[ストップ]を押すと排出される。

- ❶ メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されています。

- ❶ 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。

- ❶ メール送信が正常に終了しないと「通信エラー」と表示されて送信されず、再送信もされません。

- ☞ [<] または [>] で、送信先、メール表題をスクロール表示することができます。

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法

〔▲〕または〔▼〕で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度を選び、〔<〕または〔>〕で設定を選びます。選択終了後、〔セツト〕を押すと設定を完了し、電話帳画面に戻ります。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

	スキャンtoメール			
	パソコンに送信する場合		携帯電話に送信する場合	
画質 【選択設定】	画像	文字	高画質	標準画質
原稿サイズ 【選択設定】	A4 / A5 / B5	A4	A4 / A5 / B5	
ファイル形式 【選択設定】	JPG (JPEG) / PDF	TIFF/PDF	JPG (JPEG) / PDF	
濃度 【選択設定】	5 段階		5 段階	
階調	256 階調 (モノクロ)	2 階調 (白 / 黒)	256 階調 (モノクロ)	
ファイル容量の目安 / 1 枚あたり (参考値) ※	約 400/260/330KB (A4 / A5 / B5)	約 40KB	約 160KB	約 60KB
送信可能枚数	1 枚	最大 5 枚	1 枚	

※：画質は文字と写真・絵が混在した原稿（独自）の場合、画質「文字」はA4判700字程度（独自）の場合のファイル容量の目安です。ファイル容量は原稿によって異なります。

■パソコンにメール送信する場合

(1) 「画質」の選択

「画像」…………… 文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。

「文字」…………… 文字の多い原稿に適しています。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

原稿サイズによって、ファイル容量が異なります。

(3) 「ファイル形式」の選択

「画像」…………… JPG (JPEG) / PDF

「文字」…………… TIFF/PDF

・PDFを表示するには送信先のパソコンにPDFビューアが必要です。

(4) 「濃度」の選択

読み取り濃度を5段階で設定します。

(5) 送信可能枚数

選択した画質によって、送信可能枚数が異なります。送信可能枚数以降の原稿は送信されず、原稿挿入口にそのまま残ります。

■携帯電話にメール送信する場合

携帯電話にメール送信する場合、送信先の携帯電話にメール（画像ファイル付き）を受信する機能、および画像を表示する機能が搭載されている必要があります。

また、携帯電話側で受信できる画像の容量は機種等によって異なります。下記の項目を確認したのちに、設定を選択することをおすすめいたします。

(1) 「画質」の選択 推奨：標準画質

選択した画質によって、送信画素数およびファイル容量が異なります。送信先の携帯電話によっては、容量の大きいデータを受信することができない場合があります。

「高画質」…………… 細かい文字の原稿に適していますが、ファイル容量が大きくなります。通信先の携帯電話によっては、容量の大きいデータを受信することができない場合があります。

「標準画質」…………… 通常は、「標準画質」でご利用ください。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

設定したサイズごとの原稿読み取り範囲は以下のとおりです。

A4 …………… 横208×縦291mm

A5 …………… 横146×縦204mm

B5 …………… 横180×縦251mm

(3) 「ファイル形式」の選択 推奨：JPG

JPG (JPEG) …… カメラ付きの多くの携帯電話で画像表示が可能です。

PDF …………… PDFビューア機能のある携帯電話で画像表示が可能です。

送信先の携帯電話にPDFを表示する機能があることが不明の場合はJPG (JPEG) での送信をおすすめします。

(4) 「濃度」の選択

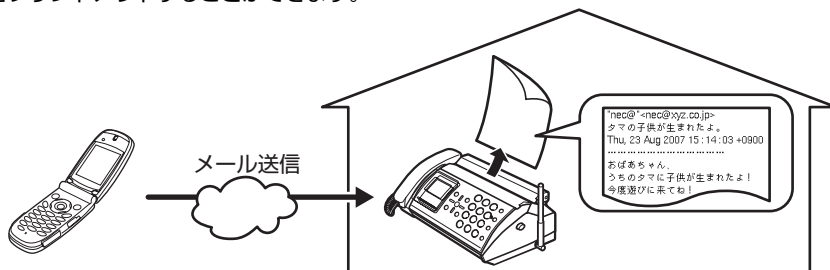
読み取り濃度を5段階で設定します。→「読み取り濃度の目安」(P.54)

(5) 送信可能枚数

携帯電話に送る場合の送信可能枚数は1枚です。2枚以上セットしても2枚目以降は送信されず、原稿挿入口にそのまま残ります。

受信したメールをプリントする（メールtoプリント）

受信したメールをプリントアウトすることができます。



① 携帯電話からの絵文字、装飾文字はプリントできません。また、HTML形式のメールはプリントできない場合があります。

▶「メールがあります」と表示されているときは：記録紙がなくなったなどの理由で、自動プリントおよび手動プリントできません。メールをプリントしたあとで、メール受信操作を行ってください。→「■プリントできないとき」（本ページ下）

■メールランプについて

メールランプ



親機のメールボタン上にあるランプで、メールの有無を確認することができます。

メールサーバにプリントしていないメール（未読）があるとき、メールランプが点灯します。

→ 不要なメールは削除してください。

→「■メール到着確認」（P.101）、「■メールをプリントしないで消去するときは」（P.102）

メールランプの状態は、「■自動到着確認」（→P.91）または「手動プリント」（→P.101）の操作によって更新されます。次の更新までの間に、メールサーバ上に新たなメールが届いたり、他のパソコンからメールを削除した場合、メールサーバ上とランプの状態とが異なる場合があります。

■プリントできないとき

記録紙がなくなったなどの理由でプリントできないときは、画面に右のように表示されます。

メールがあります 交互 スタート押下

印刷するときは、記録紙をセットし、[スタート/コピー]を押す。→「記録紙のセット」（P.22）

▶途中でプリントをやめるときは：[ストップ]を押してプリントを中断してください。プリントを中断したメールは、既読メール（プリントしたことがあるメール）となります。

自動プリント

自動的にメールを受信し、プリントできます。また、特定の相手からの受信したメールだけをプリントしたり、プリントしたメールを消去することもできます。

→「■自動到着確認」（P.91）、「■自動プリント」（P.91）、「メールフィルタリストに登録する」（P.92）

① おやすみモードを設定しているときは、「■自動到着確認」（→P.91）で設定した自動プリントは動作しません。

① 短いメールは1枚の用紙につめて印刷されます。

① 「プリント後消去」を「する」に設定していても（→P.92）、プリントできないメールは消去できません。

▶記録紙とインクフィルムを節約したり、不要なメールをプリントしたくない場合は：

短いメール1件でも、1枚分の記録紙とインクフィルムを使用します。また、自動プリントを「する」に設定すると、受信した全ての未読メールを印刷します。記録紙とインクフィルムを節約したいときや、不要なメールをプリントしたくない場合は、状況に合わせて次の方法をご利用ください。

・自動プリントを「しない」に設定し、手動プリントで相手先を確認してからプリントする→「■自動到着確認」（P.91）、「手動プリント」（本ページ下）

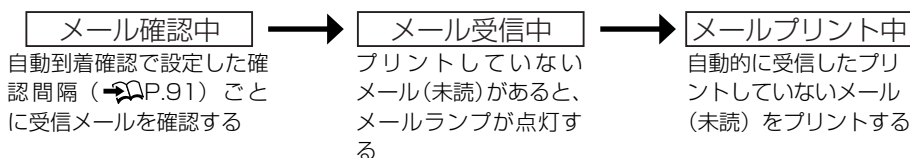
・自動プリントの自動到着確認を延ばす→「■自動到着確認」（P.91）

・メールフィルタリストを利用し、印刷するメールを制限する→「メールフィルタリストに登録する」（P.92）

① 自動プリントで一度プリントしたメールは、電源を入れ直しても再度自動プリントされません。

① 自動プリントしたかどうかを印刷済みメール情報として記憶しています。

① メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、自動プリントを「する」に設定していても自動プリントされません。不要なメールはこまめに消去してください。→「■メール到着確認」手順6（P.101）、「■メールをプリントしないで消去するときは」（P.102）



手動プリント

自動到着確認を設定すると、メールがあるときにメールランプが点灯します。[メール]を押して、ご都合の良いときに選んでプリントすることができます。手動プリントには、下記の2種類の方法があります。

メール到着確認：プリントする受信メールを選んでプリントする

メール一括印刷：プリントしていないメール（未読）を自動的に全てプリントする

■メール到着確認

1 [メール]を押す

メール到着確認
メール一括印刷
▲▼で選択

①「メールがあります」と表示されているときは、[メール]を押しても表示が変わりません。プリント中のメールをプリントしたあとに操作してください。

2 [▲] または [▼] で「メール到着確認」を選び [セット]を押す

メール確認中
2件あります
不要なメールは
削除してください
nec@xyz.
ファイルを送りま
▼で選択 未読

✎ メールサーバにあるメールが表示されます。
✎ 画面の右下に「未読」または「既読」が表示されます。
未読：一度もプリントしていないメール
既読：プリントしたことがあるメール

① 短いメールの印刷でも、1枚分の記録紙とインクフィルムを使用します。

① メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されています。

① 電話帳に名前が登録されている相手の場合は、メールアドレスではなく、その名前が表示されます。

✎ [<] または [>] で、送信元、メール表題をスクロール表示することができます。

✎ メール表示順序を変更することができます。→「■メール表示順序」(P.94)

① メールサーバにあるメールが2,000件を超えると、画面右下の「未読」または「既読」が表示されません。不要なメールはこまめに消去してください。→「■メール到着確認」手順6（本ページ下）、「■メールをプリントしないで消去するときは」(P.102)

3 [▲] または [▼] でプリントするメールを選ぶ

4 [セット]を押す

プリント（全部）
プリント（本文）
▲▼で選択

① メールが1件の場合は、「▼で選択」は表示されません。手順4へ。

5 [▲] または [▼] で「プリント（全部）」または「プリント（本文）」を選び [セット]を押す

メール受信中
メールプリント中
プリント済メール消去
消去／中止

プリント（全部）：添付ファイルがあった場合、本文とともにプリントする

プリント（本文）：本文のみプリントする

① 本文のみプリントした場合、添付ファイルがあっても既読メールとなります。

▶ **メール画面に戻るときは：**

[▲] または [▼] で「戻る」を選び、[セット]を押す。

▶ **途中でプリントをやめるときは**（→P.100）

▶ **「メールがあります」と表示されたときは**（→P.100）

6 [セット]を押す

消去しました

✎ [セット]を押すと、プリントしたメールがメールサーバから消去されます。

▶ **消去後の画面表示について：**

・複数の受信メールがある場合は、次の受信メールの相手先が表示される。

・全ての受信メールが消去された場合は、「メールがありません」と表示される。

▶ **メールを消去しないときは：**

[<] または [>] を押して「中止」を選び、[セット]を押す。

▶ **続けて他のメールの到着確認をするには：**手順3～6をくり返す。

7 [ストップ]を押す

■ メールをプリントしないで消去するときは：

下記の2通りの方法があります。

<方法1>

1. 「■メール到着確認」の手順3で、[▲] または [▼] で消去するメールを選ぶ
2. [消去] を押す
3. [セット] を押す

<方法2>

1. 「■メール到着確認」の手順5で、[▲] または [▼] で「消去（1件）」または「消去（既読）」を選んで [セット] を押す

消去（1件）：手順3で選択したメールのみ消去する

消去（既読）：メールサーバにある既読メールを全て消去する

消去（1件）
消去（既読）
▲▼で選択

2. [セット] を押す

■ メールの相手先を電話帳に登録するときは：

「■メール到着確認」の手順5で、[▲] または [▼] で「アドレス登録」を選んで [セット] を押し、必要に応じて相手先の名前、読みカナ、電話番号、パソコンのアドレスか／携帯電話のアドレスかなどを登録する。→「電話帳に相手先を登録する」（P.42）

① 登録できるメールアドレスは50文字までです。50文字を超えた分は削除されます。

■ メールの相手先をメールフィルタリストに登録するときは：

「■メール到着確認」の手順5で、[▲] または [▼] で「メールフィルタリスト登録」を選んで [セット] を押す。表示されたメールアドレスを確認し、[セット] を押す。

■ メール一括印刷

1 [メール] を押す

メール到着確認
メール一括印刷
▲▼で選択

2 [▲] または [▼] で「メール一括印刷」を選び [セット] を押す

メール確認中
メール受信中
メールプリント中

① 「メールがあります」と表示されているときは、[メール] を押しても表示が変わりません。プリント中のメールをプリントしたあとに操作してください。

✎ メールサーバにあるメールを受信し、プリントしていないメール（未読）を自動的にプリントします。

▶ 途中でプリントをやめるときは（→P.100）

▶ 「メールがあります」と表示されたときは（→P.100）

① 短いメールは1枚の用紙につめて印刷されます。

① 「プリント後消去」を「する」に設定していても（→P.92）、プリントできないメールは消去できません。

▶ 不要なメールをプリントしたくない場合は：

メールフィルタリストをご利用ください。→「メールフィルタリストに登録する」（P.92）

① メール一括印刷で一度プリントしたメールは、電源を入れ直したあと [メール] を押して「メール一括印刷」を選択しても、再度自動プリントされません。

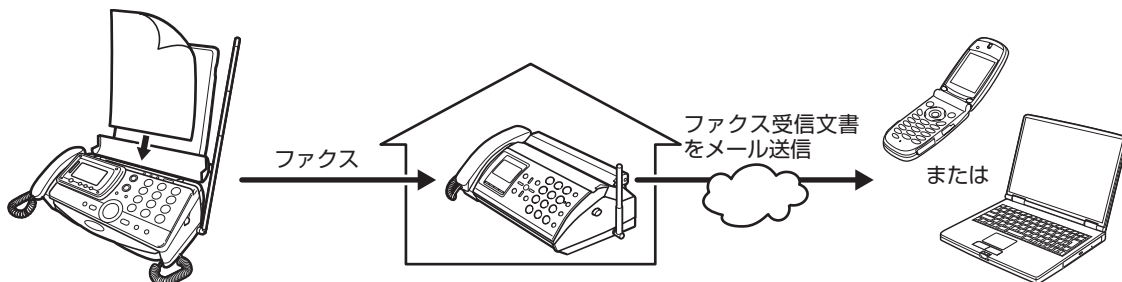
① 自動プリントしたかどうかを印刷済みメール情報として記憶しています。

ファクス受信文書をメール送信する（ファクスtoメール転送）

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、指定した携帯電話やパソコンのメールアドレスに送信（※）することができます。

※：送信に失敗しても、再送信は行いません。

① 携帯電話への転送は、機種によってできないことがあります。



転送先のメールアドレスを登録する

1 [メニュー] [3] を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

ご購入時の設定：しない

- 2 [▲] または [▼] で
「ファクスtoメール転送」を選び
[セット] を押す

メモリ文書消去
受信ファクスの扱い
ファクスtoメール転送

する／しない

- 3 [<] または [>] で
「する」を選び
[セット] を押す

メールアドレス

- 4 メールアドレスを入力し
[セット] を押す

- 5 [ストップ] を押す

▶ ファクスtoメール転送しない場合は：
「しない」を選び、[セット] を押してから [ストップ] を押す。

メールアドレスの文字数：

最大英数字／記号50文字

① メールアドレスの表示について：画面には全角英数字／記号が表示されますが、半角英数字／記号として登録されます。

✎ ファクスtoメール転送で登録できるメールアドレスの数は、一回に1件です。

① 送信終了後のファクス受信文書の扱いは、「受信ファクスの扱い」(→P.105) の設定により異なります。

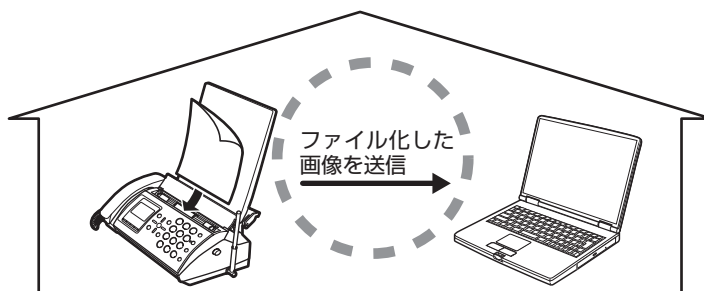
▶ メモリに残ったファクス受信文書を消去したいときは：印刷する。印刷しないときは消去する。

✎ 「メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする」(P.58)

✎ 「メモリに蓄積したファクス受信文書を消去する」(P.58)

スキャンした画像をパソコンに保存する (スキャンtoパソコン)

スキャンした画像をJPEG、PDFまたはTIFFの形式にファイル化し、パソコンに送信することができます。
パソコンにユーティリティソフトをインストールすると (→P.95)、自動的にパソコンのマシン名を取得して表示します (最大3台まで)。



- 1 原稿をセットする

- 2 [スタート/コピー] を押す

コピー
スキャン to PC
▲▼で選択

- 3 [▲] または [▼] で
「スキャンtoPC」を選び
[セット] を押す

コピー
スキャン to PC
▲▼で選択

送信先PC
NEC-PC1
▲▼で選択

- 4 [▲] または [▼] で
送信するパソコンを選ぶ

- 5 [メニュー] を押し
[▲] または [▼] で「画質」「原稿サイズ」
「ファイル形式」「濃度」を選び
[<] または [>] で設定を選ぶ

画質： 画像
原稿サイズ： B 5
▲▼<>で選択

- 6 [セット] を押す

✎ 「原稿セットのしかた」(P.30)

① 複数のパソコンを選ぶことはできません。

▶ 転送先のパソコンが自動で見つからない場合は (→P.104)

✎ 「■ 画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法」(P.104)

7 「スタート/コピー」を押す

原稿読取中 P01



原稿が排出されると(読み取りを完了)、送信を開始します。

送信中

通信終了

▶ 途中でスキャンをやめるときは：

「ストップ」を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度「ストップ」を押すと排出される。

❶ 原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まるがありますが、無理に引き抜かないでください。

❷ パソコンへの送信が正常に終了しないと「通信エラー」と表示されて送信されず、再送信もされません。

▶ 転送先のパソコンが自動で見つからない場合は：下記の操作で、送信先のパソコンを手動設定する（3件まで）。

1. 「メニュー」[7] を順に押す
2. 「▲」または「▼」で「PC送信設定」を選び、「セット」を押す
3. 「▲」または「▼」で「手動宛先設定1」（または「手動宛先設定2」「手動宛先設定3」）を選び、「セット」を押す
4. 送信先パソコンのIPアドレスを入力し、「セット」を押す
5. 「ストップ」を押す

画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度の選択方法

「▲」または「▼」で画質、原稿サイズ、ファイル形式、濃度を選び、「<」または「>」で設定を選びます。選択終了後、「セット」を押すと設定を完了します。選択できる設定と詳細は下記の通りです。

		スキャンto/パソコン	
画質	【選択設定】	画像	文字
原稿サイズ	【選択設定】	A4 / A5 / B5	A4
ファイル形式	【選択設定】	JPG (JPEG) / PDF	TIFF/PDF
濃度	【選択設定】	5 段階	
階調		256 階調 (モノクロ)	2 階調 (白 / 黒)
ファイル容量の目安／ 1 枚あたり (参考値) ※		約 400/260/330KB (A4 / A5 / B5)	約 40KB
送信可能枚数		最大 5 枚	

※：画質「画像」は文字と写真・絵が混在した原稿（独自）の場合、画質「文字」はA4判700字程度 of 原稿（独自）の場合のファイル容量の目安です。

ファイル容量は原稿によって異なります。

(1) 「画質」の選択

「画像」…………… 文字と写真・絵が混在している原稿に適しています。

「文字」…………… 文字の多い原稿に適しています。また、ファイル容量を小さくしたいときに有効です。

(2) 「原稿サイズ」の選択

原稿サイズによって、ファイル容量が異なります。

(3) 「ファイル形式」の選択

「画像」…………… JPG(JPEG)/PDF

「文字」…………… TIFF/PDF

・PDFを表示するには送信先のパソコンにPDFビューアが必要です。

(4) 「濃度」の選択

読み取り濃度を5段階で設定します。☞「■読み取り濃度の目安」(P.54)

(5) 送信可能枚数

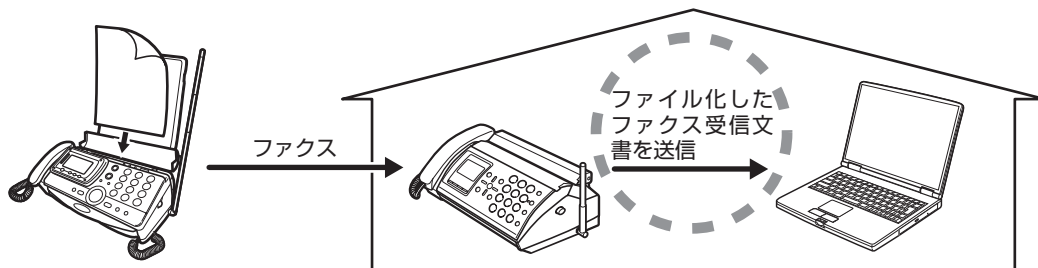
6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で原稿を追加せず、何回かに分けて送信してください。

ファクス受信文書をパソコンに保存する(ファクスtoパソコン)

ファクス受信文書をPDF形式に変換し、パソコンに送信することができます。

パソコンにユーティリティソフト(アプリケーション)をインストールすると(→P.95)、自動的にパソコンのマシン名を取得します(最大3台まで)。正常にパソコンに送信されると、ファクス受信文書はメモリから削除されます。送信に失敗したときは、1分間隔で5回再送されます。再送に失敗したとき、ファクス受信文書はメモリに残ります。

また、パソコンの電源が入っていない場合は、パソコンに電源が入りしだい転送されます。



転送先にするパソコンを設定する

- 1 **[メニュー]** **[3]** を順に押す

ファクスかんたん受信
海外通信
不達レポート

- 2 **[▲]** または **[▼]** で
「受信ファクスの扱い」を選び
[セット] を押す

メモリ文書消去
受信ファクスの扱い
ファクスtoメール転送

受信ファクスの扱い
プリント
<>で選択

- 3 **[<]** または **[>]** で
「PCへ転送」を選び
[セット] を押す

PCへ転送
転送先PC
NEC-PC
▲▼で選択

- 4 **[▲]** または **[▼]** で
保存するパソコンを選び
[セット] を押す

- 5 **[ストップ]** を押す

ご購入時の設定：プリント

受信ファクスの扱いについて

プリント : 紙にプリントする(→「電話やファクスを受ける」(P.36))

PCへ転送 : ファクス受信後にパソコンに転送する

Web閲覧 : ファクス受信文書をメモリに蓄積し、Webブラウザで見ることができる(→「パソコンで設定や閲覧をする(機能設定メニュー)」(P.106))

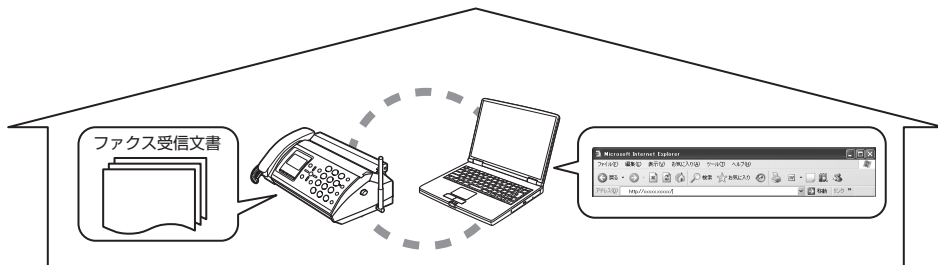
- ❶ 「PCへ転送」を設定すると、メモリの中に残っていたファクス受信文書もパソコンに転送されます。
- ❷ Web閲覧で蓄積できる記憶容量は、A4(700文字程度)の原稿で約95枚(最大10文書)です。ただし、Web閲覧だけでなく、メモリ代行受信や留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音などを含む全ての記憶容量となります。
- ❸ 転送待ち文書がある場合は、転送先を変更できません。転送を待たずに転送先を変更したい場合は、**[ストップ]** を押して転送をキャンセルし、設定し直してください。

パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）

Internet ExplorerなどのWebブラウザで、電話帳の編集や受信したファクス受信文書を見ることができます。

ユーティリティソフト（アプリケーション）をインストール後に、パソコンのタスクトレイに表示される「AddressResolver」のアイコンから操作を進めます。詳しい使いかたはネットワークガイドをご覧ください。

パソコンで設定や閲覧をする場合、推奨解像度は1024×768ピクセル以上です。



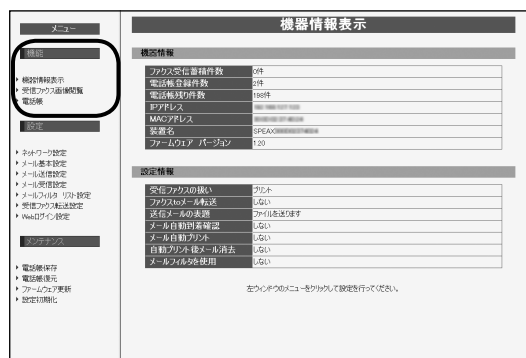
1 タスクトレイの「AddressResolver」アイコンを右クリックし、「設定」から機器を選択する

- ▶ 本機の装置名が表示されない（Not Foundと表示された）場合は：タスクトレイの「AddressResolver」アイコンを右クリックし、「更新」をクリックすると本機の装置名が表示される。
 ➡ 「■装置名を登録するには」（P.89）



2 「メニュー」の「機能」から項目を選択して操作を進める

機能：機器情報表示
 受信ファクス画像閲覧
 電話帳



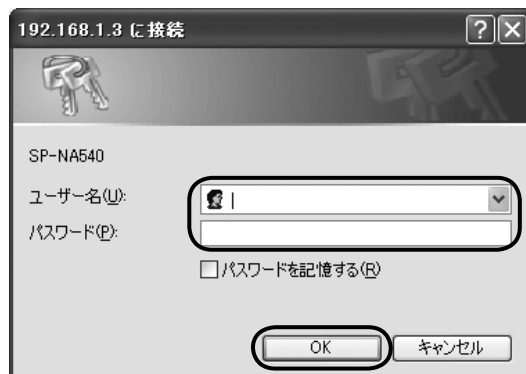
■ ログインユーザ名、ログインパスワードを設定するには

「Webログイン認証」を「する」に設定すると、右下の画面が表示されます。ご購入時、ログインユーザ名は「user」、ログインパスワードは「password」に設定されています。

1. [メニュー] [1] を順に押す
 2. [▲] または [▼] で「Webログイン設定」を選び、[セット] を押す
 3. [<] または [>] で「Webログイン認証」の「する」を選び、[セット] を押す
 4. ログインユーザ名を入力（最大半角英数字10文字）（※）し、[セット] を押す
 5. ログインパスワードを入力（最大半角英数字10文字）（※）し、[セット] を押してから [ストップ] を押す
- ※：ログインユーザ名、ログインパスワードの入力画面では、入力した文字が半角で表示されます。記号は入力できません。

- ▶ ログインユーザ名とログインパスワードを設定すると：「パソコンで設定や閲覧をする（機能設定メニュー）」（➡本ページ上）の手順1のあと、右の画面が表示されます。ログインユーザ名とログインパスワードを入力し、[OK] をクリックして手順2へ進んでください。

- ▶ 「Unauthorized」と表示された場合は：ユーザー名またはパスワードを間違えています。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。



こんなときは

困ったときは

紙づまりのとき

紙づまりが起きるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。メッセージに応じてつまった紙を取り除いてください。

ディスプレイの表示	原因／対処方法／参照先
記録紙づまり 「パネル開けて下さい」と交互に表示される。	・ 記録紙がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。 ・ 記録ローラの汚れが考えられます。記録ローラをお掃除してください。 → 「日ごろのお手入れ」(P.120)
原稿づまり	・ 原稿がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。

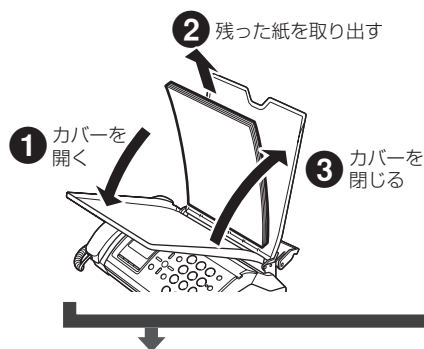
つまった紙を取り除く

- ❶ 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- ❷ 作業中は指などをはさまないように注意してください。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

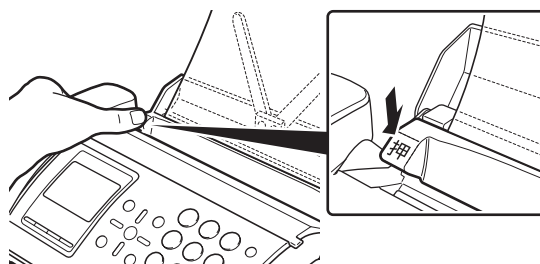
- ❶ 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ❷ 残った紙を取り出す
- ❸ 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

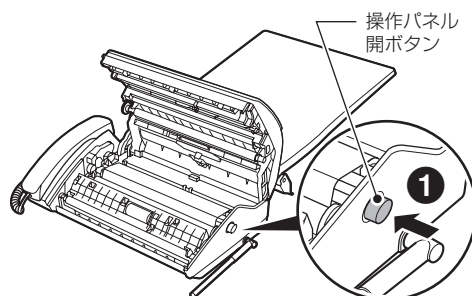
1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- ❶ 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ❷ 記録紙セットレバーから手を離す



2 つまんだ紙を取り除く

- ❶ 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
・ 確実にいっぱいまで開いてください。

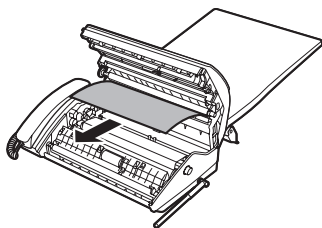


困ったときは

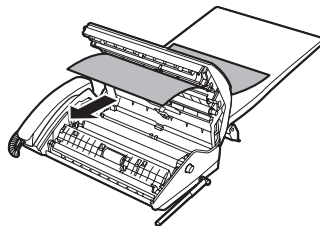
こんなときは

② つまった紙を図に示す矢印の方向にゆっくりと引き抜く

■ 記録紙がつまったとき

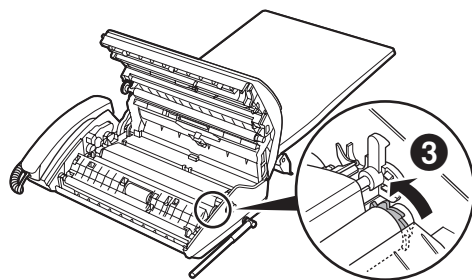


■ 原稿がつまったとき



・破れたときは紙片を残さず取り除いてください。

③ 図に示すように青色のギャを回してインクフィルムのたるみをとる



④ 操作パネルを閉じる

- ・図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
- ・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

⑤ 図に示すメッセージが表示されたら、[<] または [>] で「いいえ」を選び、[セット] を押す



⑤ インクフィルム交換？
はい / いいえ

3 記録紙を入れる

➡ 「記録紙のセット」(P.22)

つまった紙を取り除いても次のメッセージが表示されることがあります。メッセージに応じて対処してください。

ディスプレイの表示	原因／対処方法／参照先
記録紙づまり	記録ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 ➡ 「日ごろのお手入れ」(P.120)
操作パネル確認	操作パネルが完全に閉まっていません。もう一度、カチッと音がするまで閉め直してください。
ローラ清掃 「原稿づまり」と交互に表示されます。	原稿送り用ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 ➡ 「日ごろのお手入れ」(P.120)

ファクスが正常に送れない／受けられないとき

ファクスの送信中／受信中に異常があるとディスプレイにメッセージが表示されます。それぞれの状況に応じて対処してください。

ディスプレイの表示	送信中／受信中	レポートのプリント
通信異常 この他にも異常を示すメッセージがあります。	送信中	「不達レポート」がプリントされます（不達レポート ➡ P.57）。
	受信中	「通信管理レポート」をプリントしてください。 ➡ 「リストをプリントする」(P.85)

それぞれのレポートには「通信結果」を示す欄があります。レポートに記されたエラーコード（2桁の数字）からエラーコード表の「内容と対処方法」を参照し、対処してください。 ➡ 「エラーコード表」(P.86)

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機／子機ともにご利用になれません。

親機で電話帳などの登録中、各種設定の操作中、ファクスの送信中／受信、メッセージなどの録音中に停電したときは、操作を完了していない登録内容、設定値、送信内容／受信内容、メッセージ、用件は保存されません。

親機に記録された設定や情報には、停電したときに消えてしまうものと消えないものがあります。

消えない設定／情報	参照先
親機	
・メモリ代行受信したファクス受信文書	P.58
・自作の応答メッセージ	P.60
・留守番電話の用件	P.32
・保存したさかのぼり録音の内容	P.46
・通信管理レポート	P.85
・インクフィルム残量の記録	P.13
・電話帳に登録した内容	P.39
・おやすみモードの開始時刻／終了時刻	P.64
・各種設定	P.128
・印刷済みメール情報	P.100

消えてしまう設定／情報	参照先
親機	
・リダイヤルに記録された電話番号	P.38
・時計の設定	P.21
・着信データ※	P.72
・おやすみモード	P.64
・スキャンtoメールで読み取ったデータ	P.98、103
・スキャンtoパソコンで読み取ったデータ	
・ファクス、コピーの画質	

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

■ 停電から復旧したら

本機は自動的に使用できる状態に戻ります。

・本機に現在の時刻を設定してください。📖「回線種別や時刻を設定する」手順2（P.21）

■ 子機の場合

停電しても、子機の設定／情報に影響はありません。ただし、電池パックを抜くと消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。📖「■電池パックを外したあとの設定／情報」（P.119）

操作ができなくなったとき

親機または子機のボタンを押しても何も反応しないときは、次の操作をお試しください。

親機	電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込む。
子機	電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度差し込む。

❶ この操作を行うと、消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。

親機：📖「停電したとき」（本ページ上）

子機：📖「■電池パックを外したあとの設定／情報」（P.119）

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？	P.20
	“操作パネル確認”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.108
	“インクフィルム交換”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください。）	P.116
	“メモリ受信文書あり”“インクフィルム交換”と表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書がありますが、インクフィルムがないためプリントできません。まず、インクフィルムを交換してください。（インクフィルムが残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください。）次に記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.22、117
	“記録紙づまり”“パネル開けて下さい”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていますか？ 記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。 ・記録ローラを清掃してください。	P.107 P.120
	“メモリ受信文書あり”“スタート押下”と交互に表示が出た	・メモリ代行受信したファクス受信文書のプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.22、58

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	“レポートあり” “スタート押下”と交互に表示が出た	・リストやレポートのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.85 P.22
	“チャイルドロック中 解除 #を2秒押す”と表示が出た	・[#]を2秒以上押して、チャイルドロックを一時的に解除してください。	P.82
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線、受話器用コードが接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	P.20 P.28
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していないですか？	P.21 P.27
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインのサービスに加入している場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していて、ターミナルアダプタ（TA）側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P.66、77 P.77
	呼出ベルが鳴っているのに、親機で電話を受けることができない	・受話器が外れていませんか？ 受話器を親機に戻し、再度受話器をとってみてください。	—
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P.51
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.51
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の「スタート／コピー」（子機では「内線」）を押したあと「6」を押してください。	P.36、53
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.51、52
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・「電話やファクスを受ける」（☎ P.36）、「ベルが鳴る回数を変える」（🔊 P.83）をご覧ください。	—
	公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・「ベルが鳴る回数を変える」（🔊 P.83）をご覧ください。	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手先がNTT 東日本またはNTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P.66 P.55
	親機から子機を呼び出せない 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機あるいは子機の近くに無線 LAN 機器や電子レンジがありませんか？ ある場合は 3m 以上離してご使用ください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していないですか？ ・子機は充電されていますか？	P.20 P.15 P.16 P.18
	通話中に雑音が入るとき	・親機のアンテナの向きを変えてみてください。	P.15
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。 ・事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.66 P.49
	“回線確認”と表示が出た	・電話回線ケーブルが抜けていませんか？ ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.20
	受話器が温かい	・コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	—
	トーン（ブッシュ）信号の送付のしかたは？	・「ダイヤル回線でトーン信号を送る」（📞 P.52）をご覧ください。	—

	こんなときは	内容	参照ページ
電話（子機）	電話がかかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線が接続されていますか？ ・親機から離れ過ぎていませんか？ 親機に近づいてください。 ・親機または他の子機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていますか？ ・【通話】 を押ししましたか？	P.20 P.18 P.20 P.15 P.28
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？ ・子機の充電器と携帯電話の充電器が同じコンセントにつながっていますか？	P.51 P.15 P.18
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.52
	通話中に声が途切れたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に声の途切れや雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 － 親機に近づけてみてください。 － 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 － 無線 LAN 機器や電子レンジなどの電気機器から離してみてください。 － 蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 － 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。 － ダブルアクセスの設定を変更してみてください。	P.15、16 P.86
	通話中に「ピピピピッ…」という音が鳴り、  が点灯した	・電池パックの充電残量が少なくなっています。充電してください。	P.18
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P.118
	充電器に置いたとき、 【切】 が点灯しない	・充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	P.18
	“ツウワ ケンガイ” と表示が出た	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・親機から離れすぎていませんか？ 親機に近づいてください。 ・親機に近づいても、すぐに接続動作が行われない場合があります。これは 3 分ごとに接続動作を行うためです。すぐに接続したいときは 【通話】 を押してください。 ・WIFI BAND の設定を変更してみてください。	P.20 P.15 P.80
	“シヨウチュウ” と表示が出た	・親機でコピー・ファクス・スキャン to パソコン等での読取動作や、メニュー設定、電話帳登録をしていませんか？	P.28
	他のファクスの子機を本機の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P.123
ファクス（コピー）	増設子機が使えない	・増設子機を使える状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。	P.123
	子機で通話中、突然通話が切れて、親機が保留状態になる	・親機に近づけて使用してください。 ・電池パックを交換してください。	P.15 P.119
	コピーが白紙になる	・コピーする面を裏向きにして原稿をセットしましたか？	P.30
	コピー中に「ピーピーピーピー」という音が鳴った	・【ストップ】 を押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.107 P.22 P.22、107
	コピーがかすれた、うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.54
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・当社指定の記録紙を使用してください。	P.120 P.22
	コピー面の左端または右端が欠ける	・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	P.30
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラを清掃してください。	P.120
	原稿とプリント結果のサイズが違う	・原稿の厚さと表面状態の差により、送り誤差（原稿読み取りの伸び縮み）があります。 ・原稿送り用ローラが汚れていると、送り誤差がでる場合があります。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.120

	こんなときは	内容	参照ページ
ファックス(送信)	原稿をセットすると“原稿づまり”の表示が出る 原稿をセットしたのに“原稿がありません”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が本機で読み取れるサイズや厚さではありません（厚すぎる／薄すぎる／小さすぎる）。他のコピー機で普通紙にコピーしてからファクスしてください。	P.105 P.120 P.30
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.107 P.30 P.120
	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“原稿づまり”と“ローラ清掃”という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、やり直してください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。	P.104 P.120
	原稿が送られず、“相手先無応答”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。 ・相手先が番号非通知の着信を拒否している可能性があります。電話番号を通知して、もう一度送り直してください。	— P.68
	原稿が送られず、“相手先話し中”と表示が出た	・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	—
	何回送信しても“リダイヤル待ち”になる	・相手先が話し中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・電話をかけてそのまま通話中に送信してみてください。 ・「ダイヤルトーン検出」を「しない」に設定してみてください。	P.31 P.53 P.56
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手先のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	送信に時間がかかる	・画質の設定が「写真」のときは、「普通」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.54
	モーター音が大きくなることもある	・送信に時間がかかるときには、モーター音が若干大きくなる場合がありますが、故障ではありません。	P.54
	海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。電話をかけてそのまま通話中に送信した方が確実に送れます。 ・海外通信の設定をすると、エコキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.53 P.56
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？ 送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	P.30
	相手先で受信した記録がかすれた／うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	P.54
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質を変えてもう一度送り直してください。	P.31、120 P.75 P.54
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面（ガラス面）を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	P.31、120

	こんなときは	内容	参照ページ
ファックス (受信)	“少しお待ち下さい” と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	—
	“操作パネル確認” と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.108
	“インクフィルム交換” と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.117
	“記録紙ありません” と表示が出た	・プリント中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。	P.22
	“記録紙づまり” と表示が出た	・記録紙がつまっています。 ・記録ローラを清掃してください。	P.107 P.120
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、 【ストップ】 を押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・「着信ベル回数」が「8 回」以上に設定されている場合、相手先が電話をかけずにファクスを送ったときは受信できないことがあります。 ・「着信モード」を「電話専用」に設定しているときは自動受信できません。 ・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の要件でメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な要件を消去してください。	P.53 P.83 P.80 P.34
	受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・ 【ストップ】 を押すと音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P.22 P.22、107 P.117
	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を 2 枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・「受信縮小率」を「100%」に設定している場合は、記録紙が 2 枚に分かれ、2 枚目が白紙になることがあります。	P.59
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P.75 P.31
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。	P.31 P.120
	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	・A4 長を超える原稿を受信した場合、記録紙が 2 枚以上に分割されます。このとき、記録紙が 1 枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。記録紙は常に多めにセットしておいてください。	—
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は、記録紙力セット使用時は 20 枚まで、記録紙サポーター使用時は 5 枚までです。 ・記録紙を補充するときは、記録紙力セットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、ゴム板を清掃してください。	P.22 P.120

困ったときは

こんなときは

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス (受信)	記録紙が一度に複数枚送られる	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・記録紙を補充するときは、記録紙力セットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取りだし、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・ゴム板を清掃してください。	P.22 P.120
	プリントした記録紙が汚れるとき	・記録ローラを清掃してください。	P.120
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・応答メッセージやさかのぼり録音、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ代行受信ができません。不要な用件などを消去してください。メモリ内にファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.34、58
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	・本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 － 不要な用件を消去する － メモリ代行受信したファクス受信文書をプリントする － メモリ内の不要なファクス受信文書を消去する	P.34 P.58
	海外からの受信ができない	・国によっては著しく回線状態が悪い場合があります、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	P.32
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るとき機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	—
	ファクスかんたん受信ができない	・「ファクスかんたん受信」が「する」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などありませんか？ ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の[スタート/コピー]を押してください。子機では[内線]を押したあとに[6]を押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。	P.57 P.36
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・「受信縮小率」を「93%」、「90%」、「85%」に設定していませんか？	P.59
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	P.58
	子機で受けたときのファクスの受信方法は？	・[内線]を押したあとに[6]を押してください。 ・さかのぼり録音中のときは、録音を終了（[メニュー]を押し、[▲]または[▼]で「ロクオン シュウリョウ」を選び、[メニュー]を押す）させてから、[内線][6]を押してください。	P.53 P.48
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.34、58
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバ」を「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.63
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.52

	こんなときは	内容	参照ページ
留守番電話	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・「着信ベル回数」を「7 回」以下に設定してください。	P.83
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしていますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作」を「する」に設定していますか？	P.32 P.61
	留守電ケータイ転送は 6 秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.63
	応答メッセージが流れない	・着信中に【留守】を押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 ・おやすみモードになっていませんか？	P.33 P.64
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・「キャッチホン」(P.75)をご覧ください。	—
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使用できません。	P.77
	ダイヤルインサービスを利用しているが、留守電ケータイ転送はできるか？	・留守電ケータイ転送はご利用になれます。	—
	NTT 東日本または NTT 西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・「着信ベル回数」を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.83
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親機に近づけてみてください。 ・子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出ていませんか？ ・着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。	P.15 P.68、71
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホーンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	—
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・「IP 電話機能付き ADSL モデムに接続したときの注意」(P.27) をご覧ください。	—
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本機とパソコンを離して置いてみてください。	P.15
その他	“原稿づまり”と表示されるが、原稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.107
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は「文字入力について」(P.132) に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	—
	さかのぼり録音ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ代行受信したファクス受信文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.34、58
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P.20 P.17
	引越などで電話番号が変更になったときは？	・回線種別の設定が合っているか確認してください。 ・回線付加サービスに加入している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 ・親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。	P.21 P.25 P.55
	操作を間違えた	親機は【ストップ】を、子機は【切】を押し、操作や設定をキャンセルします。	—

	こんなときは	内容	参照ページ
ネットワーク機能	ネットワーク通信がうまくいかない	・本機を含めたルータに接続されている機器全てを、DHCP を使用「する」に設定して使用することを推奨いたします。 ・ルータや他の機器を含めたネットワークの設定を再度ご確認ください。	P.88
	IMAP4 はサポートしているか？	・メール受信は POP3 のみ対応しています。IMAP4 はサポートしていません。	P.90
	通信エラー XXXXX と表示された	・エラー番号表をご覧ください	P.89
	添付ファイルなしのメールプリントで「添付ファイルは印刷することができませんでした」が印刷される	・メールの送り主のメールソフトが、本機で対応していない形式のファイルを、自動的に添付することがあるため、メール送り元で添付ファイルをつけていないにもかかわらず、このメッセージがプリントされることがあります。 ・メールの送り元が対応していない形式のファイルを自動的に添付しているため、このような症状が出ます。	P.100
	セーフモードと表示されている	・ファームウェア更新に失敗したか、メモリに異常が発生しています。ネットワークガイドを参照し、ファームウェア更新を行ってください。	P.97
	固定 IP アドレスに設定していて「本機の登録／設定を出荷時に戻す」を実行したい	・LAN ケーブルを一旦抜いてから「出荷時に戻す」を実行し、再度ネットワーク設定をしてから LAN ケーブルを接続することをおすすめします。	P.26、 88、123
	固定 IP アドレスに設定していて、機能設定メニュー上の「設定初期化」を実行したい	・設定初期化により、DHCP を使用「する」に設定されるため、ブラウザへのアクセスが不可能になる可能性があります。 アクセス中のブラウザを閉じ、本機でネットワーク設定を再度行ってください。	P.88
	パソコンの名称が正しく表示されない	・パソコンの名称は半角英数字のみ対応しています。全角文字の場合、正しく表示されません。	—
	「メール本文が見つからないため、印刷できませんでした」が表示される	・相手先が HTML 形式でメール送信したり、本文を入力せずにメール送信すると、相手先のメーラによっては本機でメール本文をプリントできません。 相手先に、テキスト形式にして送り返してもらい、本文を入力して送り返してもらい、パソコンでメールを受信する等をお試しください。	—
	本文が空白となって印刷される	・相手先が HTML 形式でメール送信したり、本文を入力せずにメール送信すると、相手先のメーラによっては本機でメール本文をプリントできません。 相手先に、テキスト形式にして送り返してもらい、本文を入力して送り返してもらい、パソコンでメールを受信する等をお試しください。	—
	POP3 ユーザ名、POP3 サーバ名を変更し、元に戻したが元の設定の印刷済みメール情報が消えてしまった	・POP3 ユーザ名、POP3 サーバ名を変更すると、もとの設定のときの既読情報は失われます。ユーザ名やサーバ名をもとに戻しても印刷済みメール情報は戻りません。	—
	メール表題が文字化けしたり、メール to プリントが正常に動作しない	・本機で対応している文字コードは「JIS」等、一部の文字コードのみです。その他の文字コードでエンコードされたメールや、携帯電話の絵文字には対応していません。	—
	“メールがあります” “スタート押下” と交互に表示が出た	・メールのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.22、 100
	メール to プリントで印刷可能なファイルは？	・PDF、JPEG、TIFF です。ただし、一部印刷できないものもあります。	P.100
	ファクス to パソコンで、転送先のパソコンが自動で見つからない	・本機を含めたルータに接続されている機器全てを、DHCP を使用「する」に設定して使用することを推奨いたします。 ・ルータや他の機器を含めたネットワークの設定を再度ご確認ください。	P.88

お手入れのしかた

インクフィルムを交換する

インクフィルムがなくなるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。また、「インクフィルム残量」の表示を見るとおよその残量がわかります。メッセージに応じてインクフィルムを交換してください。

ディスプレイの表示



インクフィルム残量

インクフィルム交換

フィルム: SP-FA530

フィルム: SP-FA524S

または

「ディスプレイの見かた」(P.13)

印刷できる枚数(インクフィルム1本、記録紙サイズA4の場合)

テスト用インクフィルム(付属): 約15枚

交換用インクフィルム(別売り)

型名 SP-FA524S (24m): 約75枚

SP-FA530 (30m): 約95枚

① 当社製のインクフィルム以外はお使いになれません。

① 次のインクフィルムは当社の製品ですが本機にはお使いになれません。

・ SIF-A4040 ・ SIF-A4030T ・ SP-FA430

① 指定のインクフィルムをお使いにならないと、きれいな印字ができないことがあります。また、故障の原因になることがあります。

① インクフィルムがない状態で操作パネルを閉じると、「パチッ」という音がする場合があります。これは内部のギヤのかみ合いの音です。インクフィルムがないまま操作パネルの開閉を続けると、故障の原因となることがあります。

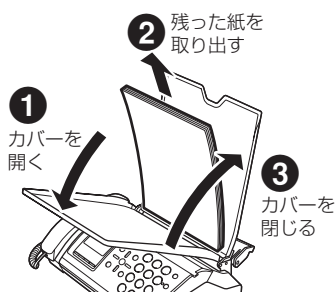
① 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。

① 作業中は指などはさまないように注意してください。

■ 記録紙カセットを使用している場合

1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

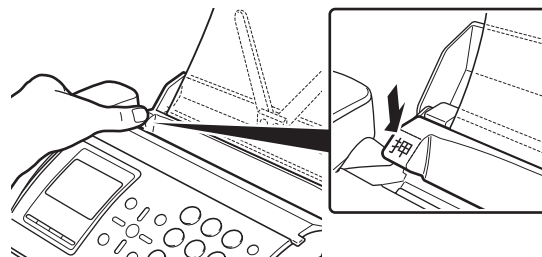
- ① 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ② 残った紙を取り出す
- ③ 記録紙カバーを閉じる



■ 記録紙サポーターを使用している場合

1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

- ① 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ② 記録紙セットレバーから手を離す



2 インクフィルムを交換する

- ① 操作パネル開ボタンを押し、図のように操作パネルを開く
・ 確実にいっぱいまで開いてください。
- ② 使用済みのインクフィルム(巻き取られたインクフィルムとカラになった白色の棒の2本)を取り出す
・ サーマルヘッドの両端にある金属部分には手を触れないでください。



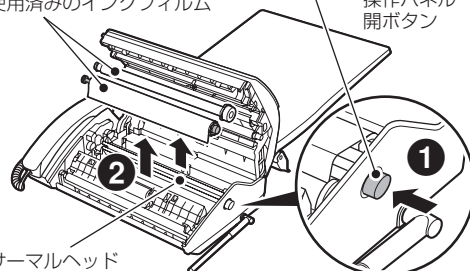
高温注意

サーマルヘッドやその周辺には手を触れないでください。高温でやけどすることがあります。

使用済みのインクフィルム

操作パネル開ボタン

サーマルヘッド

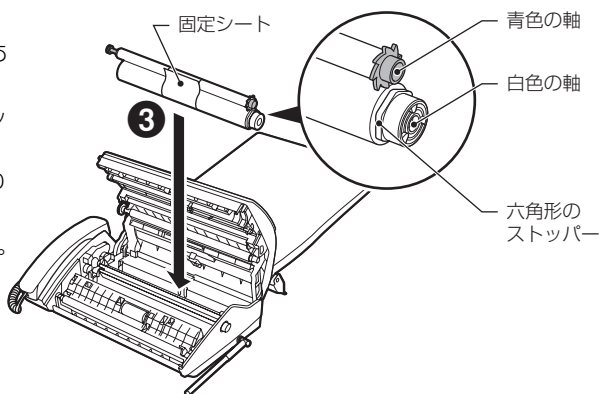


お手入れのしかた

こんなときは

③ 新しいインクフィルムを入れる

- ・ 固定シートをつけたまま図のように本機の奥にある溝に入れます。
- ・ 白色の軸のロールを下側にして、六角形のストッパーがある方を右側にします。
- ・ 六角形のストッパーが、本機の取付部にしっかりとハマっていることを確かめてください。
- ・ 白色の軸の左側もしっかり取り付けてください。

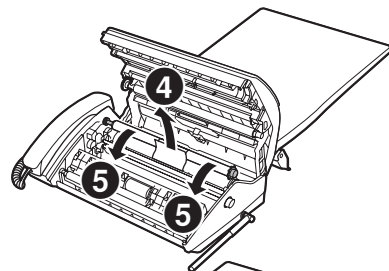


④ インクフィルムの固定シートをはがす

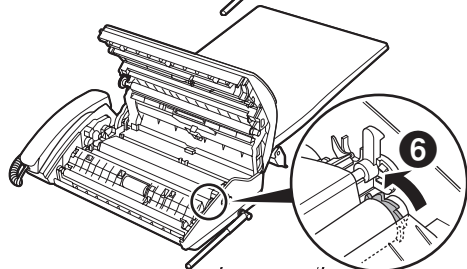
- ・ 接着された部分をはがし、図に示す矢印の方向に抜き取ります。

⑤ 青色の軸をセットする

- ・ 青色の軸を持ってインクフィルムを少し引き出し、そのまま青色の軸を本機の手前にある溝にセットします。

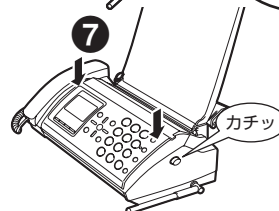


⑥ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる



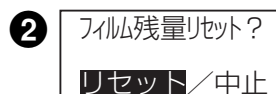
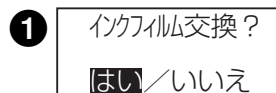
⑦ 操作パネルをゆっくり閉じる

- ・ 図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
- ・ 手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。



3 インクフィルムの残量表示をリセットする

- ① 図に示すメッセージが表示されたら、[セッ]を押す
・ 「はい」を選ばないとインクフィルム残量が正しく表示されません。
- ② 図に示すメッセージが表示されたら、[セッ]を押す
・ リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。



4 記録紙を入れる

📄 「記録紙のセット」(P.22)

- ① 新しいインクフィルムを取り付けたときは、インクフィルム残量をリセットします(手順3)。リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。使用中のフィルムを入れ直したときは、リセットしなければもとの残量を表示できます。
- ① インクフィルムは、廃棄するときを除いて分解しないでください。
- ① 巻き戻したインクフィルムはお使いにならないでください。きれいに印字できなかったり故障の原因になることがあります。

■ 使用済みのインクフィルムの処分

- ・ 使用済みのインクフィルムにはプリントした内容が残ります。内容を見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- ・ お住まいの地域で定められたゴミの分別ルールに従って処分してください。
フィルム：ポリエステル 芯：ポリスチレン、ポリアセタール、ABS樹脂

子機の電池パックを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、電池パックを交換してください。

■ 電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となる場合があります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

■ 電池パックのリサイクルについて



電池パックにはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池パックや、本機を廃棄する際に取り出した電池パックは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へお持ちください。

Ni-MH

- 「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記をお願いします。
 - ・ 本機または電池パックをお買い上げいただいた販売店
 - ・ 「(社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局（(社)電池工業会ホームページ <http://www.baj.or.jp/>（平成19年9月現在）をご参照ください）

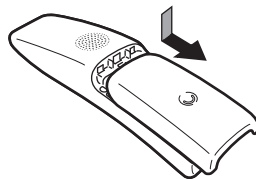
交換用の電池パックは本機を購入された販売店にお問い合わせください。

ニッケル水素電池 3.6V 600mAh
型名： SP-D3

- ❶ 必ず指定の電池パックをお使いください。
- ❷ 電池パックを外すと消えてしまう情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。➡「■電池パックを外したあとの設定／情報」（本ページ下）
- ❸ 電池パックのコードは強く引っ張らないでください。また電池カバーを取り付けるときに、はさまないでください。
- ❹ 電池パックが入っていない子機を充電器に置かないでください。

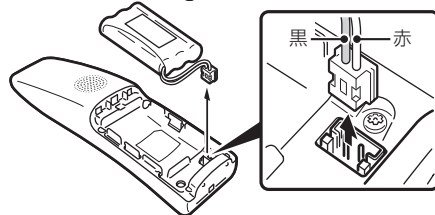
1 電池カバーをあける

図のように電池カバーを下に押しながら手前に引きまします。



2 古い電池パックを取り出す

コネクタをまっすぐ上に引き抜きます。



3 新しい電池パックを取り付け、電池カバーを取り付ける

➡「子機を組み立てる」（P.17）

- ❶ 新しい電池パックは充電されていません。子機に入れたあとに充電してください（約10時間）。➡「子機を充電する」（P.18）

■ 電池パックを外したあとの設定／情報

消えてしまう設定／情報	参照先	消えない設定／情報	参照先
・ 着信データ※ ・ リダイヤルに記録された電話番号 ・ 時計	P.72 P.38 P.18	・ 電話帳に登録した内容 ・ 各種設定	P.42 —

※：ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

日ごろのお手入れ

本機を良好な状態でお使いになるためには、定期的に外装や内部をお掃除してください。

- ❶ お手入れの前には電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くと消えてしまう設定や情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。→「停電したとき」(P.109)

親機／子機の外装のお掃除

うすめた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞ってから、本機の表面の汚れを拭き取ってください。そのあとは、乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きをするときは布を固く絞ってから拭いてください。

- ❶ ペンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機内部のお掃除（原稿送り用ローラ／記録ローラ／ゴム板／インクフィルム押さえ部／原稿読み取り部）

こんなときにお掃除してください	お掃除する箇所	お掃除の周期
原稿が送れない	原稿送り用ローラ	月に1度ぐらい
記録紙がうまく送れない	記録ローラ、ゴム板	
プリントした記録紙が汚れる	記録ローラ、インクフィルム押さえ部	記録紙が汚れるとき
コピーや相手先の記録紙に汚れが写る	原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）	月に1度ぐらい

- ❶ 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
❶ 作業中は指などをはさまないように注意してください。

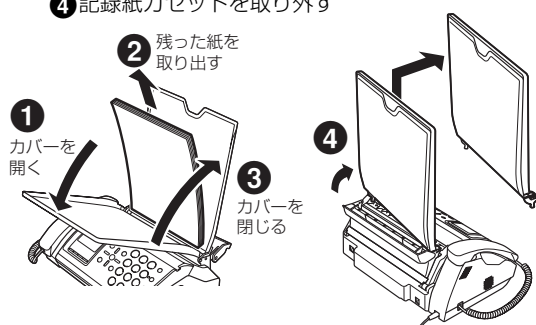
1 電源プラグをコンセントから抜き、電話回線ケーブルを本機から抜く

→「親機の接続」(P.19)

■記録紙カセットを使用している場合

2 記録紙カセットに残った紙を取り出し、記録紙カセットを取り外す

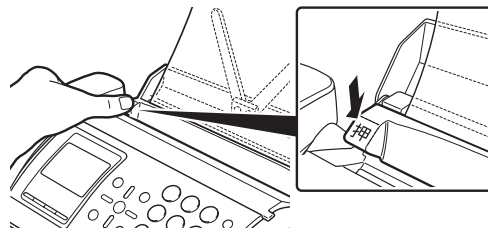
- ❶ 記録紙カバーを開き、手前にたおす
- ❷ 残った紙を取り出す
- ❸ 記録紙カバーを閉じる
- ❹ 記録紙カセットを取り外す



■記録紙サポーターを使用している場合

2 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

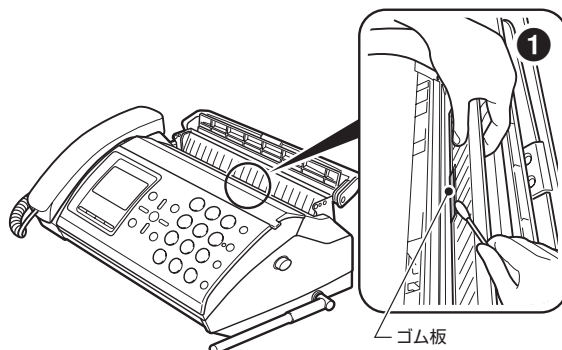
- ❶ 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
- ❷ 記録紙セットレバーから手を離す



3 ゴム板を掃除する

片方だけ水に浸した綿棒を用意してください。

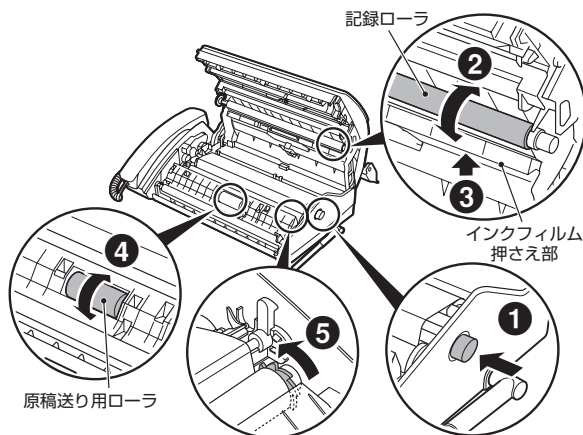
- ❶ ゴム板が付いている部分を図のように指で開く
- ❷ ゴム板部分にできた隙間に綿棒を差し込んで、ゴム板を拭く
・綿棒の水に浸した方でゴム板の汚れを拭き取ったあと、乾いた側で水分を拭き取ります。



4 ローラ、インクフィルム押さえ部を掃除する

水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。

- ① 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
・ 確実にいっぱいまで開いてください。
- ② 記録ローラを拭く
- ③ インクフィルム押さえ部を拭く
- ④ 原稿送り用ローラを拭く
- ⑤ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみを取る



5 原稿読み取り部を掃除する

- ① 白色のローラの右端にある緑色のレバーを図に示す矢印の方向に起こす
・ 原稿読み取り部の右側が白色のローラから少し離れます。

原稿読み取り部の左端を固定している白色の突起を左手の指で押し下げる
・ 原稿読み取り面と白色のローラの掃除が終わるまで押し下げたままにします。

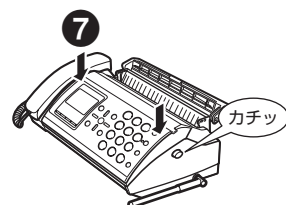
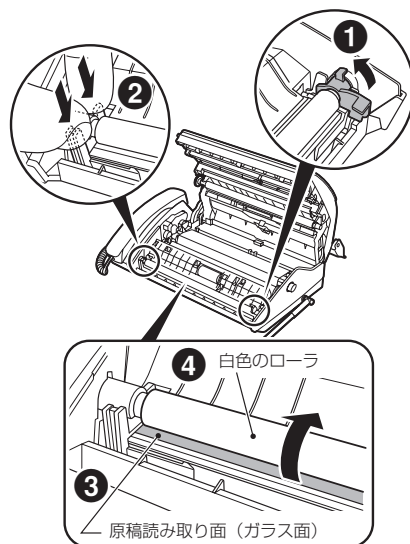
- ③ 原稿読み取り面（ガラス面）を柔らかい布または綿棒で拭く
・ 白色のローラとの間にできた隙間に布を差し込んで拭きます。
- ④ 白色のローラを拭く
・ 水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。
・ 矢印と反対の方向に回すと、緑色のレバーが倒れてしまうことがあります。

- ⑤ 白色の突起から左手を離し、緑色のレバーをもとに戻す（倒す）

- ⑥ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみを取る

→ 手順4-5（本ページ上）

- ⑦ 操作パネルを閉じる
・ 左右の端を上の方から、「カチッ」と音がするまで押さえます。
・ 手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。



6 記録紙カセットを設置、または記録紙サポーターを起こし、回線や電源をもと通りに接続する

→ 「親機の接続」(P.19)

7 記録紙を入れる

→ 「記録紙のセット」(P.22)

インクフィルム／記録紙の保管

品質の劣化したインクフィルムや記録紙をお使いになると、きれいにプリントできなったり故障の原因になったりします。インクフィルムや記録紙の保管には次のことをお守りください。

■ インクフィルム（本機にセットする前のもの）

- ・ 直射日光があたる場所を避け、袋に入れて気温が0～35℃の場所に保管してください。
- ・ 結露があるインクフィルムは乾燥させてからお使いください。

■ 記録紙

- ・ 湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
- ・ 本機の記録紙カセットに長期間セットしたままにしないでください。

修理・保守／増設／廃棄

お客様ご相談窓口のご案内

ご不明な点・故障と思われるときのご相談

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの

【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

修理・保守のご相談

消耗品	型名	仕様
インクフィルム	SP-FA530	A4サイズ 30m
	SP-FA524S	A4サイズ（セキュリティ強化タイプ） 24m ※ 使用済みインクフィルムの抜けあとが、見えにくくなります（当社従来品比）。
電池パック	SP-D3	コードレス子機用 ニッケル水素電池
記録紙	FAX A4×100	FUJIFILM ファクス用普通紙（熱転写用紙） A4×100枚 ※ 一般のコピー用紙もお使いいただけます。ただし、本機を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。 オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙） サイズ ：A4 厚さ ：0.08mm～0.1mm （500枚包でおおよそ40mm～50mmの厚さ） （この取扱説明書の本ページの厚さが約0.08mmです）

オプション品	型名	仕様
増設コードレス電話機セット	SP-ZD51（S）	子機増設用 色：シルバー カナ表示

子機を増設するとき

増設する子機は、本機をご購入いただいた販売店でお求めください。

お求めの際は、必ず子機の型名をご指定ください。📖「消耗品・オプション品のご案内」（P.122）

❶ 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で3台です。📖「はじめに」（P.2）

❷ 増設子機を使える状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。詳しくは増設子機に同梱されている説明書をご確認ください。

本機の登録／設定を出荷時に戻したいとき

本機を廃棄、譲渡などで手放す際は、本機に登録、記録されたお客様の大事な情報を、全て消去することをおすすめします。登録、記録された情報を全て消去し、ご購入時の設定に戻すには次の操作をします。

❶ 通話中は操作できません。

親機

1 [メニュー] [0] を順に押す

出荷時へ戻す

実行／中止

2 [<] または [>] で
「実行」を選び
[セット] を押す

少しお待ち下さい

▶ 中止するときは：[中止] を選び、[セット] を押す。

3 この後、本機を使わないときは
右のメッセージが表示されてから
電源プラグを抜く

出荷時へ
戻しました

❶ 電源に接続したまましばらくすると、本機が再起動されます。このとき、次のメッセージが表示されます。
「再起動します」

子機

1 [メニュー] を押す

メニュー
デフォルトウケ

▶ [通話] が点灯しているときは：
[切] を押してから [メニュー] を押す。

2 [▲] または [▼] で
「シュッカジヘモドス」を選び
[メニュー] を押す

メニュー
シュッカジヘモドス
ジッコ シマスカ?
ハイ

3 [メニュー] を押す

ジッコ シマシタ

▶ 中止するときは：「イエエ」を選び、[メニュー] を押す。

主な仕様

ファクス

原稿サイズ	最大：210（幅）× 600（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙 ・ A4 サイズ（210 × 297mm） ・ 厚さ 0.08 ～ 0.1mm
記憶容量※ 1	A4（700 文字程度）の原稿で約 95 枚（最大 10 文書）
有効読取幅	208mm
有効記録幅	205mm
読取方式	CIS による原稿移動型平面走査
走査線密度	主走査 8 ドット/mm 副走査 小さい：7.7 line/mm 普通：3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400bps
電送時間※ 2	G3：約 27 秒 ECM：約 15 秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・ 一般電話回線 ・ モデムダイヤルイン回線 ・ NCC 回線
自動受信	有（電話／ファクス自動切替機能内蔵）
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待機時：約 3.8W 送信時：約 16W（標準的原稿） 受信時：約 17W（標準的原稿） コピー時：約 26W（標準的原稿） 最大時：約 120W
直流抵抗	110 Ω（20mA）
外形寸法 （アンテナな どの突起部を 除く）	約 297（幅）× 224（奥行）× 111（高さ）mm 約 297（幅）× 224（奥行）× 207（高さ）mm（記録紙サポーター使用時） 約 297（幅）× 226（奥行）× 365（高さ）mm（記録紙カセット使用時）
質量	約 3.0kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5 ～ 35℃ 湿度：35 ～ 85%
推奨環境	温度：15 ～ 30℃ 湿度：35 ～ 70%

① 本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

② 本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（☎ P.122）。

※1：記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音、メモリ代行受信などを含む全ての記憶容量となります。

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約 100m
使用周波数帯	2.4～2.4835GHz
〈子機〉	
電源	DC 3.6V（専用ニッケル水素電池使用）
電池充電時間	約 10 時間
電池持続時間	連続待受時：約 300 時間※3 連続通話時：約 6 時間※4
外形寸法	約 44（幅）× 34（奥行）× 159（高さ）mm
質量	約 130g（電池パックを含む）
〈子機充電器〉	
外形寸法	約 87（幅）× 87（奥行）× 43（高さ）mm
質量	約 130g（電源コード含む）
消費電力	約 1.0W（充電時）／約 0.3W（充電器のみ）
電源	AC 100V 50/60Hz

① 充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1 件につき 3 分
合計録音時間	約 45 分
最大録音件数	30 件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

ネットワーク

インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
通信プロトコル	TCP/IP,SMTP,POP3,HTTP,DHCP,DNS
利用可能OS	Windows®XP 日本語版（Windows®XP Professional x64 Editionは除く） ／ Windows Vista® 正規版（日本語版） （Windows Vista®x64 Editionは除く）
対応ブラウザ	Windows® Internet Explorer® Ver.6.0以上

※2：電送時間は、A4版700文字程度 of 原稿を画質モード「普通」（8×3.85line/mm）、通信速度9600bpsで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線の状態により変化します。

※3：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。また、親機の電源がオフのときも短くなります。

※4：ダブルアクセス（☎ P.86）を「OFF」に設定した場合の連続通話時間です。「ON」に設定した場合は約4時間、「AUTO」にした場合は約4～6時間になります。

操作早わかりガイド

親機

 : 受話器をとる  : 受話器を戻す ○ : ボタンを押す

電話	
電話をかける	 → 相手先番号 → 通話 → 
オンフックでかける	オンフックキャッチ ○ → 相手先番号 →  → 通話 → 
リダイヤルする	 →  → 相手先を選ぶ →  → 通話 → 
電話を受ける	着信音 (ベル) →  → 通話 → 
保留にする	通話中 → ○ → 
電話に戻る	保留中 →  → 通話
子機で話す	保留中 →  → 通話 → 子機で通話 →  または ○
転送子機へ	外線と通話中 → 保留/内線 ○ → 内線番号* → 転送を伝える →  ・子機が出ないときは [保留/内線] ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 →  → 通話 → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	保留/内線 ○ → 内線番号* →  → 子機と通話 → 
〈子機〉	親機からの呼出 →  → 通話 → 親機と通話 →  または ○
電話帳でかける	 →  → 相手先を選ぶ →  → 通話 → 
さかのぼり録音	通話中に操作する 外線と通話中 →  →  電話を切ってから操作する  → 保持時間内に ○
録音内容を聞く	再生 →  ストップ ・外線と通話中に [再生] を押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

電話	
迷惑電話お断り	着信があった通話のとき →  → 
ベル音量	待受中 →  → 切 → 1 ~ 6 → ステップアップ
音量調整	モニタスピーカ音量 オンフックキャッチ ○ →  → 切 → 小 → 中 → 大
受話音量	通話中 →  → 小 → 中 → 大
トーン信号を送る	電話をかける →  以後のダイヤルはトーン (プッシュ) 信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「ブルル・ブッブ」 →  → 次の人と通話 最初の人と通話 ←  オンフックキャッチ
チャイルドロックの一時解除	 2秒以上押す

ファクス/コピー	
送信	原稿セット → 相手先電話番号 → ○ スタート/コピー
電話帳で送信	原稿セット →  →  相手先を選ぶ →  スタート/コピー
手動送信	原稿セット →  → 相手先番号 → 通話 →  → 相手先が受信操作 → ○ →  スタート/コピー
手動受信	かんたん受信「する」 着信音 (ベル) →  → 「ポーポーポー」 → 「ファクシミリを受信します…」 →  かんたん受信「しない」 着信音 (ベル) →  → 「ポーポーポー」 → ○ →  スタート/コピー 通話してから受信する 通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポーポーポー」 → ○ →  スタート/コピー
コピー	原稿セット → ○ → ○ スタート/コピー

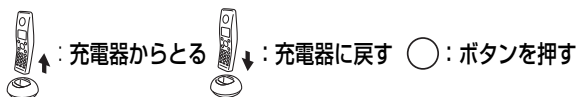
*内線番号
・親機……………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4
・全ての子機を一齐に呼ぶとき… [*]
(子機を2台以上使用している場合)

**SP-NA540Wでは内線3も付属の子機となります。

留守番		
留守の設定/解除		留守
用件の再生	再生 → 再生	※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと「消去」を押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 → 消去	
おやすみモードの設定/解除		おやすみ

ネットワーク機能	
スキャンした画像をメール送信する	原稿セット → → 相手先を選ぶ → → メニュー → → モード※を選ぶ → → → スタートコピー ※：「画質」「原稿サイズ」「ファイル形式」「濃度」を選択できます。
メール到着確認	メール → → 「メール到着確認」を選ぶ → → → プリントするメールを選ぶ → → → 「プリント（全部）」または「プリント（本文）」を選ぶ → → → （プリント済みメールを消去しない場合は、「セット」を押す前に「<」または「>」で「中止」を選んでください。）
メール一括印刷	メール → → 「メール一括印刷」を選ぶ →

子機



クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると「通話」を押さずに相手先と話すことができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、「通話」を押して相手先と話すことができます。

（本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。）

電話	
電話をかける	→ 通話 → 相手先番号 → 通話 → または 切
オンフックでかける	（オンフック） → 相手先番号 → （オンフック） → 通話 → または 切
リダイヤルする	→ 通話 → 通話 → 相手先を選ぶ → 通話 → または 切
電話を受ける	着信音（ベル） → → 通話 → 通話 → または 切
保留にする	通話中 → 保留 消話 → または 切
電話に戻る	保留中 → → 通話 → 通話
親機で話す	保留中 → → 親機で通話
迷惑電話お断り	着信があった通話のとき → メニュー → → 「オコトワリ」を選ぶ →
転送	外線と通話中 → 内線 → 1 ア → 転送を伝える → または 切 ・親機が出ないときは「内線」を押し、外線通話に戻ります。 〈親機〉 子機からの呼出 → → 子機と通話 → 外線と通話 他の子機へ 外線と通話中 → 内線 → 内線*番号 → 転送を伝える → または 切 ・子機が出ないときは「内線」を押し、外線通話に戻ります。 〈子機〉 子機からの呼出 → → 通話 → 転送を受ける → 外線と通話

*内線番号

- ・親機……………内線1
- ・付属の子機…内線2
- ・増設子機………1台目：内線3**、2台目：内線4
- ・全ての子機を一斉に呼ぶとき…[*]
- （子機を2台以上使用している場合）

**SP-NA540Wでは内線3も付属の子機となります。

電話	
内線通話 親機へ	
〈親機〉	
他の子機へ	
〈子機〉	
電話帳でかける	
すばやく探してかける	
さかのぼり録音	
音量調整	ベル音量
モニタスピーカ音量	
トーン信号を送る	
キャッチホンの利用	
チャイルドロックの一時解除	

*内線番号 親機……内線1 付属の子機……内線2
 ・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4
 ・全ての子機を一斉に呼ぶとき…[*] (子機を2台以上使用している場合)
 **SP-NA540Wでは内線3も付属の子機となります。

ファクス	
手動受信 かんたん受信「する」	
かんたん受信「しない」	
通話してから受信する	

留守番	
設定	
解除	
用件の再生	
早送り	
巻き戻し	
再生中の用件を消去	
聞き終えた用件を一度に消去	

「リモコンソウサ」の選びかた

外出先からの操作 (外線リモート)	
本機に電話をかける	
操作コード	

機能設定／登録早見表

〈手順〉

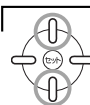
メインメニュー選択

機能メニュー選択

設定／登録

メニュー

ダイヤルボタン



セット

操作

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録 (はお買い上げ時の状態です)	参照ページ
① 初期設定	日付・時刻	年月日と時刻の設定	P.22
	回線種別	PB、 DP、自動回線選択	P.21
	表示濃度	■□□□、■■□□、 ■■■□、■■■■□、■■■■■	P.81
	自分の電話番号	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	P.55
	発信元記録	する、しない	P.56
	発信元登録	自分の名前（最大40文字）を登録する	P.55
	キータッチトーン	する、しない	P.81
	チャイルドロック	する、 しない	P.82
	Web ログイン設定	する、 しない、ログインユーザ名（最大半角英数字10文字： user）、ログインパスワード（最大半角英数字10文字： password）	P.106
② 電話機能	ベル音・メロディ	ベル（標準）、ベル（鳴り分け）、メロディ（A～C）	P.83
	着信モード	電話／ファクス切替、ファクス専用、電話専用	P.80
	着信ベル回数	0～19回、 6回	P.83
	呼出ベル回数	1～19回、 10回	P.84
	ケータイお得ダイヤル	する、 しない、事業者識別番号（最大10桁）の登録	P.49
	IP電話解除	する、 しない、IP電話解除番号（最大16桁）の登録	P.49
	保留メロディ	聖者の行進、茶色の小瓶	P.84
	電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	P.41
	WIFI BAND	設定1、 設定2、設定3、設定4	P.80
③ ファクス機能	ファクスかんたん受信	する、しない	P.57
	海外通信	する、 しない	P.56
	不達レポート	する、しない	P.57
	受信縮小率	85%、90%、 93%、100%	P.59
	分割記録	する、しない	P.59
	ダイヤルトーン検出	する、 しない	P.56
	メモリ文書消去	メモリ代行受信したファクス受信文書を消去する	P.58
	受信ファクスの扱い	プリント、PCへ転送、Web閲覧	P.105
		以下は受信ファクスの扱いを「PC転送」に設定した場合のみ	
		転送先にするパソコンを設定する	P.105
	ファクスtoメール転送	する、 しない	P.102
	転送先メールアドレス	転送先のメールアドレス（最大英数字／記号50文字）を登録する	P.102
④ 留守番電話機能	全用件消去	全ての用件を消去する	P.60
	応答メッセージ録音	応答メッセージの録音（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	P.60
	応答メッセージ消去	応答メッセージの消去（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	P.61
	トールセイバ	する、 しない	P.63
	リモート操作	する、 しない、リモートパスワード（4桁）の登録	P.61
	留守電ケータイ転送	する、 しない、転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）	P.63

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録 (はお買い上げ時の状態です)	参照ページ
④ 4番	留守番電話機能	おやすみタイム切替	おやすみ開始タイム：する、 しない、おやすみ開始時刻の設定 おやすみ終了タイム：する、 しない、おやすみ終了時刻の設定	P.65
		さかのぼり録音	する、しない、保持時間の設定 (0分、5分、無制限)、 自動録音モード1 (しない、みんな録音、非通知録音)、 自動録音モード2 (しない、迷惑電話録音)	P.46
⑤ 5番	ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	する、しない	P.66
		以下はナンバー・ディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
		鳴分&プライベートコール	着信鳴り分け指定 (指定なし、ベル (標準)、 ベル (鳴り分け)、メロディ (A~C))、 プライベートコール指定 (すべて、内線番号*)	P.68
		とくていコール	する、 しない 電話帳設定： 電話帳すべて、電話帳個別 公衆・圏外設定： なし、公衆電話、表示圏外、公衆&圏外	P.69
		番号リクエスト	する、 しない	P.70
		着信拒否	する、しない	P.71
		公衆電話	する、 しない	P.71
		表示圏外	する、 しない	P.71
		着信拒否リスト設定	着信拒否リスト (最大 20 件) の登録、確認	P.71
		応答メッセージ選択	する、 しない	P.68
		キャッチホン	する、 しない	P.75
		ダイヤルイン	する、 しない	P.77
		以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ		
		ファクス専用 (する、 しない)、 ファクスと親機の番号 (4桁) の登録、 共通鳴動 (する、 しない)、 子機用番号 (4桁) の登録		P.77
⑥ 6番	リストプリント	電話番号リスト	親機の電話番号リストをプリントする	P.85
		着信データリスト	親機に記録された着信データをプリントする	P.85
		システムリスト	各種設定内容をプリントする	P.85
		通信管理レポート	通信管理レポートをプリントする	P.85
		メールアドレス リスト	メールアドレスリストをプリントする	P.85
⑦ 7番	ネットワーク機能	IPアドレス設定		P.88
		DHCPを使用	する、しない	P.88
		以下はDHCPを使用「する」に設定した場合のみ		
		DNS設定	手動、 自動	P.88
		以下はDNS設定を「手動」に設定した場合のみ		
		DNSサーバ1、DNSサーバ2のアドレスを設定する		P.88
		以下はDHCPを使用「しない」に設定した場合のみ		
		本機のIPアドレスを設定する、 サブネットマスクを設定する、 ゲートウェイを設定する、 DNSサーバ1、DNSサーバ2のアドレスを設定する		P.88
		IPアドレス表示	IPアドレスを表示する	P.89
		MACアドレス表示	MACアドレスを表示する	P.89

* 内線番号 ・ 親機……………内線 1
・ 付属の子機…内線 2
・ 増設子機……1 台目：内線 3**、2 台目：内線 4
**SP-NA540W では内線 3 も付属の子機となります。

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録 (はお買い上げ時の状態です)	参照ページ
⑦ 7 E-POP	ネットワーク機能	装置名	装置名 (最大英数字／記号20文字) を変更する	P.89
		PC送信設定	送信先のパソコンを手動で設定する (3件まで)	P.104
		PC送信ポート番号	25、10025、20025、30025、40025、50025、60025	P.96.※
		ネットワーク修復	ネットワークを修復する	P.89
		エラー表示設定	する、しない	P.89
		最新のエラー番号	最新のエラー番号を表示する	P.89
⑧ 8 POP	メール基本設定	送信元メールアドレス	自分のメールアドレス (最大英数字／記号50文字) を登録する	P.90
		SMTPアドレス	SMTPサーバのアドレス (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.90
		POP3アドレス	POP3サーバのアドレス (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.90
		POP3ユーザ名	POP3サーバのユーザ名 (最大英数字／記号50文字) を設定する	P.91
		POP3パスワード	POP3サーバのパスワード (最大英数字／記号32文字) を設定する	P.91
⑨ 9 POP	メールオプション	メール送信設定		P.92
		送信前に受信	する、 しない	P.93
		SMTP認証	する、 しない	P.93
			以下はSMTP認証を「する」に設定した場合のみ	
			SMTP認証のユーザ名 (最大英数字／記号50文字) と、SMTP認証のパスワード (最大英数字／記号32文字) を設定する	P.93
		SMTPポート番号	任意のポート番号 (1～65535、 25) を設定する	P.93
		メール表題		P.93
		メール表題編集	する、 しない	P.93
			以下はメール表題編集を「する」と選択した場合のみ	
			送信メールのタイトル (件名) (最大全角20文字) を登録する ファイルを送ります	P.93
		メール本文		P.93
		メール本文編集	する、 しない	P.93
			以下はメール本文編集を「する」と選択した場合のみ	
			メール本文に挿入するテキスト (最大全角50文字) を登録する このメールには、画像データが添付されています	P.93
		メール受信設定		P.94
		APOP認証	する、 しない	P.94
		POP3ポート番号	任意のポート番号 (1～65535、 110) を設定する	P.94
		自動到着確認	する、 しない	P.91
			以下は自動到着確認を「する」と選択した場合のみ	
			到着確認間隔 (5～90分、 10分) の設定、自動プリント (する、 しない)	P.91
		自動プリント		P.91
		プリント後消去	する、 しない	P.92
		メールフィルタを使用	する、 しない	P.92
		ヘッダプリント	する、しない	P.94
		プリント縮小率	100%、 93%、90%、85%	P.94
		プリント分割	する、しない	P.94
		メール表示順序	昇順、降順	P.94
		メールフィルタ リスト設定	登録、確認	P.92
			以下はメールフィルタリスト設定で「登録」を選択した場合のみ	
			メールフィルタリストにメールアドレスを登録する (20件まで)	P.92
⑩ 10	出荷時へ戻す	記憶した情報 (登録した内容や録音された用件など) を消去する		P.123

索引

英数字

30 秒スキップ再生	35
ADSL 回線	26
INS ネット 64	27
IP アドレス	88
IP 電話	27、50
IP 電話解除番号	50
IP 電話機能付き ADSL モデム	27
LAN ケーブル	14、20
LAN 端子	9
MAC アドレス	89
NEC フィールディング (株)	
パーソナルコールセンター	122
POP3 サーバアドレス	90
POP3 サーバパスワード	91
POP3 サーバユーザ名	91
POP3 ポート番号	94
Q&A	109
speax (スピークス)	
インフォメーションセンター	122
speax (スピークス)	
ホームページ	122
WIFI BAND	
(ワイファイ バンド)	16、80

ア 行

アース接続	19
アース端子	9、19
安全にお使いいただくために	3
アンテナ	9
アンテナの調整	15
インクフィルム	
交換	117
残量の表示	13
保管	121
インストール	
(ユーティリティソフト)	95
絵表示 (ディスプレイ表示)	13
エラー番号	89
えらべる受信スタイル	22
応答メッセージ	
選択	61、68
録音／消去	60、61
オートリダイヤル	31
お客様ご相談窓口のご案内	122
お手入れのしかた	117
インクフィルム押さえ部の	
お掃除	120
親機／子機の外装のお掃除	120
原稿送り用ローラ／	
記録ローラのお掃除	120
原稿読み取り部のお掃除	120
ゴム板のお掃除	120
オプション品	122
おやすみモード	64
おやすみモードタイマ切替	65
オンフックダイヤル	38
音量調整	51

カ 行

海外へ送るとき (ファクス)	56
外出先から操作する	
(外線リモート)	61
外出先から用件の再生	62
外出先から留守設定をする	62
回線種別を設定する	21
外線転送	44
外線リモート	61
外線リモート操作	62
かんたん登録	73
キータッチトーン	81
機能設定／登録早見表	128
キャッチホン	75
キャッチホン・ディスプレイ	75
共通鳴動	78
記録紙	
おすすめする記録紙	22
記録紙づまり	107、108
セット	22
保管	121
記録紙力セット	9、22、23
記録紙サポーター	9、22、24
記録紙セットレバー	9、23、24
記録紙挿入口	9、24
記録紙挿入口カバー	9
記録紙排出口	9
クイック通話	29
携帯電話への通話サービスを	
簡単に使う	49
ケータイお得意ダイヤル	49
原稿	
画質	54
原稿セットのしかた	30
原稿づまり	107、108
読み取り濃度	54
読み取れる原稿のサイズ／	
読み取れる範囲	30
原稿セットガイド	30
原稿挿入口カバー	9
原稿排出口	9
コールバック	73
子機	12
キータッチトーンの設定	81
子機から子機にかける	46
充電	18
充電器	12、14、18
受話音	52
使用上のご注意	16
使用できる範囲	15
スピーカの音量	52
増設子機	123
電池パックの交換	119
電池パックの取り付け	17
電話帳の登録	42
ベルの音量	51
故障と思われるときのご相談	122
固定応答メッセージの種類	32
コピー	30、31
コピーが禁止されているもの	31

サ 行

再生音 (スピーカ) の音量	52
再ダイヤル (リダイヤル)	38
さかのぼり録音	46
自動録音モード	46
保持時間	46
さかのぼり録音ランプ	47
事業者識別番号	49
時刻を設定する	18、21、22
自分の名前や電話番号	55
充電 (子機の充電)	18
充電器	12、14、18
修理・保守のご相談	122
縮小率	59
受信	
自動受信	36、37
縮小率	59
手動受信	53
ファクスかんたん受信	57
分割記録	59
メモリ代行受信	58
受話音	51
受話器	9
受話器端子	9、20
受話器の取り付け	20
受話器用コード	9、20
仕様	124
消耗品	122
スキャン to パソコン	103
スキャン to メール	98
ステップアップ着信音量	51
スペース (設置する場所)	15
接続	19
ADSL 回線	26
INS ネット 64	27
IP 電話機能付き	
ADSL モデム	27
アース	19
ターミナルアダプタ (TA)	27
電源	20、26、27
電話回線	20、26、27
光回線	26
設置する場所	15
設定	
APOP 認証	94
IP アドレス設定	88
PC 送信設定	104
PC 送信ポート番号	96
SMTP 認証	93
Web ログイン設定	106
WIFI BAND	
(ワイファイ バンド)	80
エラー表示設定	89
応答メッセージの選択	68
おやすみモードタイマ切替	65
海外通信	56
回線種別	21
画質	54
キータッチトーン	81
キャッチホン・ディスプレイ	75
クイック通話	29
ケータイお得意ダイヤル	49
さかのぼり録音	46

時刻設定	18、21、22
自動到着確認	91
受信縮小率	59
受信ファクスの扱い	105
送信前に受信	93
ダイヤルイン	77
ダイヤルトーン検出	56
ダブルアクセス	86
チャイルドロック	82
着信拒否	71
着信鳴り分け	68
着信ベル回数	83
電話専用（着信モード）	80
電話／ファクス切替 （着信モード）	80
トールセイバ	63
とくていコール	69
ナンバー・ディスプレイ	66
発信元記録	56
番号リクエスト	70
表示濃度（ディスプレイ）	81
ファクス to メール転送	102
ファクスかんたん受信	57
ファクス専用（着信モード）	80
不達レポート	57
プライベートコール	68
プリント縮小率	94
プリント分割	94
分割記録	59
ヘッダプリント	94
ベルの音色／メロディ	83
保留メロディ	84
メール表示順序	94
呼出ベル回数	84
読み取り濃度	54
リモート操作	61
留守設定	32
留守電ケータイ転送	63
操作ができなくなったとき	109
操作パネル	9、10
操作パネル確認	108
操作パネル開ボタン	9
操作早わかりガイド	125
送信	
海外へ送るとき（ファクス）	56
自動送信	31
手動送信	53
相談窓口	122

タ行

ダイヤル回線	21
ダブルアクセス	16、86
端子	
アース端子	9、19
電話回線端子	9
チャイルドロック	82
着信拒否	
設定／登録／確認／消去	71
着信データ	
コールバック	73
消去	72
着信データを使って	

電話をかける	73
着信データを電話帳に 登録する	73
表示	72
留守中に受けた電話を 確認する	74
着信鳴り分け	68
着信ベル	36、83
着信モード	80
直接配線	19
通信異常	108
通話圏外	16
通話時間表示	13
通話の内容を録音する	46
ディスプレイ表示（絵表示）	13
表示濃度	81
停電したとき	109
電源コード	9
電源の接続	20、26、27
転送	44
転送先の登録	63
電池バック	14、119
電池バックの取り付け	17
電池バックを交換する	119
電話	
受ける	36
かける	28
電話回線	
電話回線ケーブル	14
電話回線を接続する	20
電話回線端子	9、26、27
電話コンセント	19
電話専用（着信モード）	80
電話帳	43
登録	39、42
電話帳転送	41
電話／ファクス切替 （着信モード）	80
登録	
IP 電話解除番号	50
POP3 サーバアドレス	90
POP3 サーバパスワード	91
POP3 サーバユーザ名	91
POP3 ポート番号	94
SMTP アドレス	90
SMTP 認証パスワード	93
SMTP 認証ユーザ名	93
SMTP ポート番号	93
親機の電話帳	39
子機の電話帳	42
事業者識別番号	49
自分の電話番号	55
送信元メールアドレス	90
装置名	89
着信拒否	71
着信データ	73
転送先電話番号	63
転送先メールアドレス	102
発信元	55
メール表題	93
メールフィルタリスト	92
メール本文	93
リモートパスワード	61

ログインパスワード	106
ログインユーザ名	106
登録／設定を出荷時に戻す	123
トールセイバ	63
トーン信号（ブッシュ信号）	52
とくていコール	69

ナ行

内線通話	45
内線番号	44
ナンバー・ディスプレイ	66
相手先の表示	67
キャッチホン・ ディスプレイ	75
コールバック	73
自作の応答メッセージを使う	68
着信拒否の設定／登録／確認／ 消去	71
着信データの表示／消去	72
着信データを電話帳に 登録する	73
着信データをプリントする	85
着信鳴り分け／ プライベートコール	68
電話番号を通知する／ 非通知にする	68
とくていコール	69
番号リクエスト	70
迷惑電話を着信拒否リストに 登録する	49、71、73
留守録着信データ	74
ネーム・ディスプレイ	67
ネットワークガイド	97
ネットワーク機能	87
受信したメールを プリントする	100
スキャンした画像をパソコンに 保存する	103
スキャンした画像を メール送信する	98
ネットワークガイド	97
ネットワーク機能の設定	88
パソコンで設定や 閲覧をする	106
ファクス受信文書をパソコンに 保存する	105
ファクス受信文書を メール送信する	102
メール受信設定	94
メール送信設定	92
メールの設定	90
メールフィルタリスト	92
ユーティリティソフト	95
ネットワーク修復	89

ハ行

バックライト	13
発信元記録	56
番号リクエスト	70
ピクト（ディスプレイ表示）	13
非通知の相手に番号通知を	

お願いする	70
ファクス	
受ける	36、53
送る	30、31、53
ファクス to パソコン	105
ファクス to メール転送	102
ファクスかんたん受信	57
ファクス専用 (着信モード)	80
不達レポート	57
ブッシュ回線	21
ブッシュ信号 (トーン信号)	52
プライベートコール	68
プラグ式	19
ランチ接続	19
プリント	
システムリスト	85
着信データリスト	85
通信管理レポート	85
電話番号リスト	85
不達レポート	57
分割記録	59
メール to プリント	100
メールアドレスリスト	85
メモリ代行受信	58
ベル	
着信ベル	36、83
ベル音の音量	51
ベルの音色やメロディ	83
呼出ベル	37、84
ポーズ	11
補修用性能部品の保有期限	122
保証書の保管	122
保留	44
保留メロディ	84

マ 行

迷惑電話お断り	49
メール to プリント	100
自動プリント	100
手動プリント	101
メッセージ	
固定の応答メッセージ	32
自作の応答メッセージ	60
メニューの使いかた	11
メモリ	
メモリ代行受信	58
メモリに蓄積した	
ファクス受信文書の消去	58
メモリ容量	
(記憶容量)	112、124
メロディ	
ベルの音色やメロディ	83
保留メロディ	84
文字入力	
親機	134、136
子機	136
文字入力一覧表	134、136
モデムダイヤルイン	77
モニタ	
モニタ音 (スピーカ) の音量	52
モニタスピーカ	9

ヤ 行

ユーティリティソフト	
(インストール)	95
用件を消す	34、60
読み取り	
画質	54
原稿のサイズ	30
読み取り濃度	54
読み取れる範囲	30

ラ 行

リダイヤル (再ダイヤル)	38
オートリダイヤル	31
リモート	
外線リモート	61
外線リモート操作	62
リモート操作を設定する	61
リモートパスワードの登録	61
留守設定	32、62
留守設定の解除	33、62
留守電ケータイ転送	63
留守番電話	32、60
外出先から用件を再生する	62
外出先から留守設定をする	62
消去する	34、60
通話中に用件を再生する	49
用件を聞く	34
録音した用件を外出先に	
転送する	63
留守録着信データ	74
レポート	
通信管理レポート	85
不達レポート	57
録音	
応答メッセージを録音する	60
さかのぼり録音	46
残量の表示	13
録音した用件を外出先に転送する	63

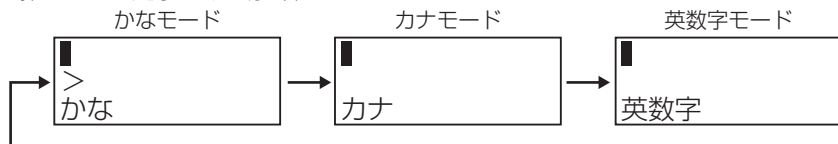
文字入力について

文字はダイヤルボタンで入力します。電話帳の相手先の名前など文字を入力する操作のときに、ダイヤルボタンを押すと文字や記号が表示されます。

ダイヤルボタンには50音の各行の最初の文字が記されています。同じボタンを何度か押すとその行の文字が順番に表示されます。さらに押すと数字や英字、記号が表示されます。表示された文字がそのまま入力されます。

親機

①【カナ／英】を押すごとに、入力モードが切り替わります。



文字入力一覧表

ダイヤル ボタン	かなモード										カナモード																					
① 1	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ							ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ヅ	ォ						
② 2	か	き	く	け	こ												カ	キ	ク	ケ	コ											
③ 3	さ	し	す	せ	そ												サ	シ	ス	セ	ソ											
④ 4	た	ち	つ	て	と	っ											タ	チ	ツ	テ	ト	ッ										
⑤ 5	な	に	ぬ	ね	の												ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ											
⑥ 6	は	ひ	ふ	へ	ほ												ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ											
⑦ 7	ま	み	む	め	も												マ	ミ	ム	メ	モ											
⑧ 8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ											ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ										
⑨ 9	ら	り	る	れ	ろ												ラ	リ	ル	レ	ロ											
⑩ 0	わ	を	ん	。	、	－	(	)	?	!	「	」	ワ	ヲ	ン	。	、	－	(	)	?	!	「	」								
# * #	ゝ	ゞ											ゝ	ゞ																		

ダイヤル ボタン	英数字モード1										英数字モード2										
① 1	1	—	.	&							1	—	.	&							
② 2ABC	A	B	C	2							a	b	c	A	B	C	2				
③ 3DEF	D	E	F	3							d	e	f	D	E	F	3				
④ 4GHI	G	H	I	4							g	h	i	G	H	I	4				
⑤ 5JKL	J	K	L	5							j	k	l	J	K	L	5				
⑥ 6MNOP	M	N	O	6							m	n	o	M	N	O	6				
⑦ 7PQRS	P	Q	R	S	7						p	q	r	s	P	Q	R	S	7		
⑧ 8TUV	T	U	V	8							t	u	v	T	U	V	8				
⑨ 9WXYZ	W	X	Y	Z	9						w	x	y	z	W	X	Y	Z	9		
⑩ 0	O	（スペース）	（ ）	.	'	*	#				O	（スペース）	（ ）	*	#	;	:	/	?	!	
#											@	,	^	_	"	\$	%	'	+	<	=
											>	[	¥	]	.	{		}	~		

① かなモード、カナモードの太線で囲まれた記号は、「メール表題」「メール本文」入力時のみ使用可能です。

② メールアドレス入力時とネットワーク機能操作時には英数字モード2を、それ以外の英数字入力時には英数字モード1を参照してください。

③ アドレス、ユーザ名、パスワードを入力／表示する場合は：本体画面には全角英数字／記号で表示されますが、半角英数字／記号として登録されています。全角英数字／記号のまま入力してください。

※1: 「」(バッククォート)を入力する場合は「'」を入力してください。

※2: 「」(チルダ)を入力する場合は「~」を入力してください。

文字入力のしかた

入力例：「鈴木マサK」と入力する場合

■「鈴木」を入力する

1 ③を3回押す

> ㊦
かな

2 [>]を押す

> す
かな

3 ③を3回押す

> す ㊦
かな

4 [#]を押す

> す ㊦
かな

5 ②を2回押す

> す す ㊦
かな

6 [変換]を押して漢字に変換する

> 鈴木
かな 1/4

7 [セット]を押す

鈴木
>
かな

■「マサ」を入力する

8 [カナ/英]を押してカナモードにする

鈴木
カナ

9 ⑦を押す

鈴木 ㊦
カナ

10 ③を押す

鈴木 マ ㊦
カナ

■「K」を入力する

11 [カナ/英]を押して英数字モードにする

鈴木 マサ
英数字

12 ⑤を2回押す

鈴木 マサ ㊦
英数字

・ 同行の文字を続けて入力する場合は、カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押します。

・ [<] または [>] で、カーソル（入力位置）を移動できます。

▶ **文字の消去方法**：カーソルを消去したい文字に合わせて[消去]を押すと、カーソルの文字が消去されます。

▶ **入力を間違えたときは**：修正する文字を消去し、入力し直します。

▶ **他の変換候補を表示するときは**：[▲] または [▼] を押します。

文字入力一覧表

ダイヤル ボタン	→ 押す度にこの順で表示されます →												
	カタカナ					数字	英字／小文字（カタカナ）／記号						
① ^ア	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ア	イ	ウ	エ	オ		
② ^カ	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C				
③ ^サ	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F				
④ ^タ	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ			
⑤ ^ナ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L				
⑥ ^ハ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O				
⑦ ^マ	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S			
⑧ ^ヤ	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ャ	ュ	ョ			
⑨ ^ラ	ラ	リ	ル	レ	ロ	9	W	X	Y	Z			
⑩ ^ワ	ワ	ヲ	ン	0	ー	・	(スペース)	(	)	・	’	*	# &
# ^{ハロ}	ハ	ロ											

文字入力のしかた

入力例：「スズキ」と入力する場合

1 ③^サを3回押す

ス

2 [>]を押す

ス_

3 ③^サを3回押す

スス

4 #^{ハロ}を押す

スス_

5 ②^カを2回押す

スス キ

- ・ 同じ行の文字を続けて入力する場合は、カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押します。
- ・ [<] または [>] で、カーソル（入力位置）を移動できます。

▶ **文字の消去方法**：カーソルを消去したい文字に合わせて【保留 消去】を押すと、カーソルの文字が消去されます。全ての文字を消去するには、【保留 消去】を2秒以上押します。

▶ **入力を間違えたときは**：修正する文字を消去し、入力し直します。

パソコンでPPPoE 接続をしているときのご注意

パソコンで PPPoE ※¹ 接続を行っているお客様は、本機でネットワーク機能※² をご利用になる際に、パソコンの設定変更（「ダイヤルしない」「プロキシサーバを使用しない」設定）、およびルータ機器の設定が必要になります。

※ 1：PPPoE とは

Point to Point Protocol over Ethernet の略。ADSL などの常時接続型サービスで使われるユーザー認証技術。

Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者の接続先ユーザー名や接続パスワードのチェックを行う。

※ 2：ネットワーク機能については「ネットワーク機能を使う」（P.87）をご覧ください。

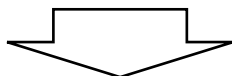
■パソコンでPPPoE 接続を行っている方とは

例)

- ・プロバイダから配布される PPPoE 接続ツールを利用し、インターネットへの接続を行っている。
- ・Windows® XP、Windows Vista® に標準搭載されている PPPoE 機能（広帯域接続）を利用してインターネットへの接続を行っている。

この項目に当てはまるご利用をされている方で、ルータ機能を持った※機器（ルータ機能を内蔵した ADSL モデム、ブロードバンドルータなど）をお持ちでない方は、別途ルータ機器が必要となります。

※：ルータ機能を持っているかいないかを確認するには、インターネット接続用にパソコンに接続している機器の取扱説明書をご覧ください。パソコンとの接続を USB で行う機器の場合、LAN で接続するタイプの機器への変更が必要です。



ルータ機器としては下記もしくは、ご加入の回線事業者が推奨する機器をお選びになることをおすすめします。

商品名	メーカー	備 考
Aterm WR8500N	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、 無線 LAN (Draft 11n・11a ⇄ Draft 11n・ 11b・11g 切替利用可能)
Aterm WR7870S	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、 無線 LAN(11a・11b・11g 同時利用可能)
Aterm WR6670S	NEC アクセステクニカ	PPPoE 接続機能(PPPoE マルチセッション対応) IPv6 ブリッジ機能、PPPoE ブリッジ対応、 無線 LAN (11a ⇄ 11b・11g 切替利用可能)

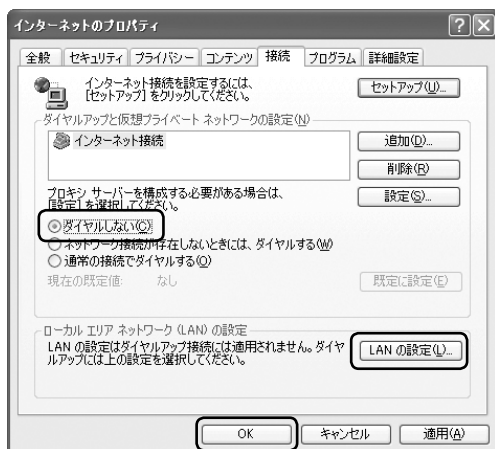
■パソコンの設定変更（接続設定を「ダイヤルしない」「プロキシサーバを使用しない」設定）

Windows® XP、Windows Vista® が正しく動作している環境で操作してください。

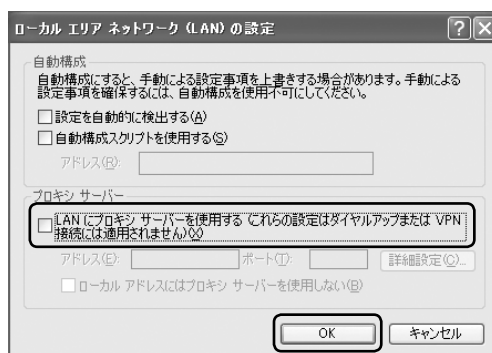
下記は、Windows® XP での画面を例に説明しています。

① ルータ機器を追加される場合は、この手順に入る前に接続を行っておいてください。接続方法についてはルータ機器の取扱説明書をご覧ください。

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「インターネットオプション」を順にクリックし、[接続] タブを開きます。
- 2 [ダイヤルしない (C)] を選択し、次に [LAN の設定 (L)] をクリックします。(図 1)
- 3 [LAN にプロキシサーバを使用する…。] のチェックが外れている状態にします。(図 2)



(図 1)



(図 2)

- 4 [OK] をクリックします。(図 2)
- 5 [OK] をクリックします。(図 1)
- 6 プロバイダから配布されている PPPoE などの接続ツールを停止もしくは、インターネットへの接続を解除します。

■ルータ機器の設定

PPPoE の接続をルータ機器で行う設定を行います。

この設定を行う方法はルータ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。



このマークはNECの定める環境配慮基準を満たした商品に表示されるものです。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
<http://www.nec.co.jp/eco/ja/>
(平成20年1月現在)

一般消費者様 製品廃棄方法について

この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

事業者様 製品廃棄方法について

この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。詳細はこちらのページ http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html（平成20年1月現在）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

AM1-000484-003

2008年1月 第3版

© NEC Corporation 2008

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2008

NECアクセステクニカ株式会社

〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は古紙配合の再生紙を使用しています。

本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。